

第2回 新型コロナウイルス感染症の影響下における 生活意識・行動の変化に関する調査

(項目一覧)

- | | |
|--------|------------------|
| 1. 働き方 | 5. 年末年始 |
| 2. 子育て | 6. その他 |
| 3. 地方 | 7. 継続サンプル(パネル分析) |
| 4. 学び | |

令和2年12月24日

内閣府

政策統括官(経済社会システム担当)

主な調査項目

1. 働き方（就業者）

地域別のテレワーク実施率	p.4
テレワーク実施率（業種別の推移）	p.5
テレワーク実施率（本人の年収別）	p.6
テレワークのための職場の改善の程度	p.7
テレワークのための職場の改善の内容	p.8
テレワークに関する個人の工夫	p.9
テレワークのメリット	p.10
テレワークのデメリット	p.11
テレワーク実施頻度の減少又は中止の理由	p.12
今後のテレワーク実施希望	p.13
職業の選択、副業等の希望の変化	p.14
職業の選択、副業等の希望の変化の理由	p.15
副業の実施状況及び関心	p.16
副業を行っていない理由	p.17
勤務先の副業に関する制度	p.18
勤務先が副業を許容しない理由	p.19
生産性の変化、労働時間の変化	p.20
通勤時間の変化	p.21
通勤時間の継続希望（地域別）	p.22
ワーク・ライフ・バランスの意識変化	p.23

2. 子育て（親ほか）

家族と過ごす時間の変化	p.25
家族と過ごす時間の継続希望	p.25
家事・育児時間の変化	p.26
男性の家事・育児時間の変化	p.27
夫婦の役割分担の変化	p.28
変化した役割分担が元に戻った理由	p.28
役割分担の変化と夫婦関係の変化	p.29
結婚への関心（未婚者）	p.30

3. 地方（共通ほか）

地方移住への関心	p.32
地方移住に向けた行動	p.33
地方移住への関心理由	p.34
地方移住にあたっての懸念	p.35
ワーケーション実施希望（就業者）	p.36
年代別のワーケーション実施希望（就業者）	p.37
将来の進路希望の変化（学生）	p.38

4. 学び（学生ほか）

学習意欲の変化	p.40
学習時間の変化	p.41
オンライン授業の受講状況	p.42
オンライン授業と学習意欲・学習時間の変化	p.43
オンライン授業の希望	p.44
子供のオンライン教育（親）	p.45
子供のオンライン教育の利用希望（親）	p.46

5. 年末年始（共通）

年末年始の帰省の予定	p.48
初詣の予定	p.49
忘年会・新年会等の会食の予定	p.50
忘年会・新年会等の会食時の人数	p.51
忘年会・新年会等の会食（マスク）	p.52
忘年会・新年会等の会食（アクリル板）	p.53

6. その他（共通ほか）

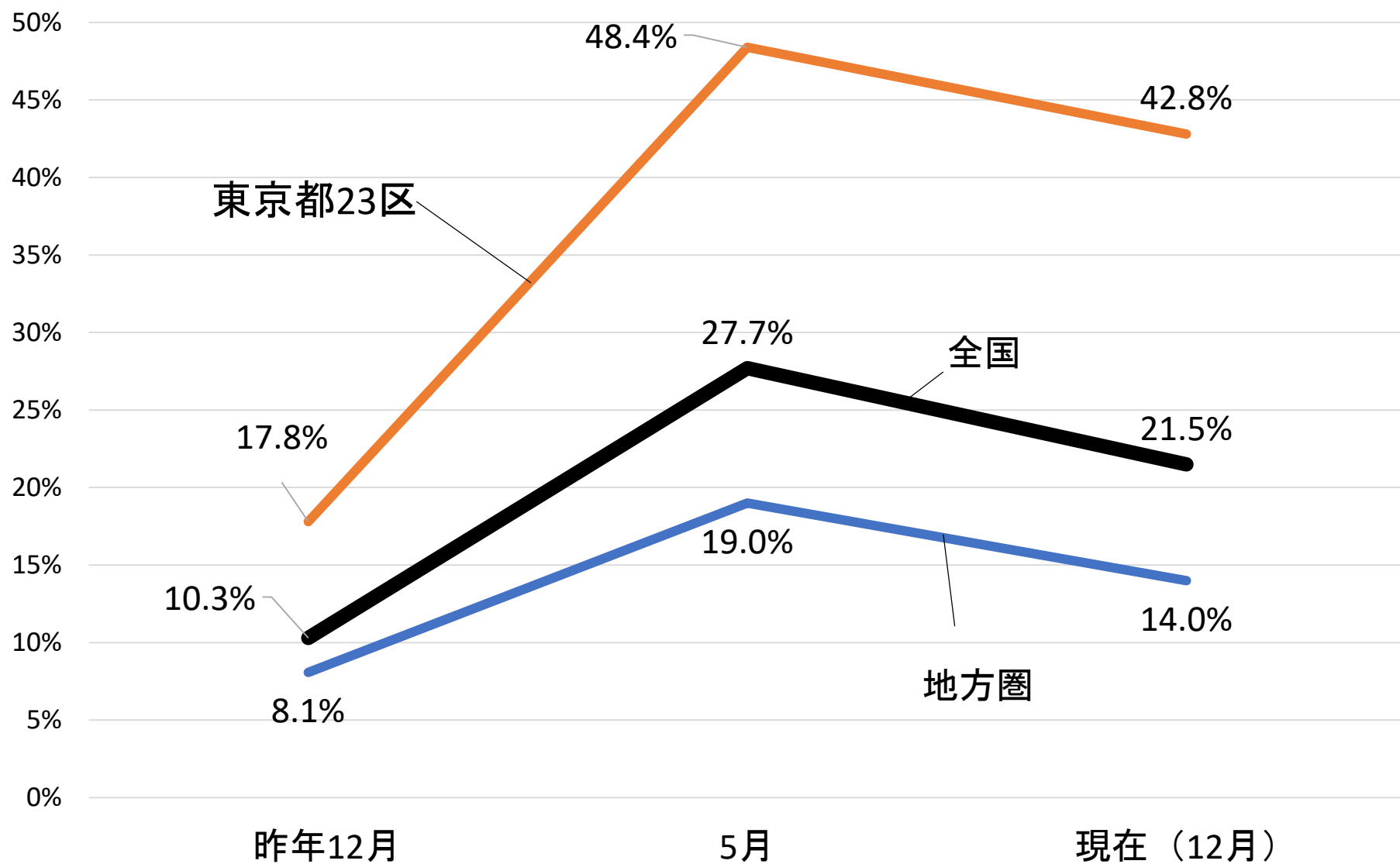
新しいことへのチャレンジ	p.55
社会の変化等	p.56
人との交流（60歳以上）	p.57
ビデオ通話の利用経験、関心の程度（60歳以上）	p.58
不安の増加（年代別）	p.59
休業者等への支援	p.60
生活全体の満足度	p.61

7. 継続サンプル（パネル分析）

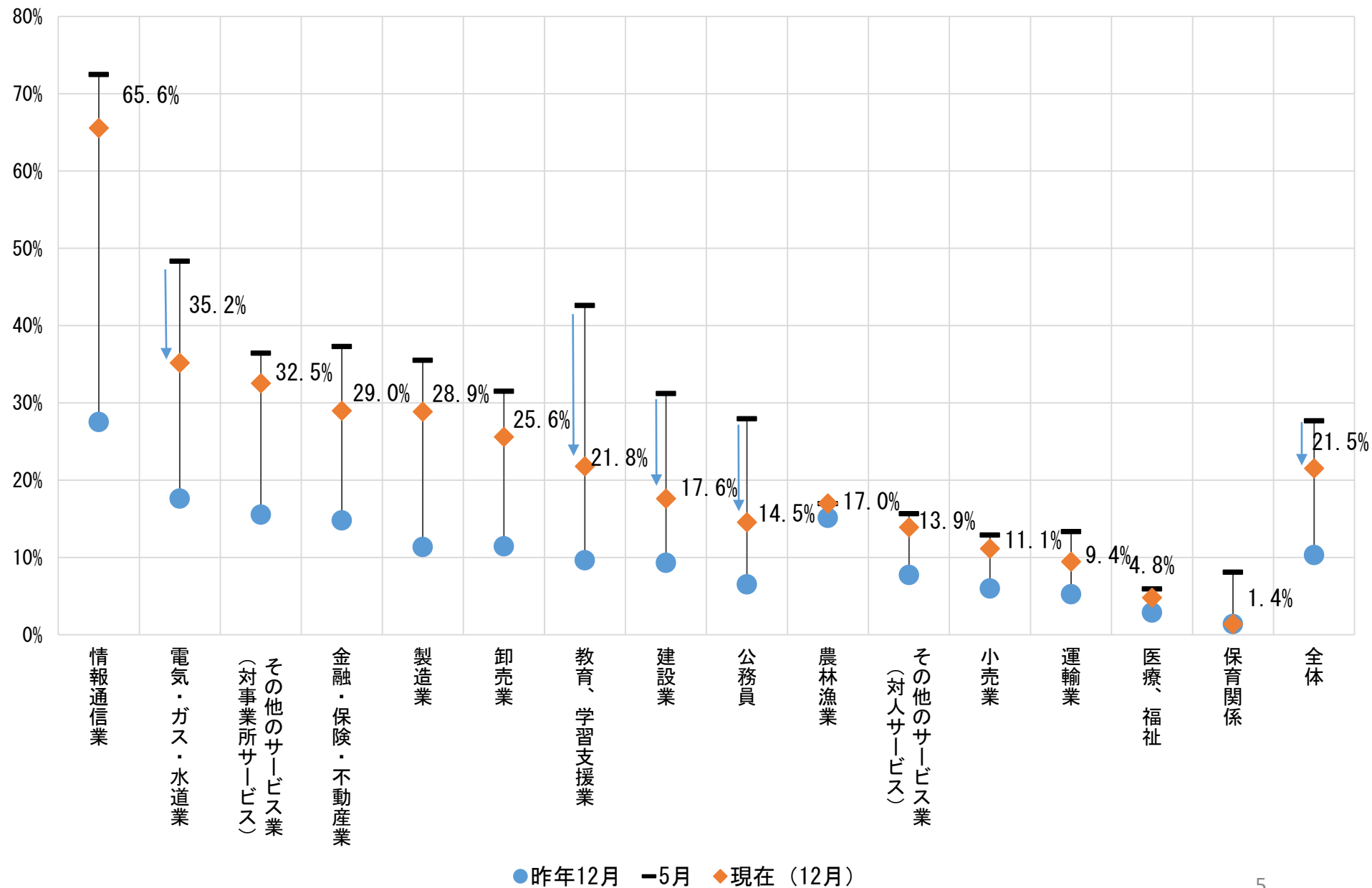
テレワーク利用希望の実現状況	p.63
家族と過ごす時間の継続状況と働き方	p.64
ビデオ通話の利用状況の変化（60歳以上）	p.65
地方移住への関心と行動状況	p.66
調査方法・調査対象等	p.67

1. 働き方

1. 【働き方】地域別のテレワーク実施率（就業者）

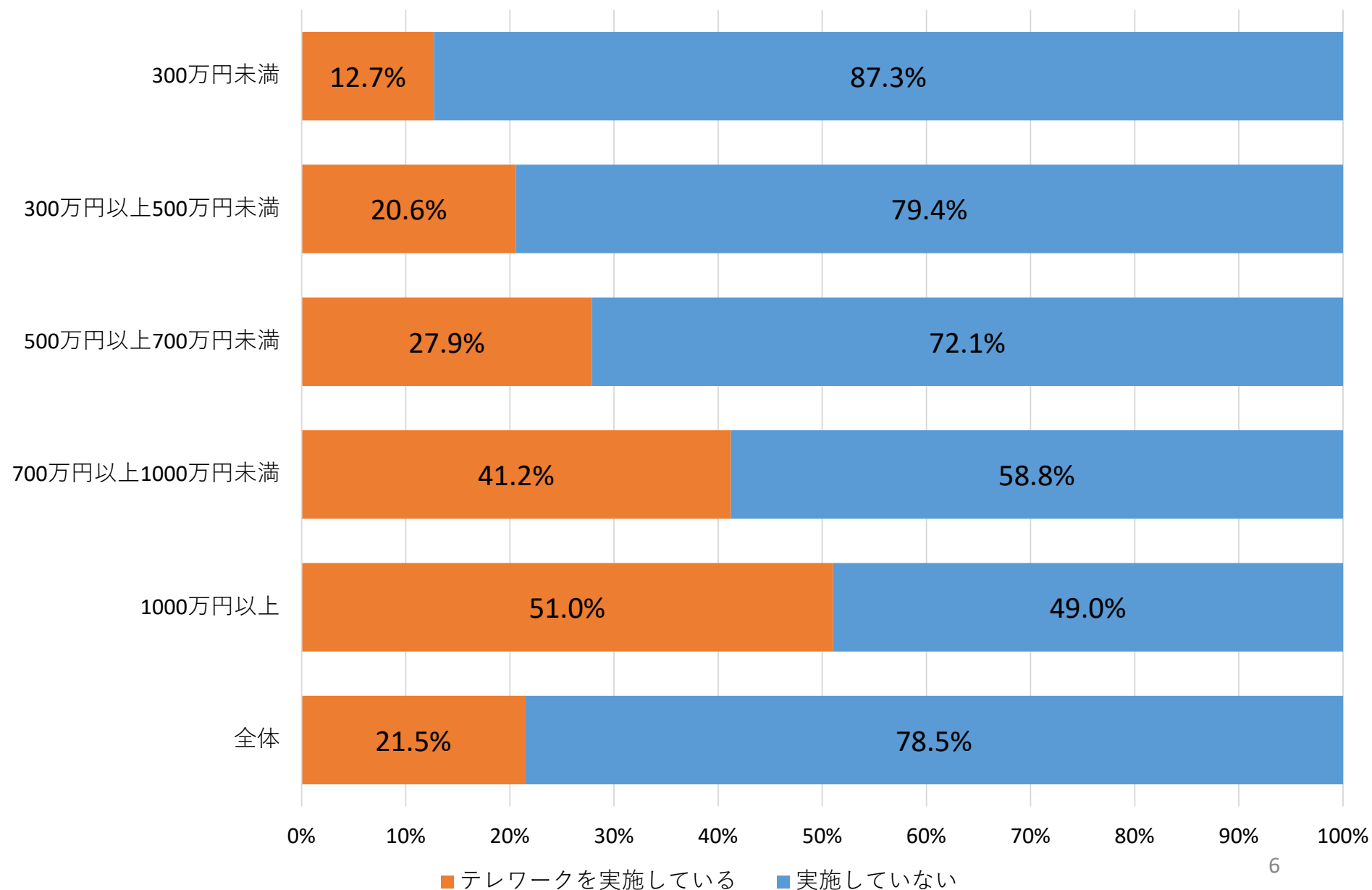


1. 【働き方】テレワーク実施率（業種別の推移）（就業者）



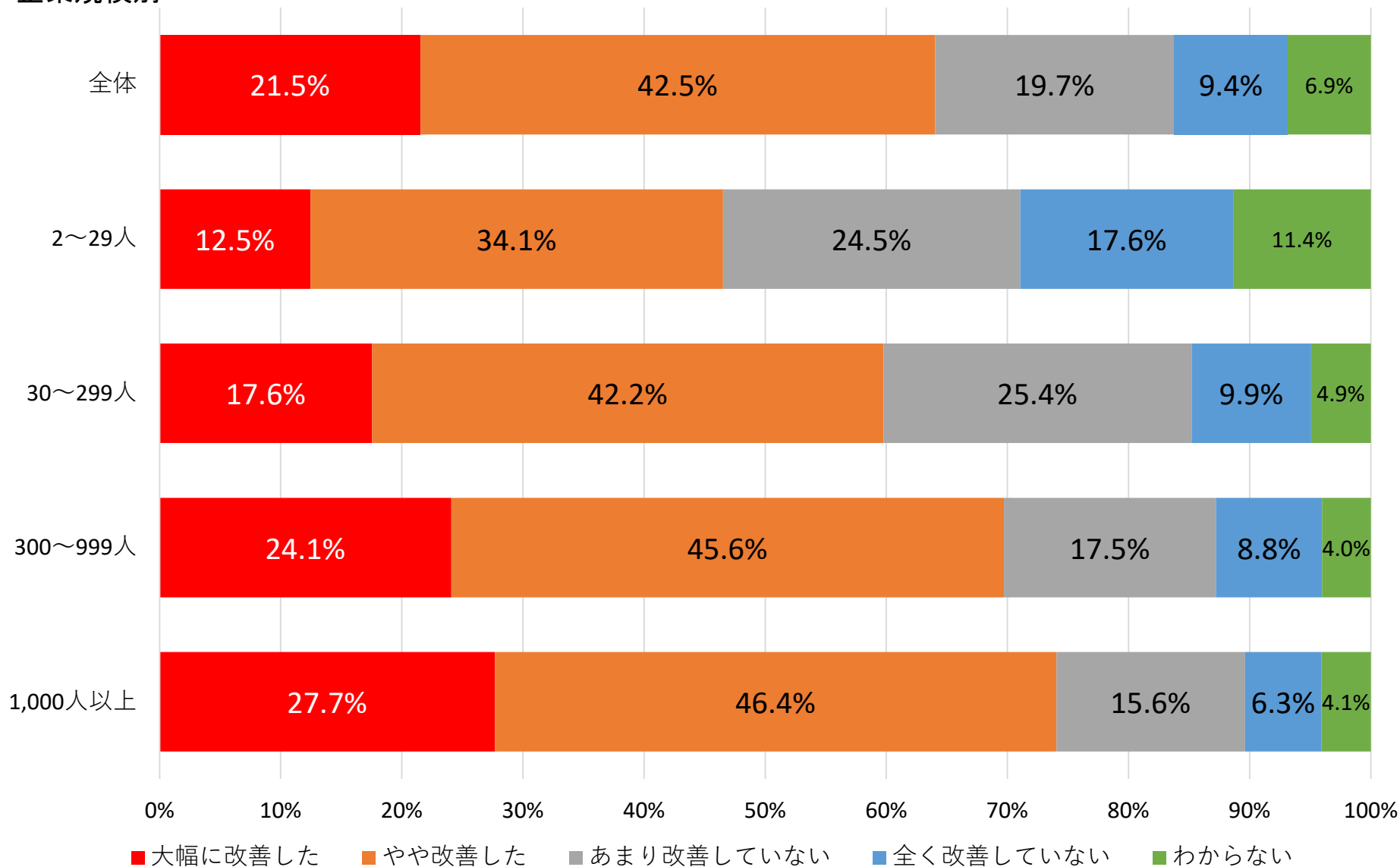
1. 【働き方】テレワーク実施率（本人の年収別）（就業者）

本人年収別



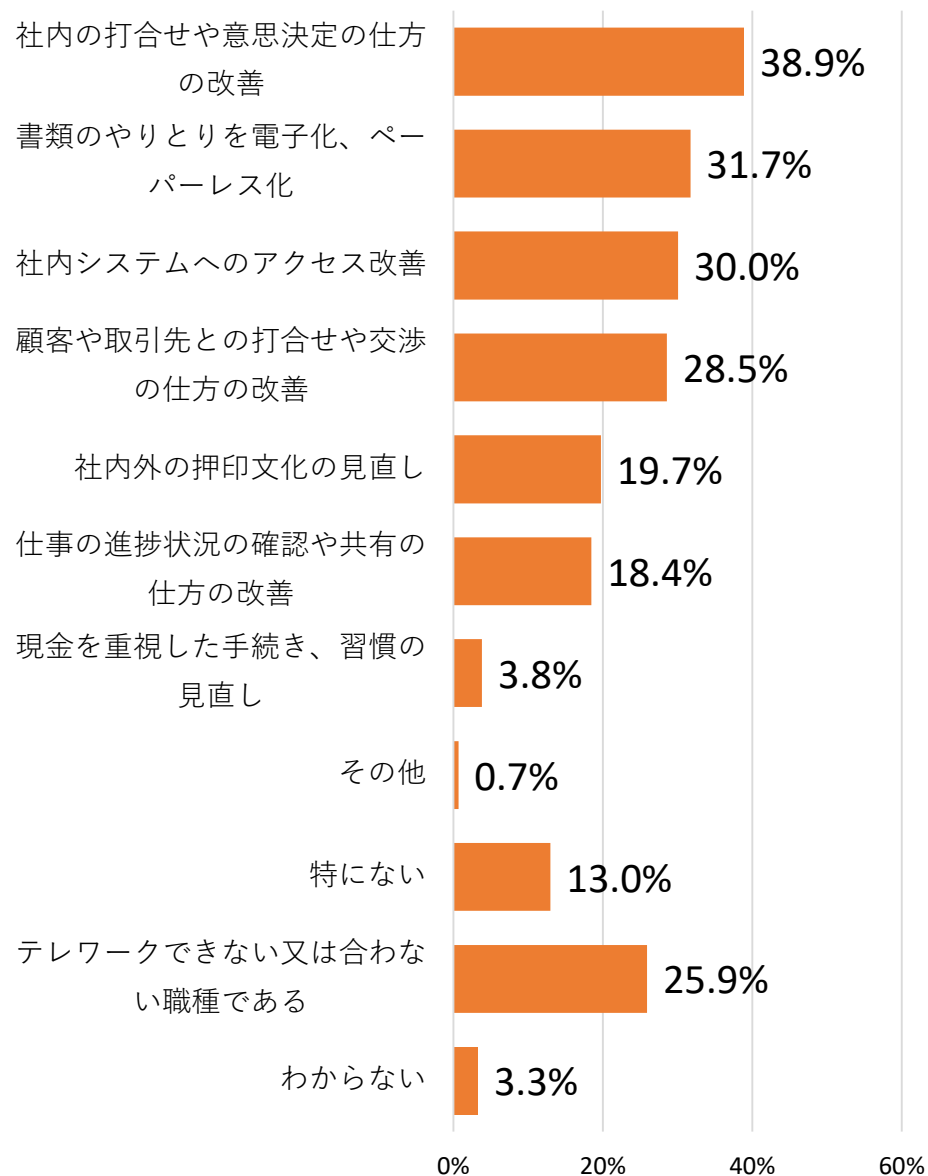
1. 【働き方】テレワークのための職場の改善の程度（テレワーク経験者）

企業規模別

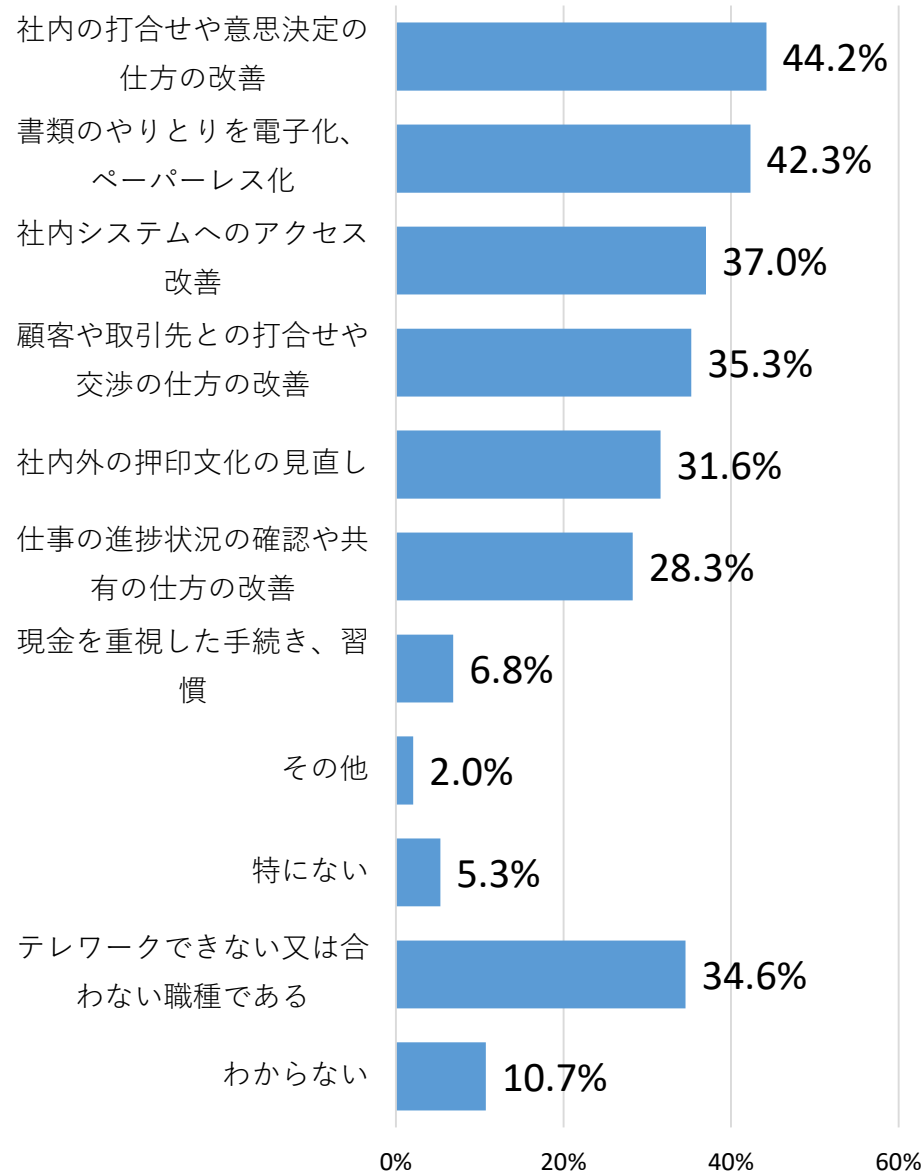


1. 【働き方】テレワークのための職場の改善の内容（テレワーク経験者）

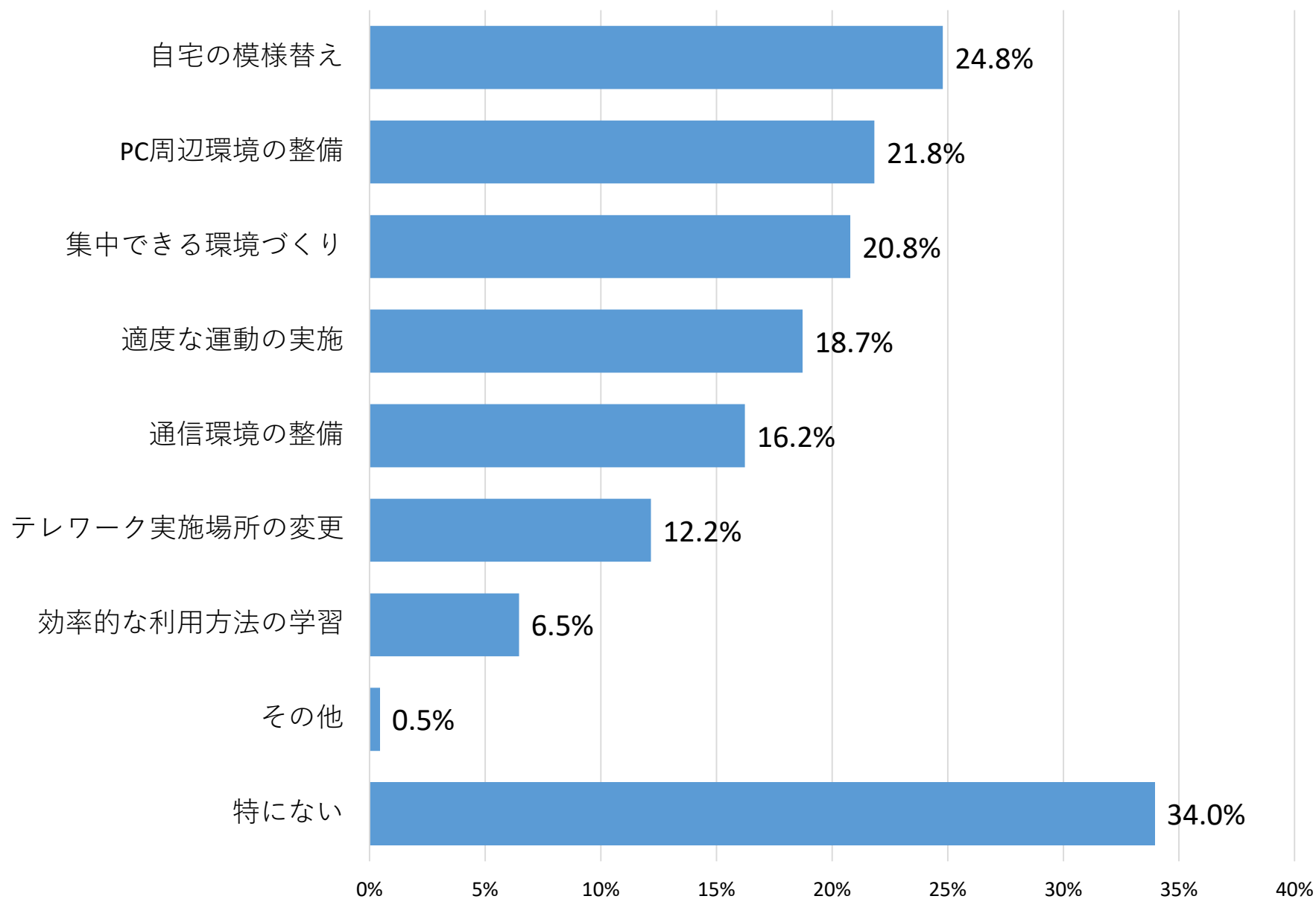
第2回調査：職場で取り組まれた業務改善



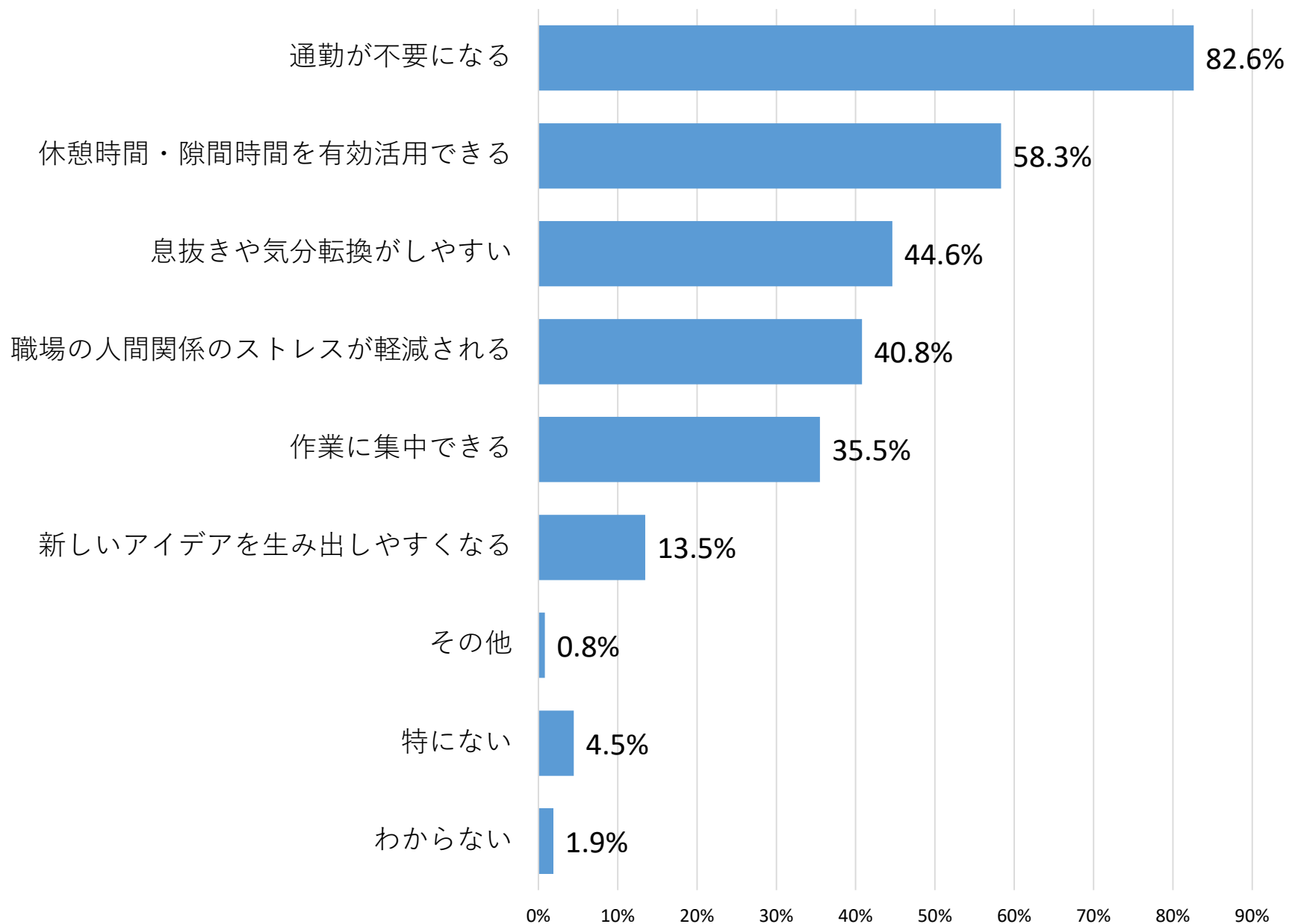
【参考】第1回調査：利用拡大が進むために必要なこと



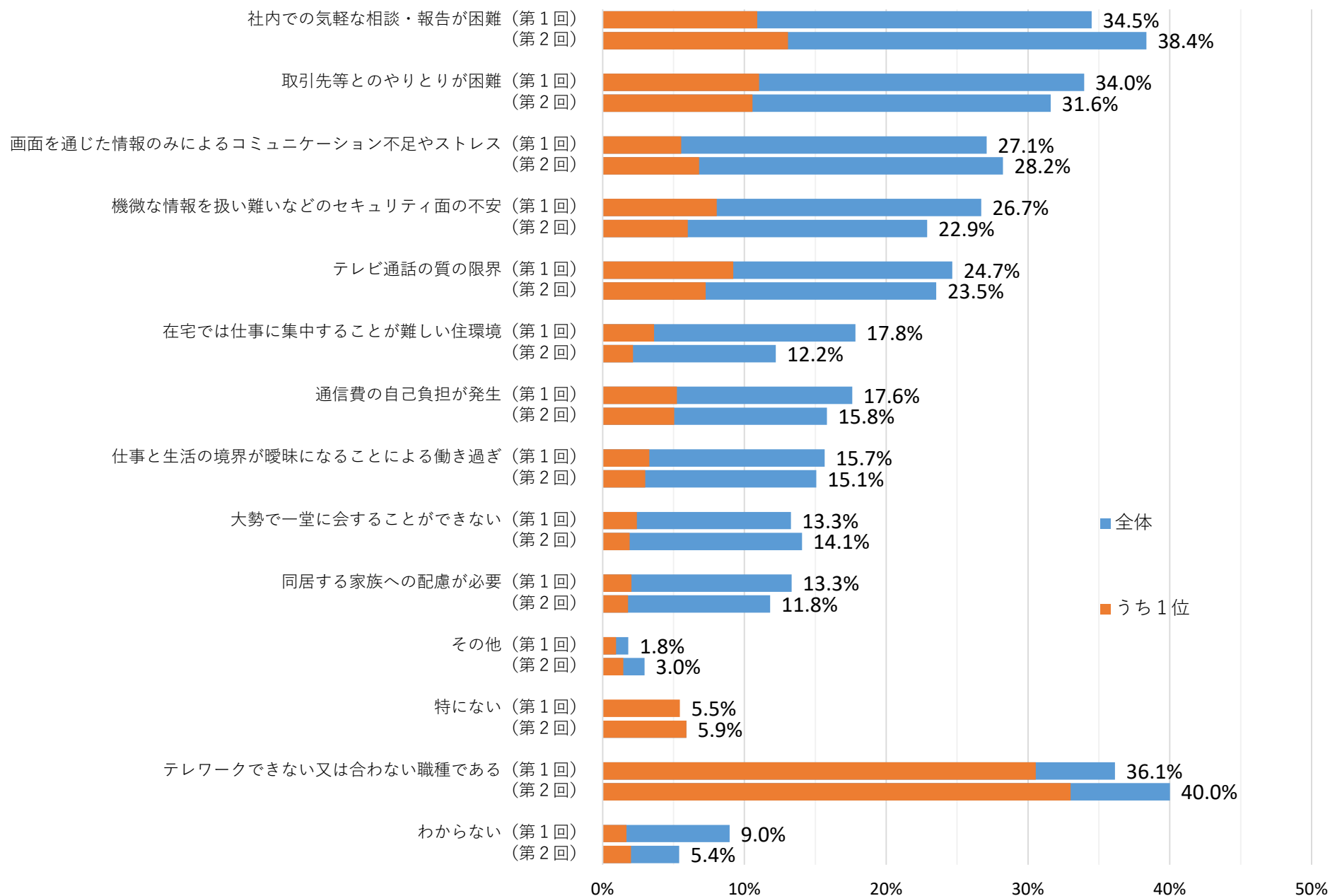
1. 【働き方】テレワークに関する個人の工夫（テレワーク経験者）



1. 【働き方】テレワークのメリット（テレワーク経験者）

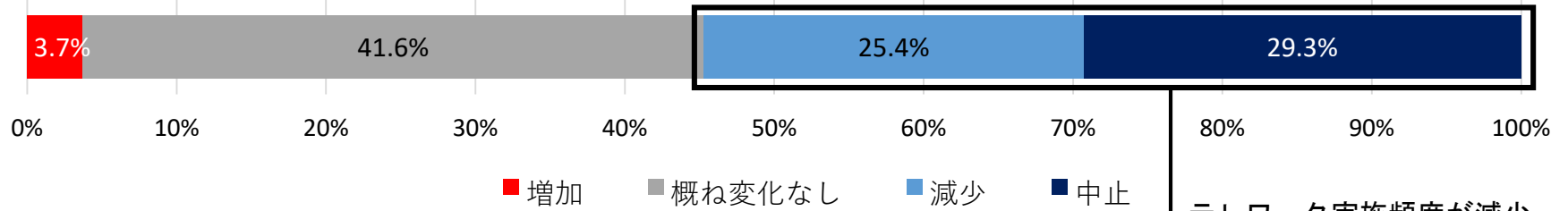


1. 【働き方】テレワークのデメリット（不便な点）（テレワーク経験者）



1. 【働き方】テレワーク実施頻度の減少又は中止の理由等（5月テレワーク実施者）

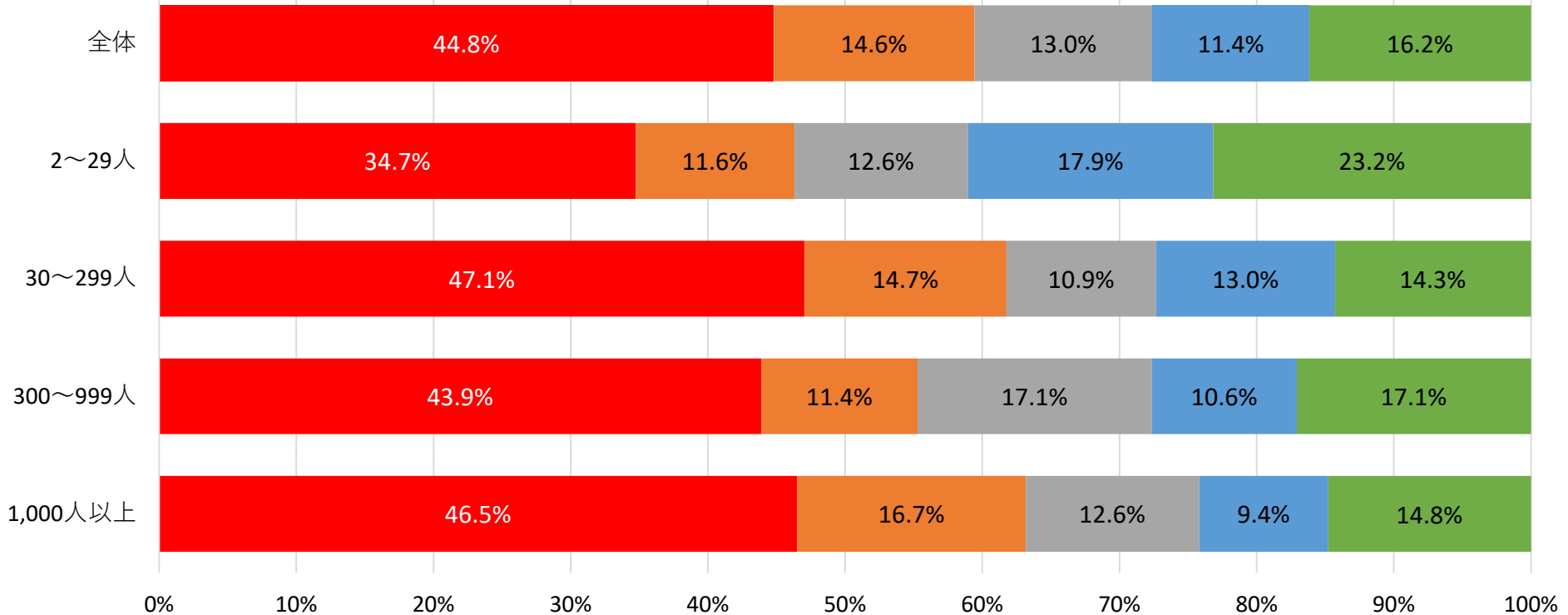
テレワーク実施者の実施頻度の変化（本年5月→12月）



テレワーク実施頻度が減少
又は中止した人へ質問

テレワーク実施頻度の減少又は中止の理由

企業規模別



■ 職場のテレワーク実施方針が変化した

■ 職場の雰囲気が変化した（職場の方針は変化していない）

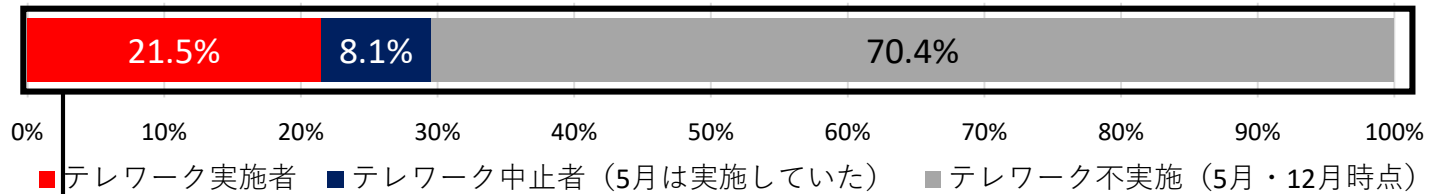
■ 自分自身のテレワーク実施希望の変化（職場の方針は変化していない）

■ その他

■ わからない

1. 【働き方】今後のテレワーク実施希望（現在（12月）のテレワーク実施状況別）

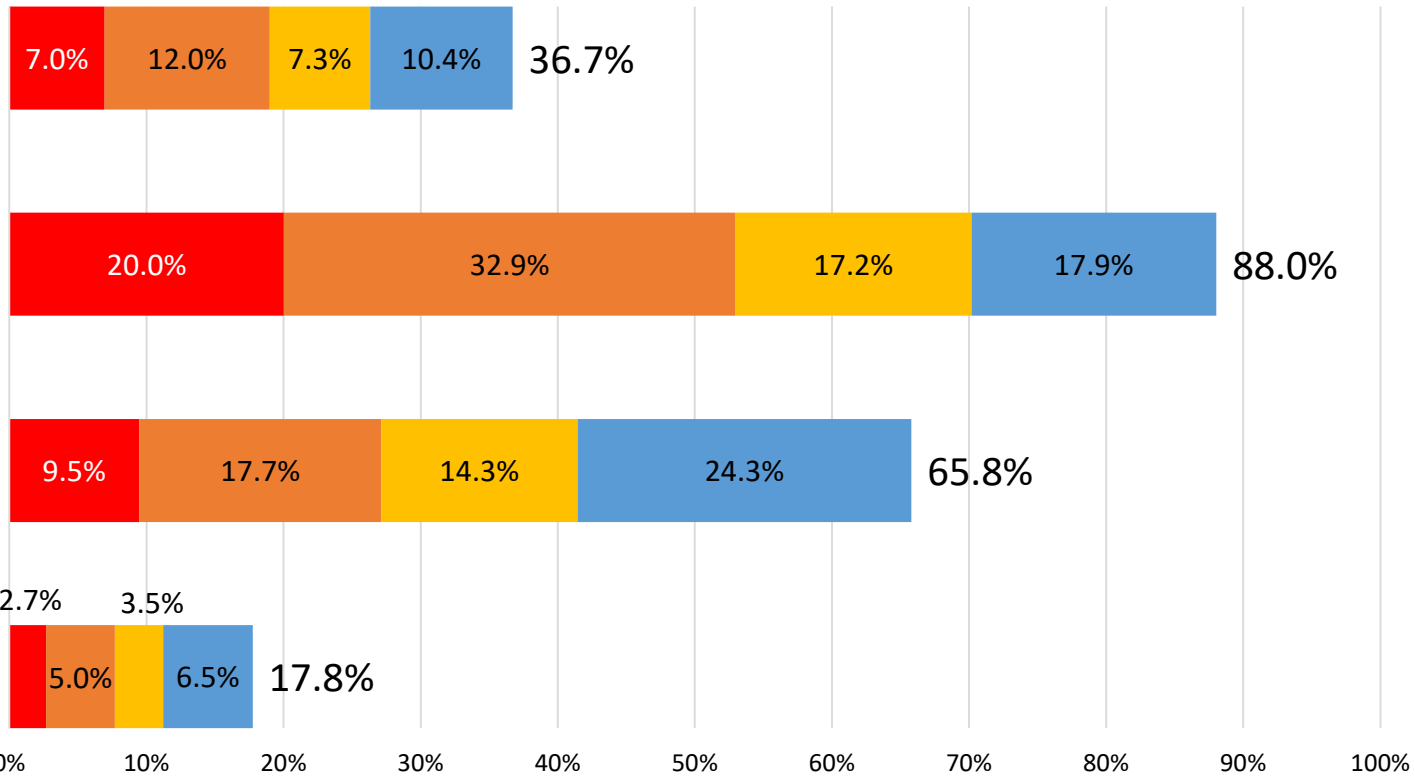
現在（12月）のテレワーク実施状況



現在（12月）の
テレワーク実施状況別

今後のテレワーク実施希望

□ 就業者全体



■ 完全にテレワーク
を希望

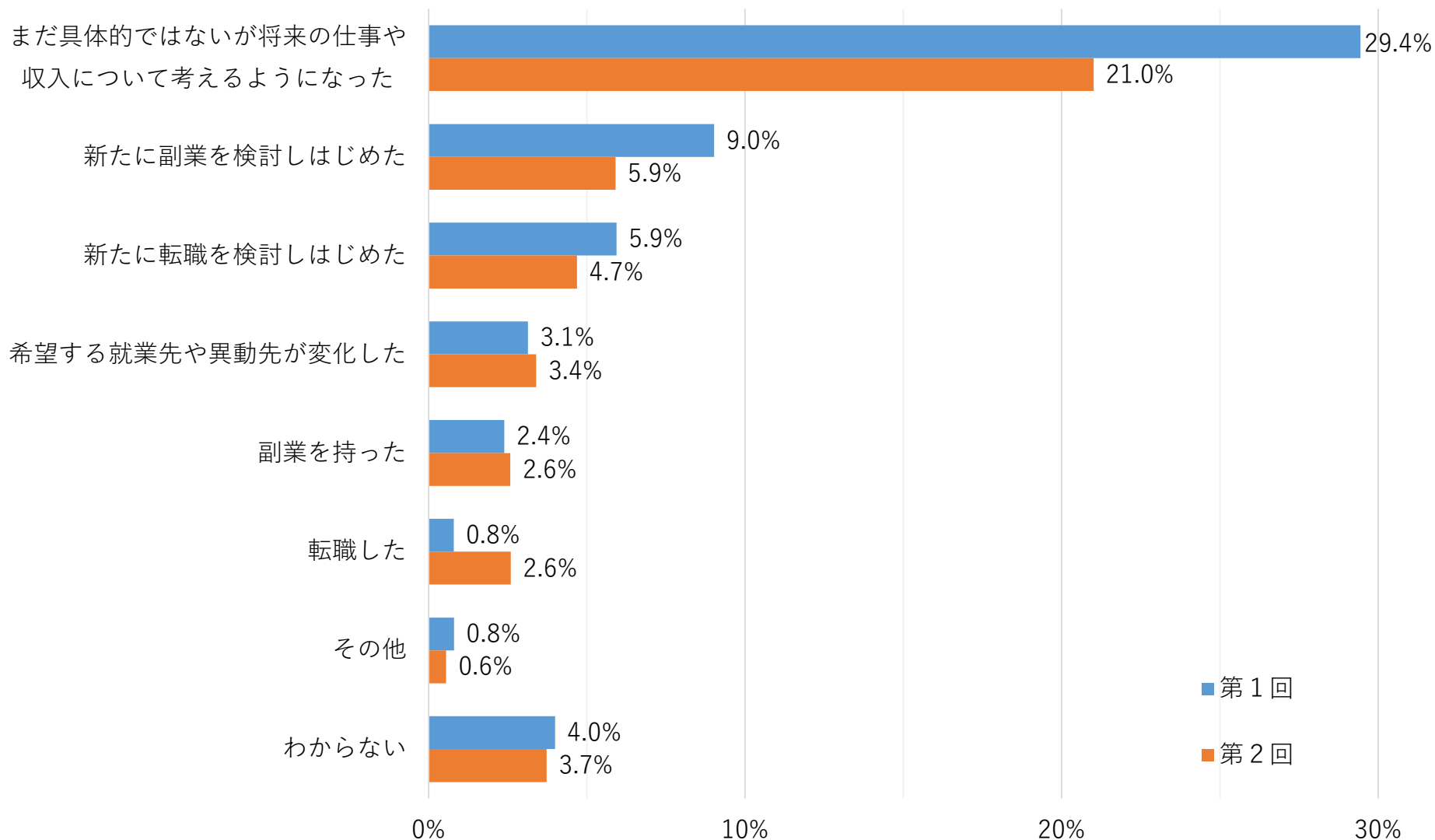
■ テレワーク中心（50%以上）で、
定期的に出勤を希望

■ 出勤中心（50%以上）で、
定期的なテレワーク利用を希望

■ 基本的に出勤だが、
不定期にテレワークを利用希望

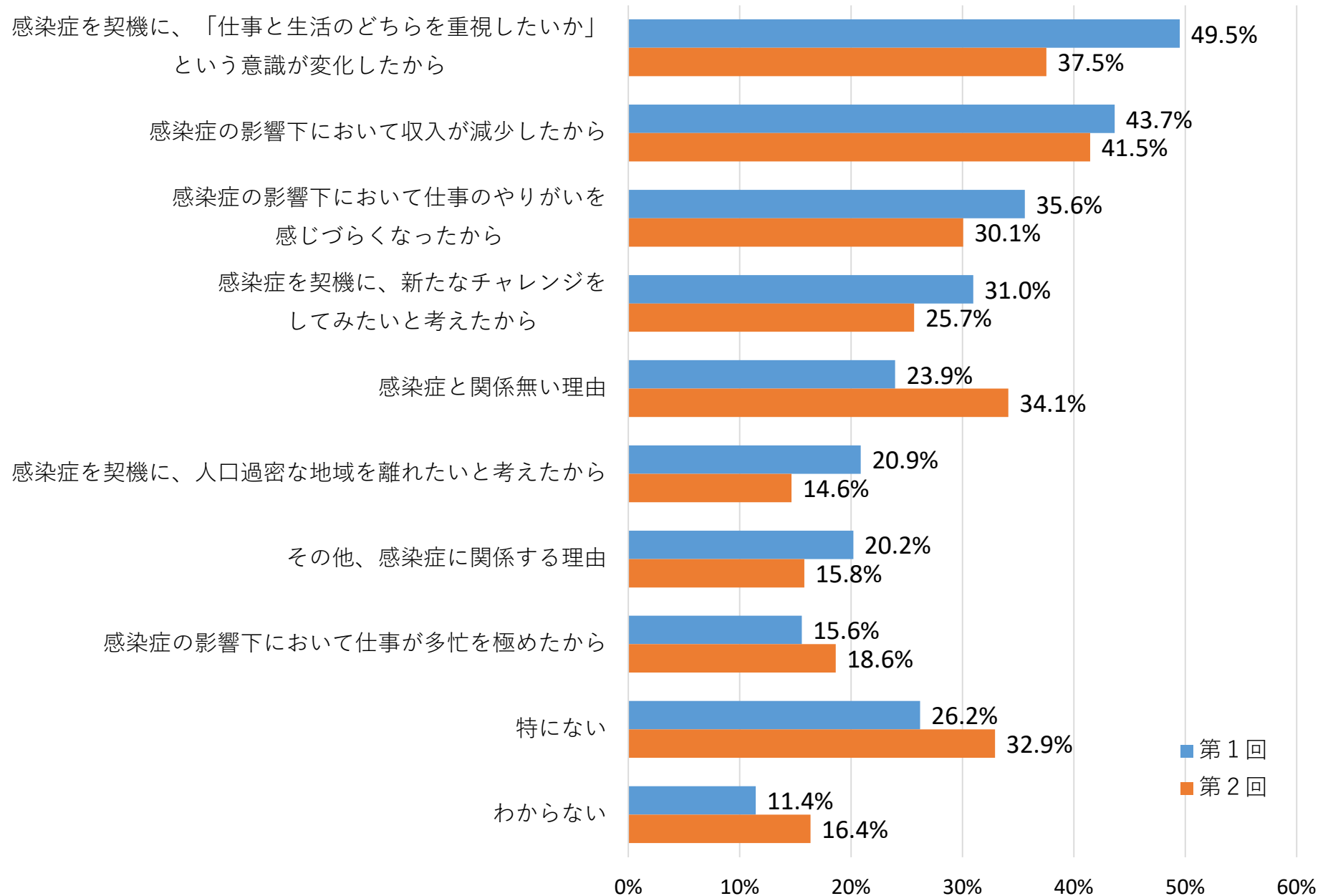
1. 【働き方】職業の選択、副業等の希望の変化（就業者）

※感染症拡大前からの変化について質問（第2回調査では、昨年12月からの変化と記載）

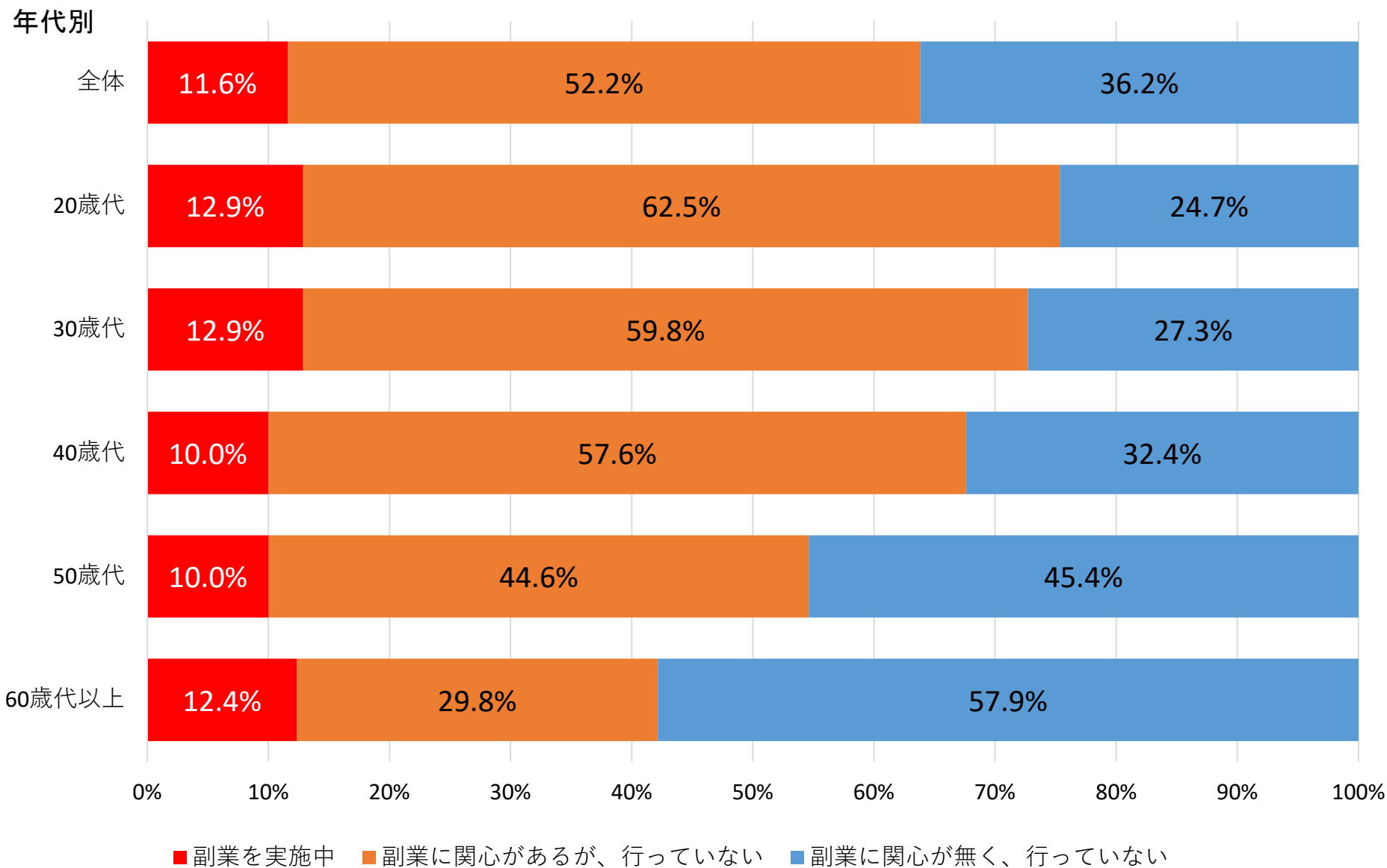


※「変化していない」と回答した人の割合は64.8%

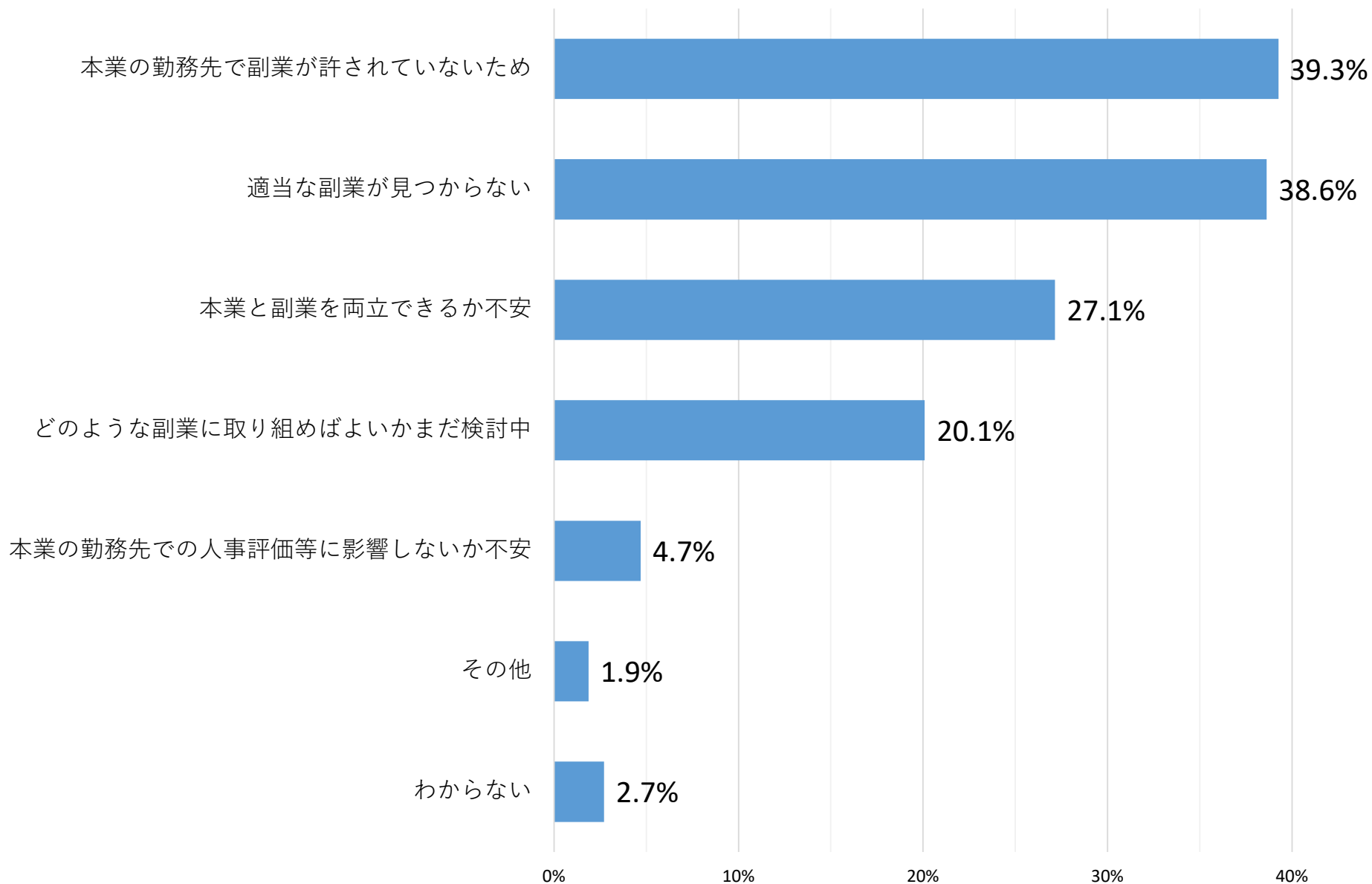
1. 【働き方】職業の選択、副業等の希望の変化の理由（職業選択や希望が変化した就業者）



1. 【働き方】副業の実施状況及び関心（就業者）

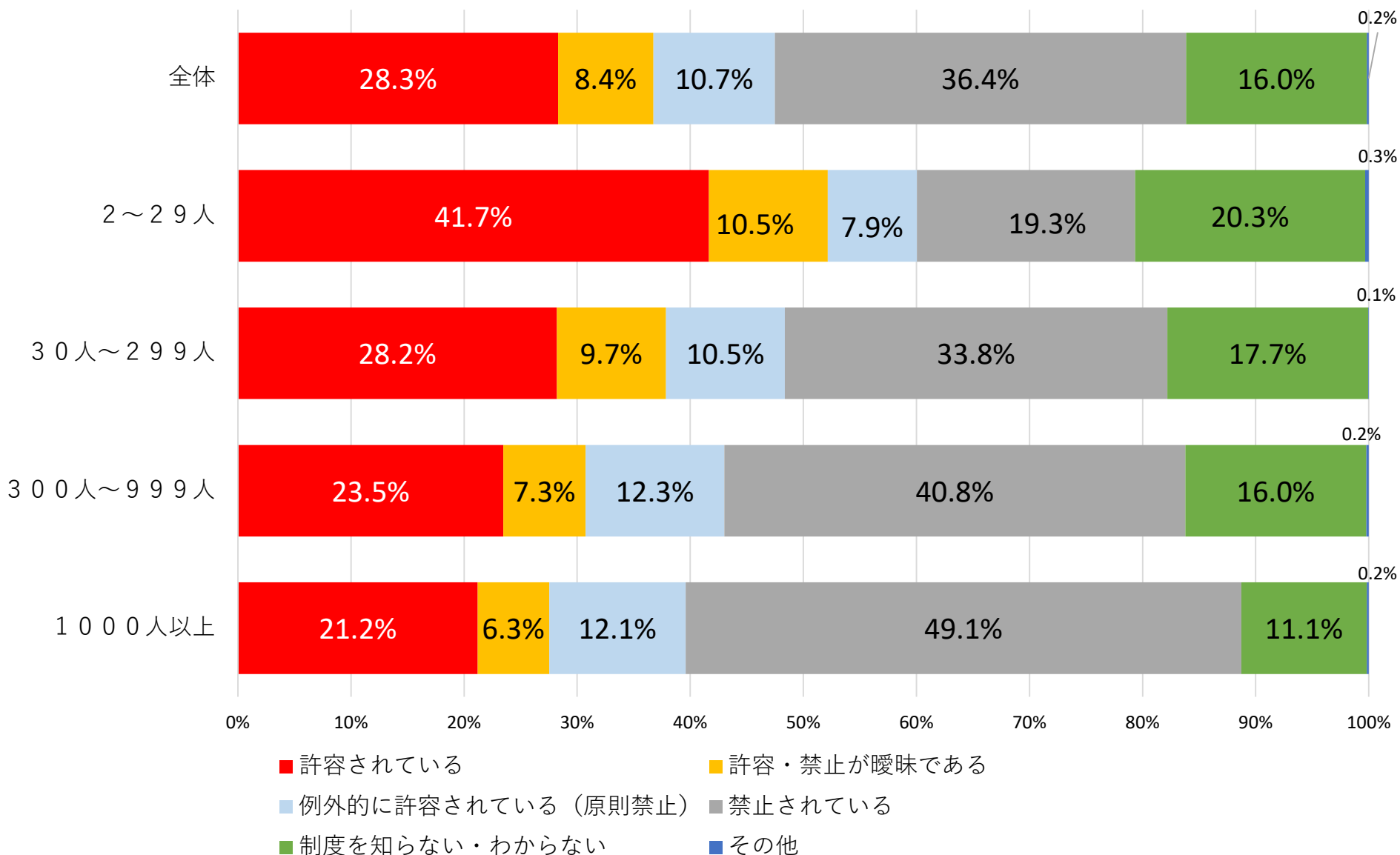


1. 【働き方】副業を行っていない理由（副業に関心があるが、行っていない就業者）

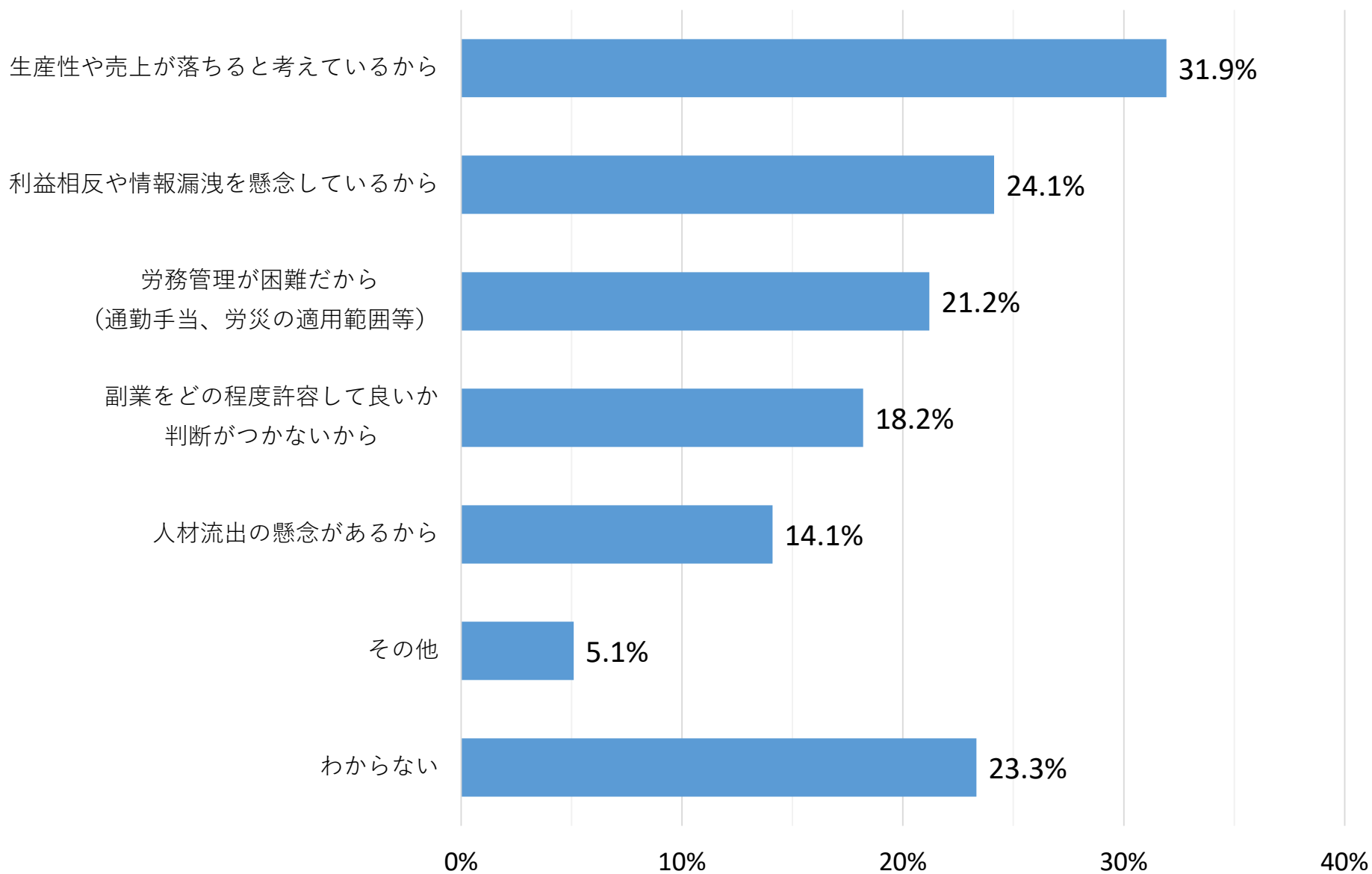


1. 【働き方】勤務先の副業に関する制度（企業規模別）（雇用者）

企業規模別



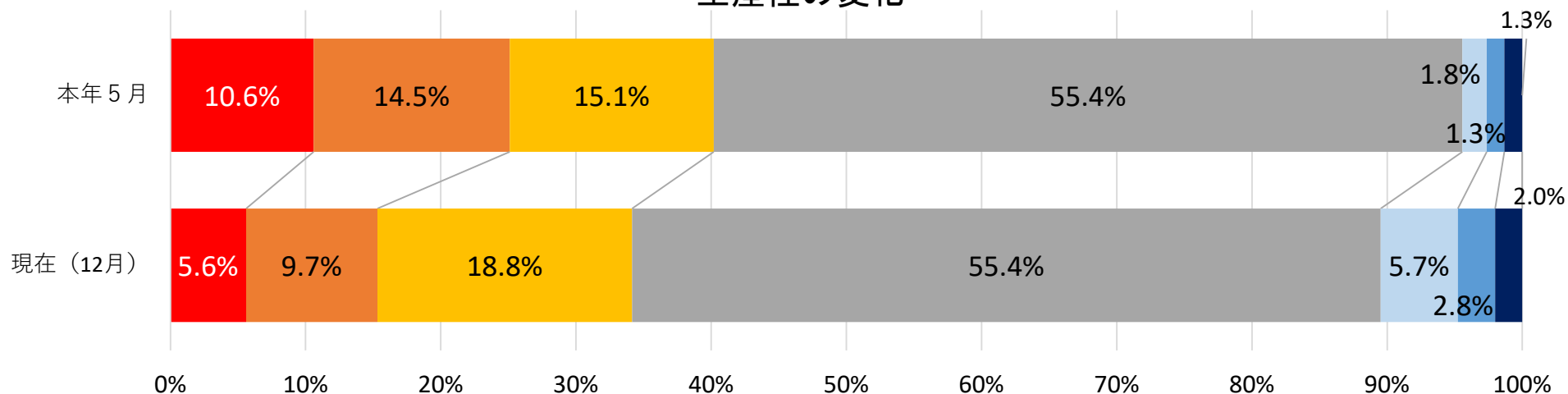
1. 【働き方】勤務先が副業を許容しない理由（副業が禁止、又は原則禁止の雇用者）



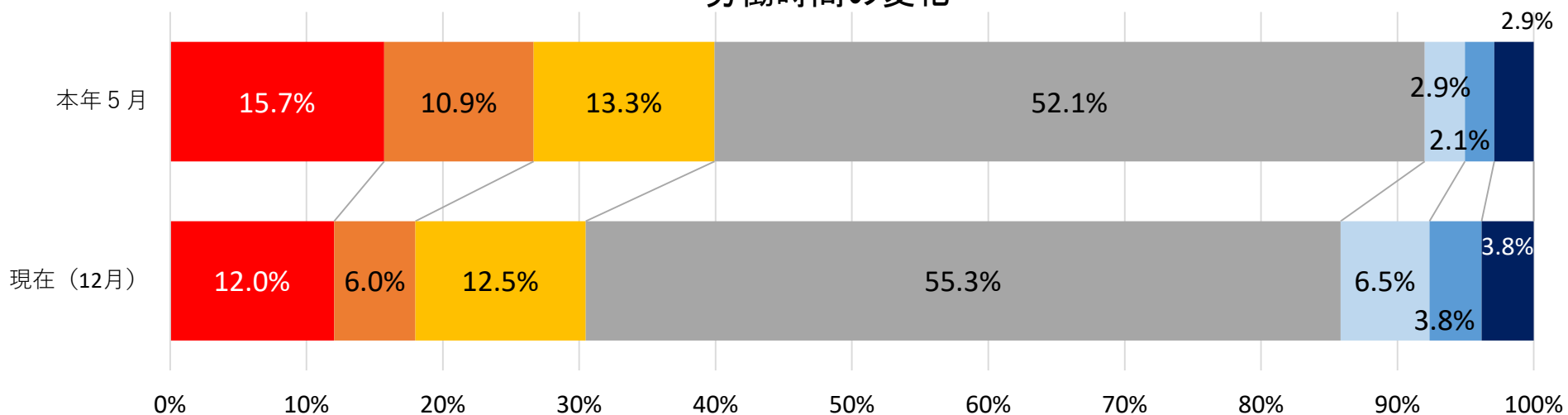
1. 【働き方】生産性、労働時間の変化（就業者）

※昨年12月（感染症拡大前）からの変化について質問

生産性の変化



労働時間の変化



■ 大幅に減少（51%以上減少）

■ 減少（21%～50%減少）

■ やや減少（6%～20%減少）

■ 概ね変化無い（5%減少～5%増加）

■ やや増加（6%～20%増加）

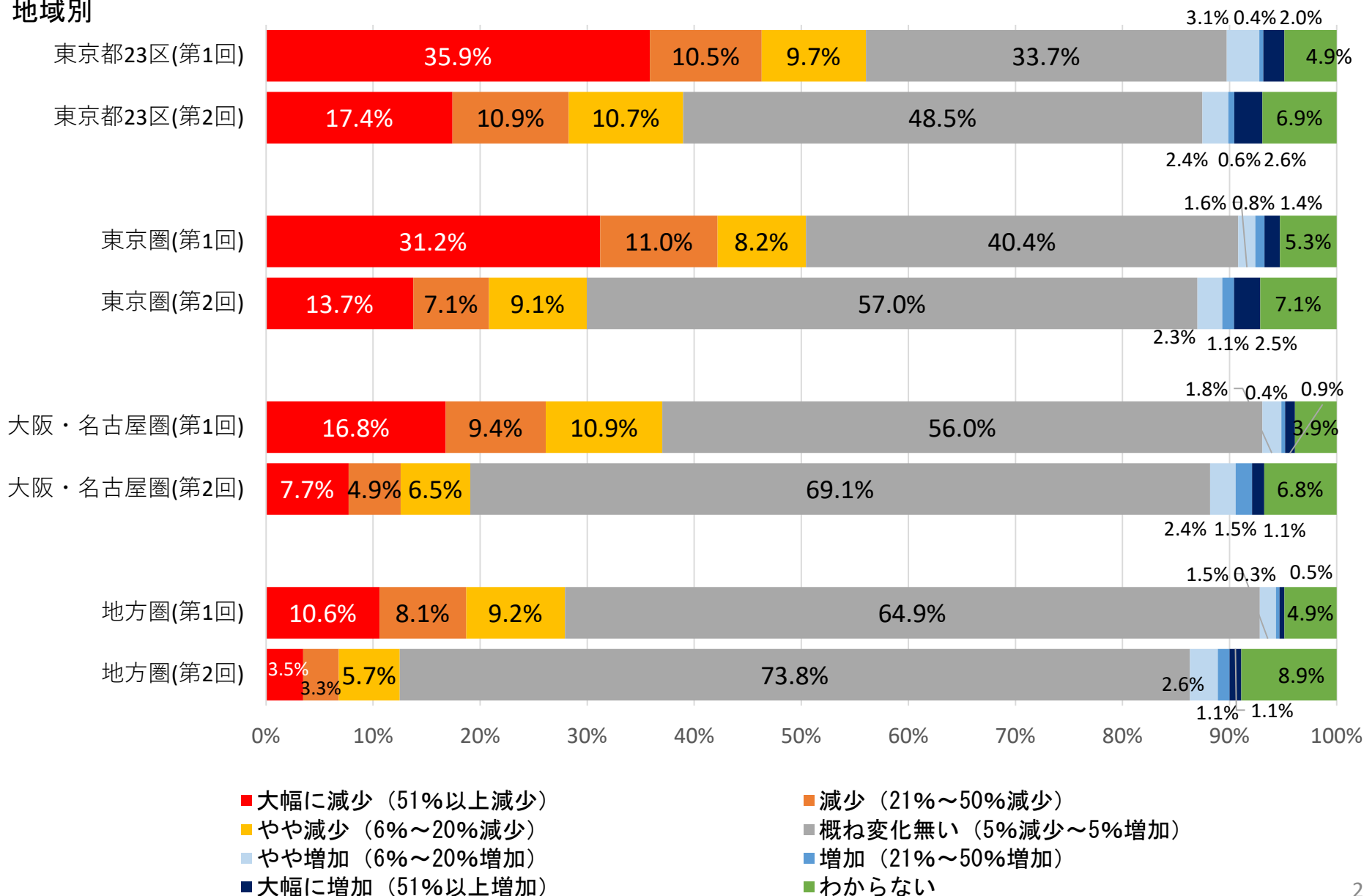
■ 増加（21%～50%増加）

■ 大幅に増加（51%以上増加）

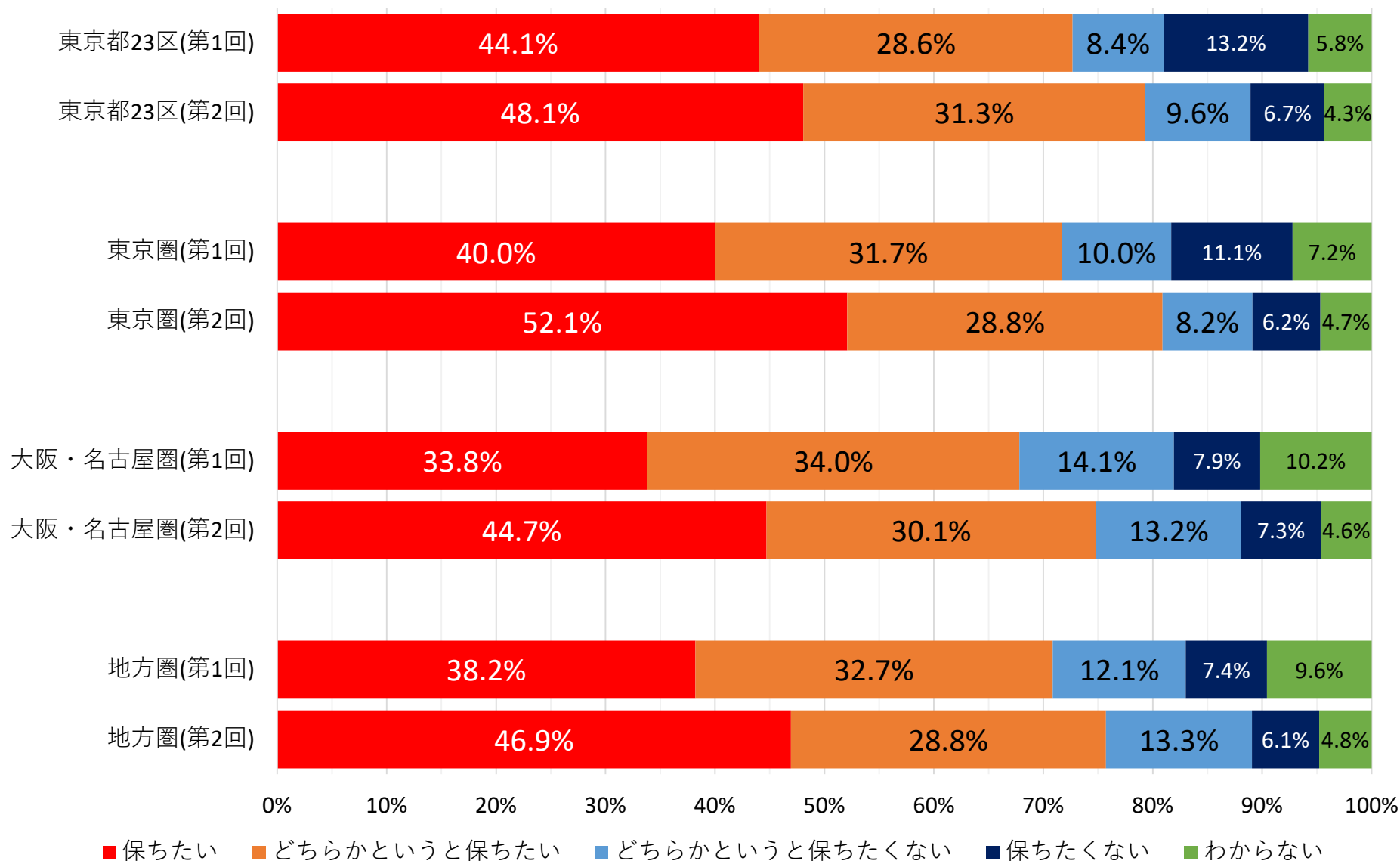
1. 【働き方】通勤時間の変化（就業者）

※感染症拡大前からの変化について質問（第2回調査では、昨年12月からの変化と記載）

地域別

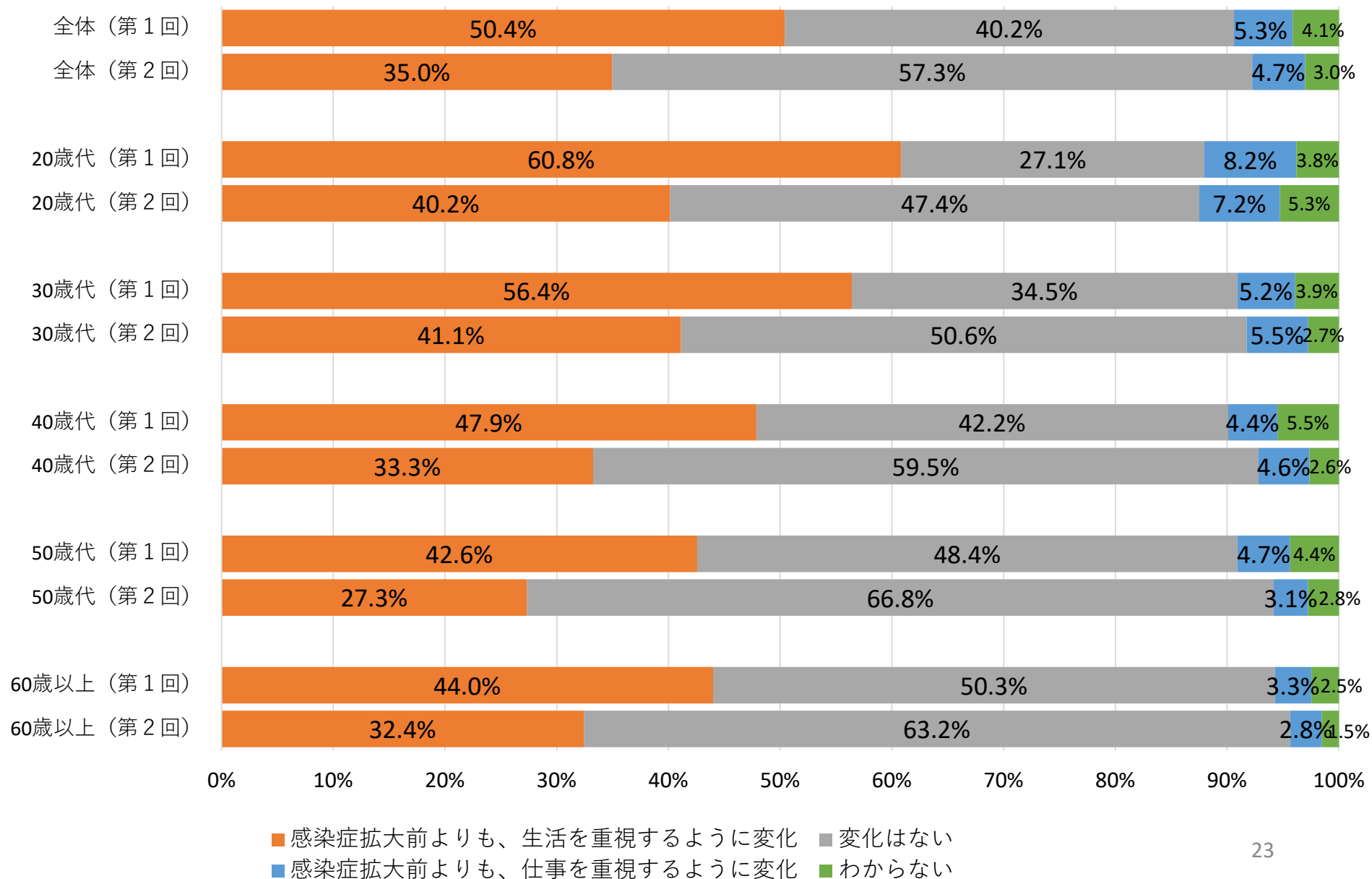


1. 【働き方】通勤時間の継続希望（地域別）（通勤時間が減少した就業者）



1. 【働き方】ワーク・ライフ・バランスの意識変化（就業者）

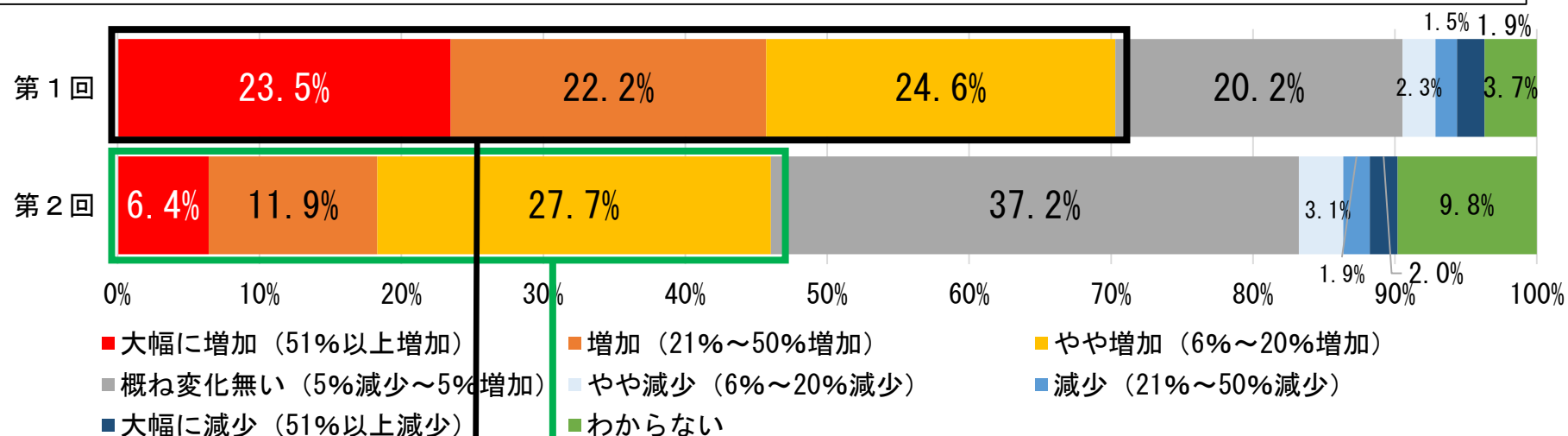
※感染症拡大前からの変化について質問（第2回調査では、昨年12月からの変化と記載）



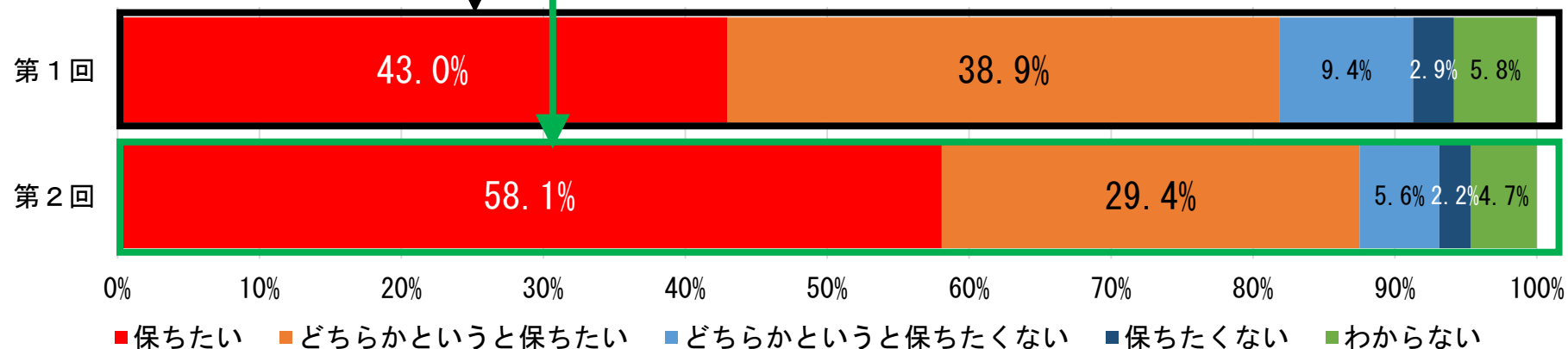
2. 子育て

2. 【子育て】家族と過ごす時間（18歳未満の子を持つ親）

家族と過ごす時間の変化【感染症拡大前と比較】



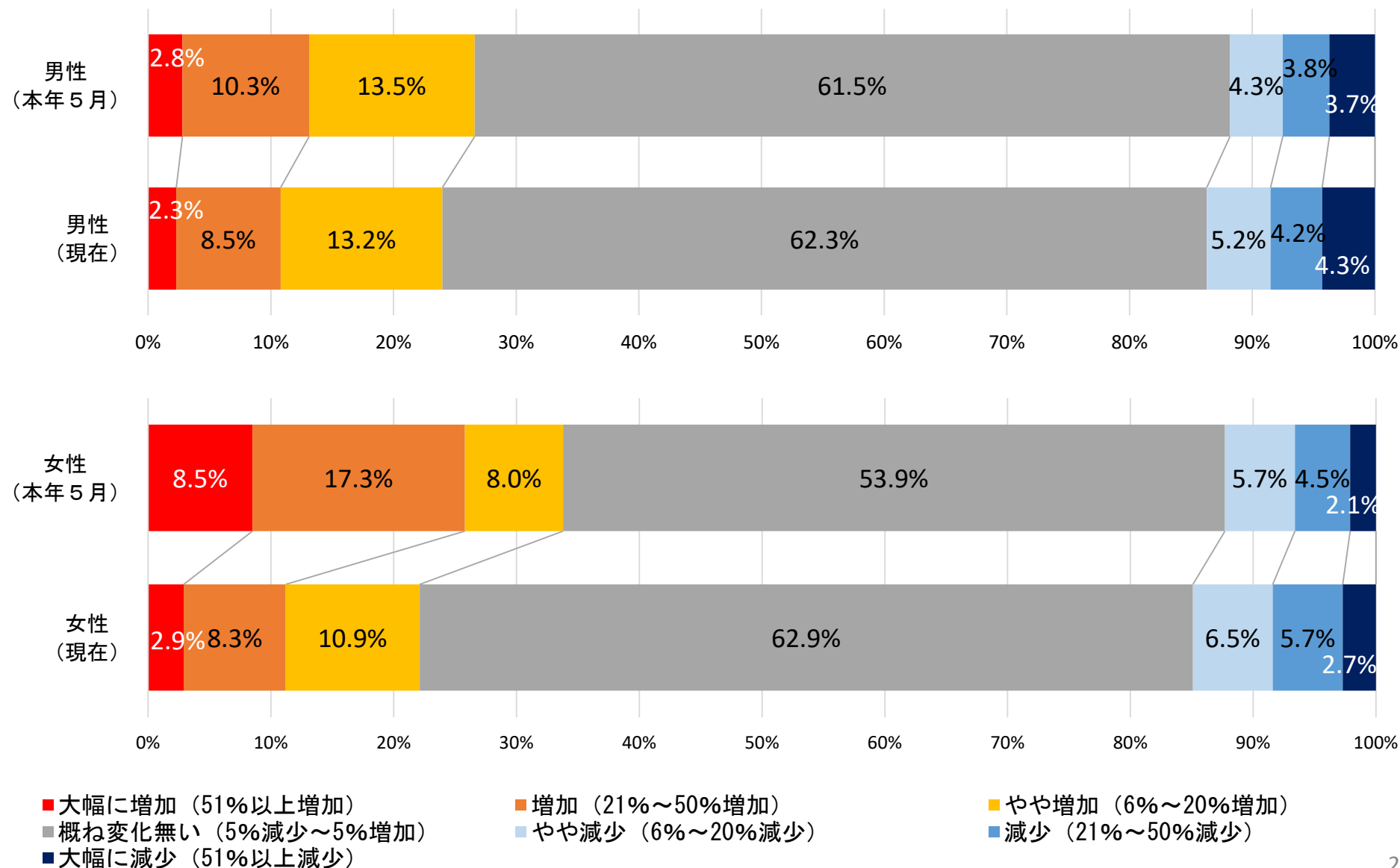
現在の家族と過ごす時間を保ちたいと思うか（家族と過ごす時間が増加した人への質問）



2. 【子育て】家事・育児時間の変化（18歳未満の子を持つ親）

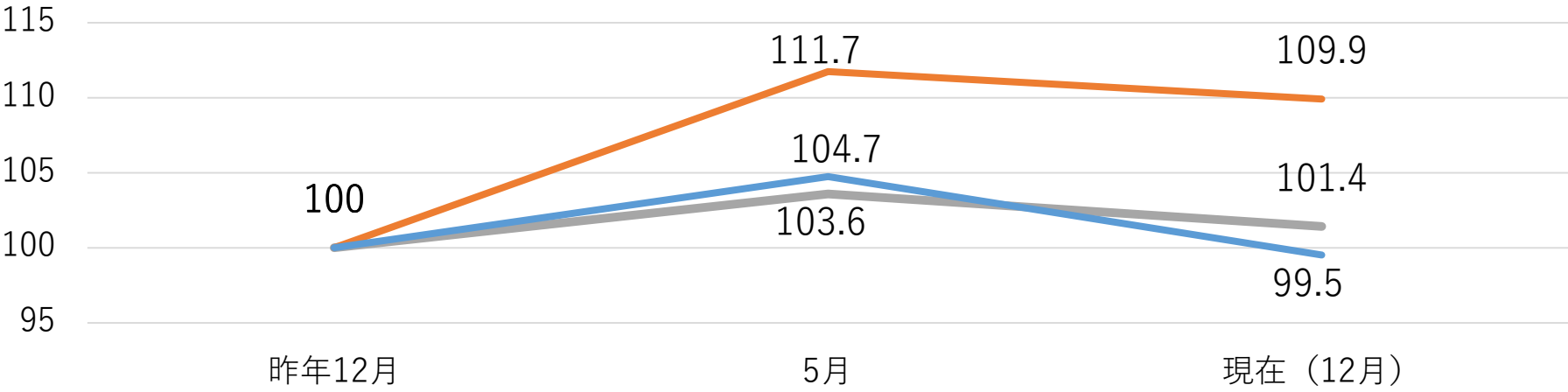
※昨年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

家事・育児時間の変化



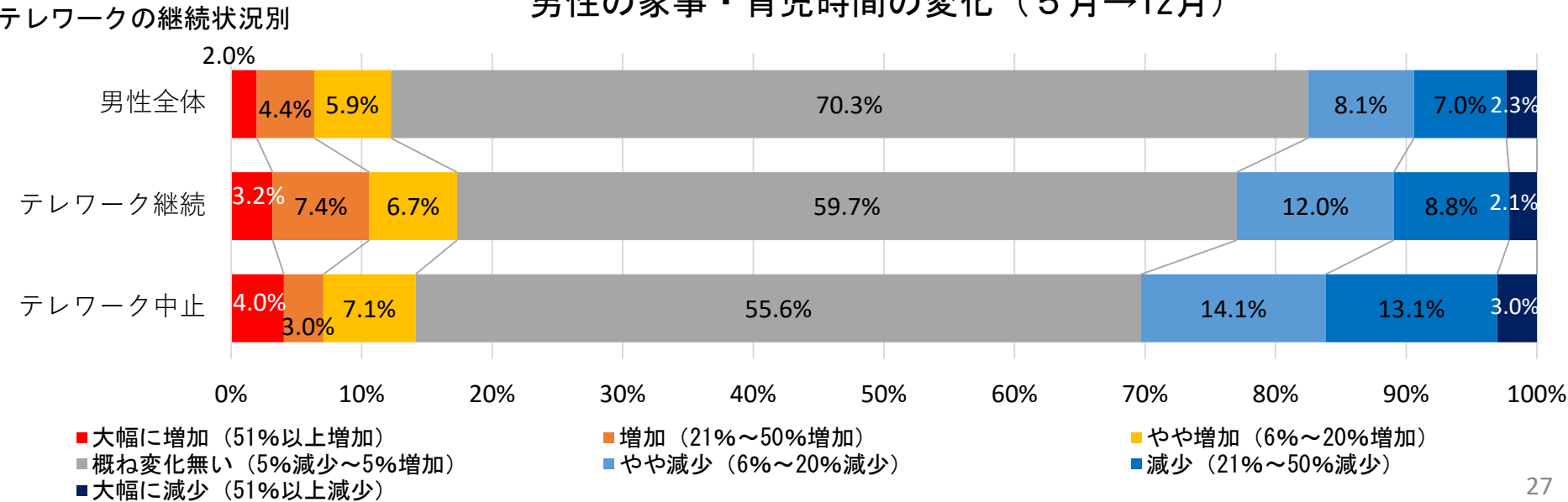
2. 【子育て】男性の家事・育児時間の変化（テレワーク実施状況別）

男性の家事・育児時間の変化の推移（平均値）



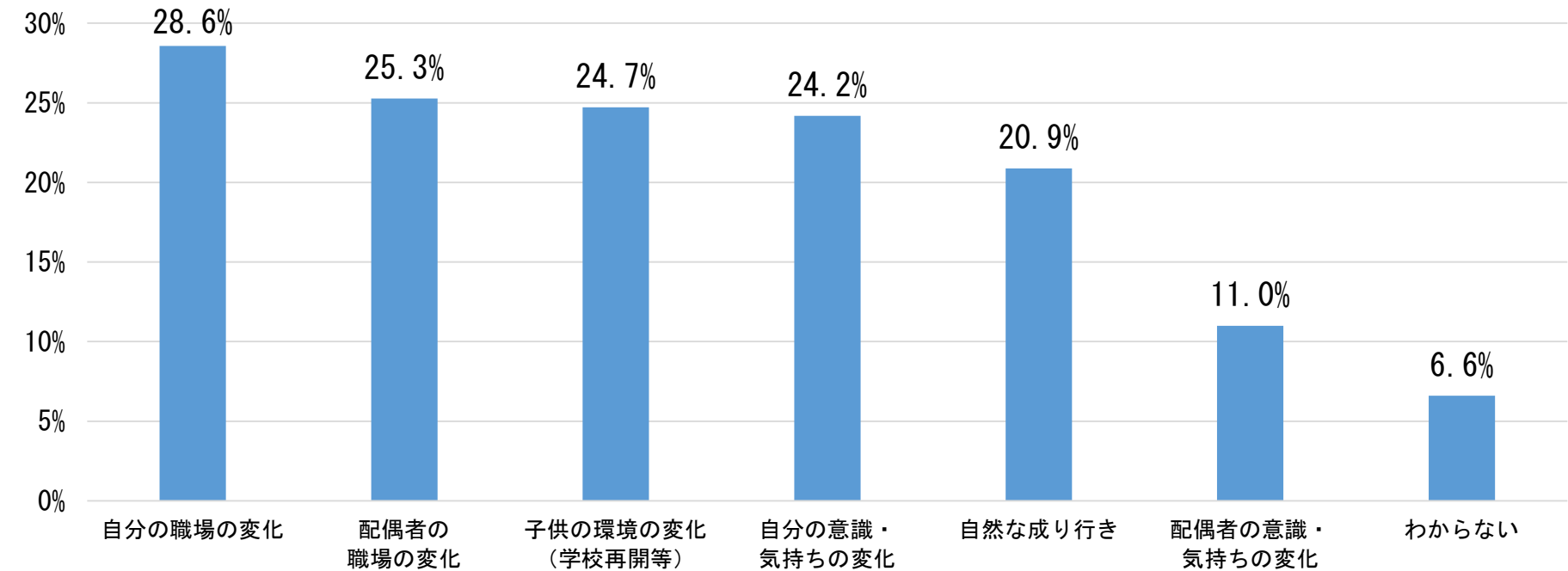
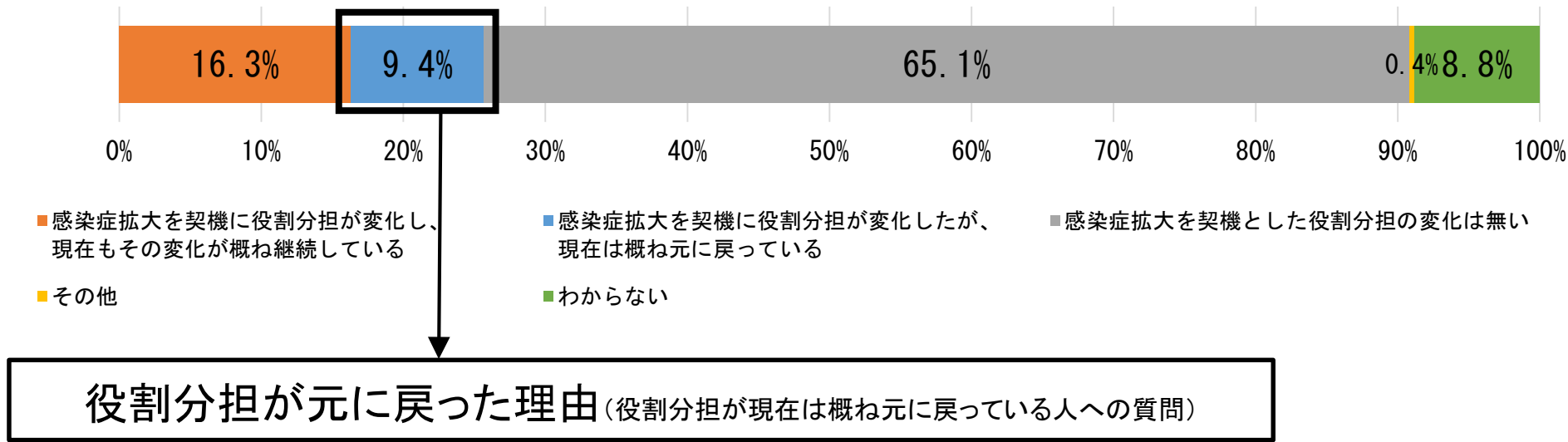
テレワークの継続状況別： — 男性全体 — テレワーク継続 — テレワーク中止

男性の家事・育児時間の変化（5月→12月）



2. 【子育て】家事・育児に関する夫婦の役割分担の変化（18歳未満の子を持つ親）

※昨年12月（感染症拡大前）と比較



2. 【子育て】家事・育児に関する役割分担の変化と夫婦関係の変化

(夫婦間の役割分担が変化した子育て世帯)

夫婦関係の変化

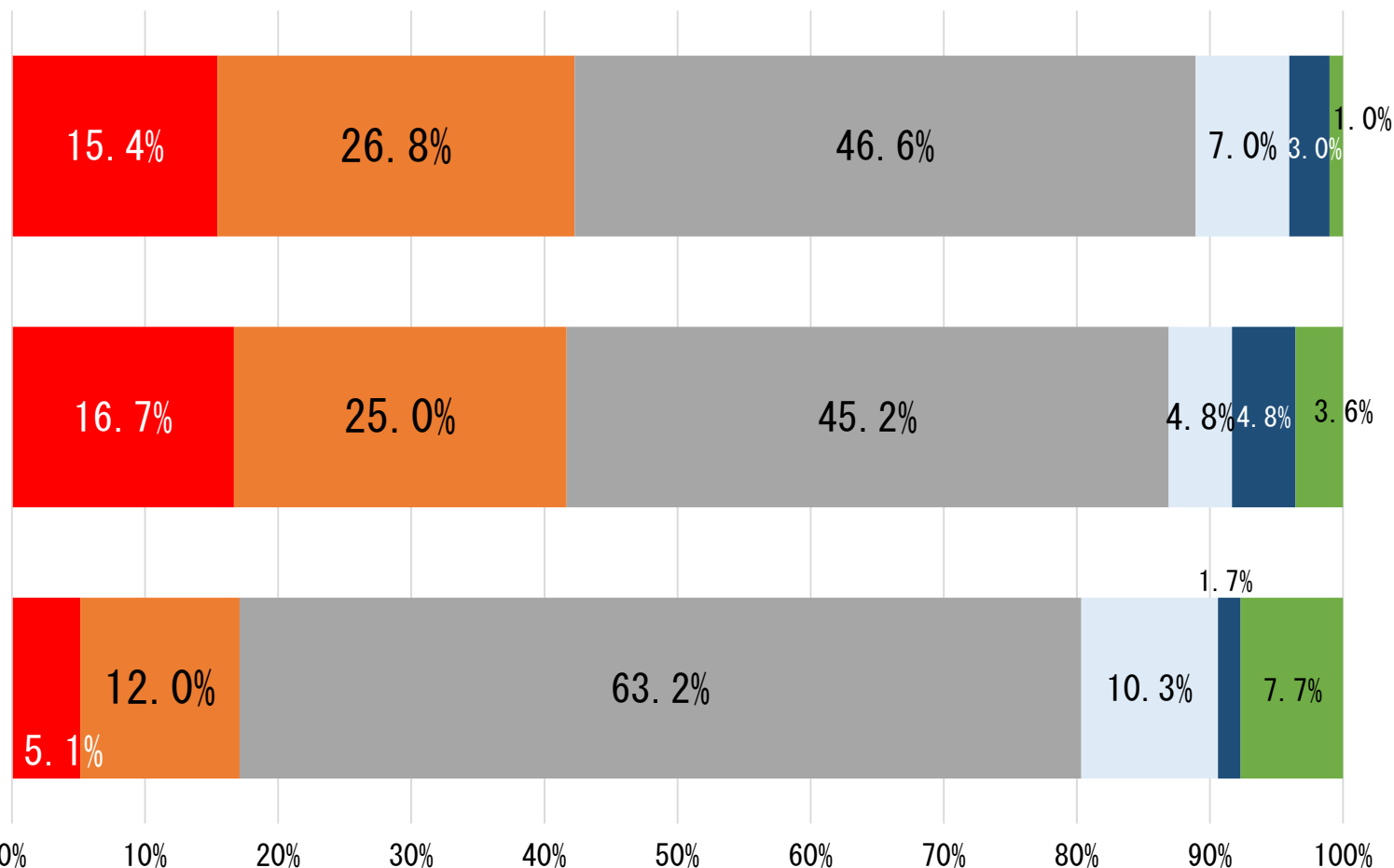
役割分担の変化内容

夫の役割が増加

夫・妻ともに役割が増加

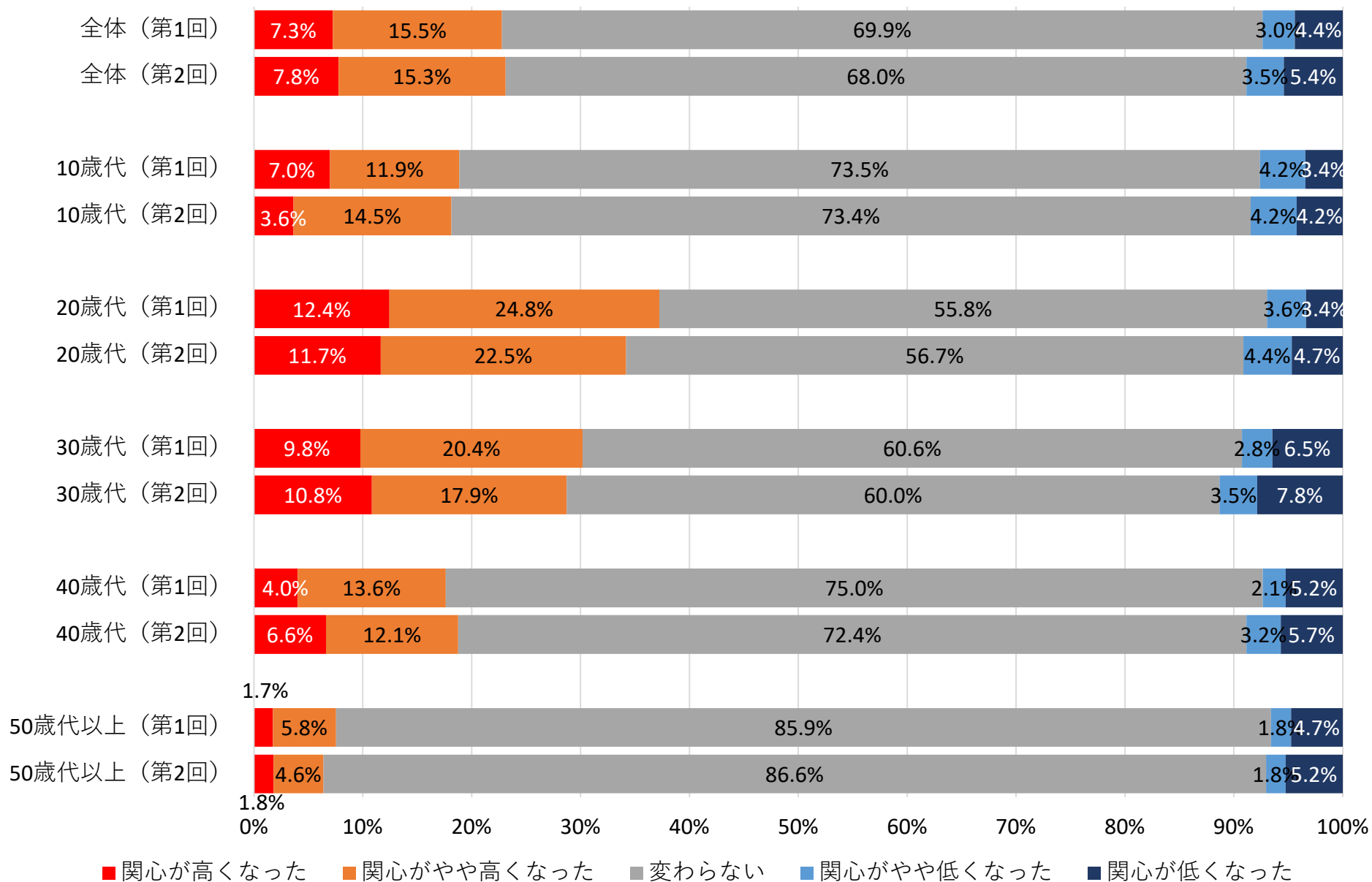
妻の役割が増加

■ 夫妻の関係が良くなった ■ 夫妻の関係がやや良くなった ■ 夫妻の関係は概ね変化無い
■ 夫妻の関係がやや悪くなった ■ 夫妻の関係が悪くなった ■ わからない



2. 【子育て】結婚への関心（未婚者）

※感染症拡大前からの変化について質問（第2回調査では、昨年12月からの変化と記載）

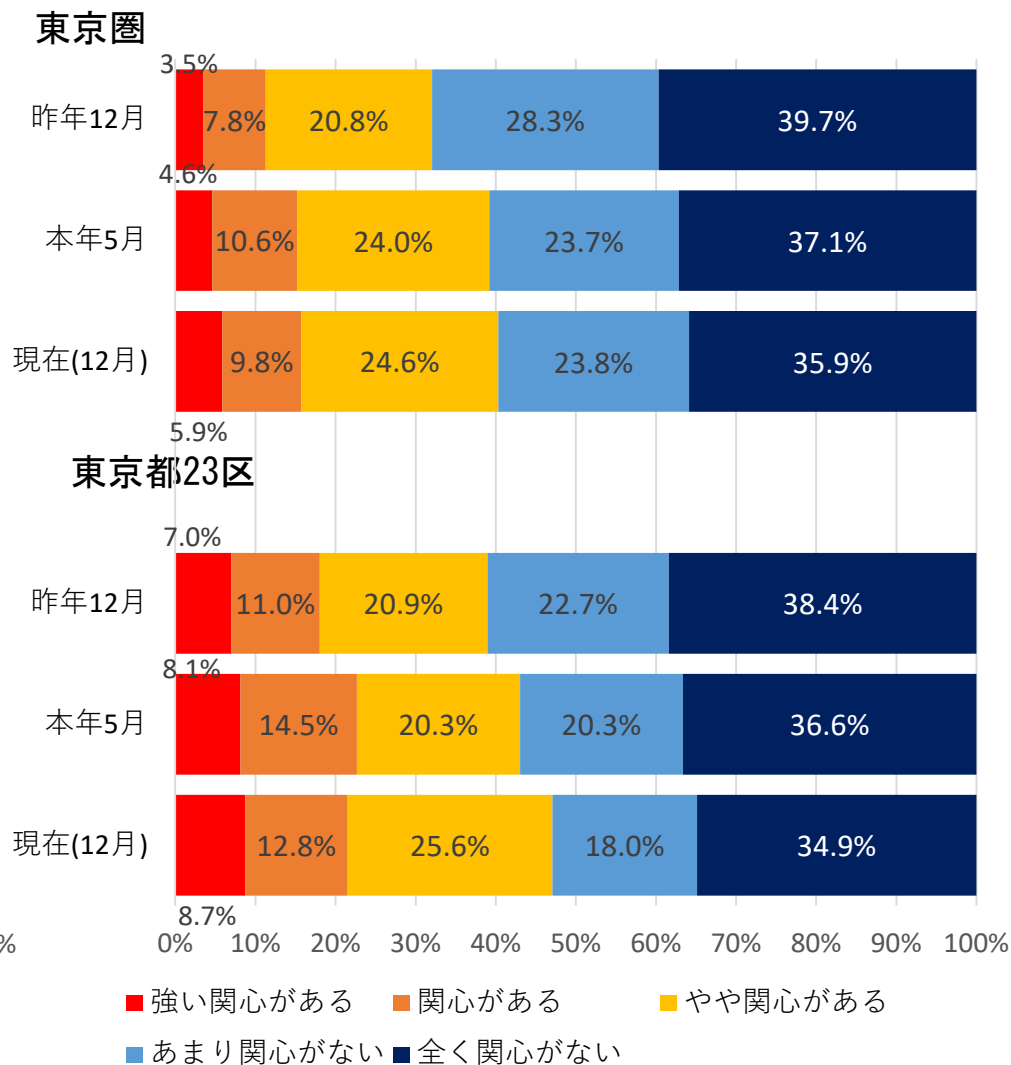
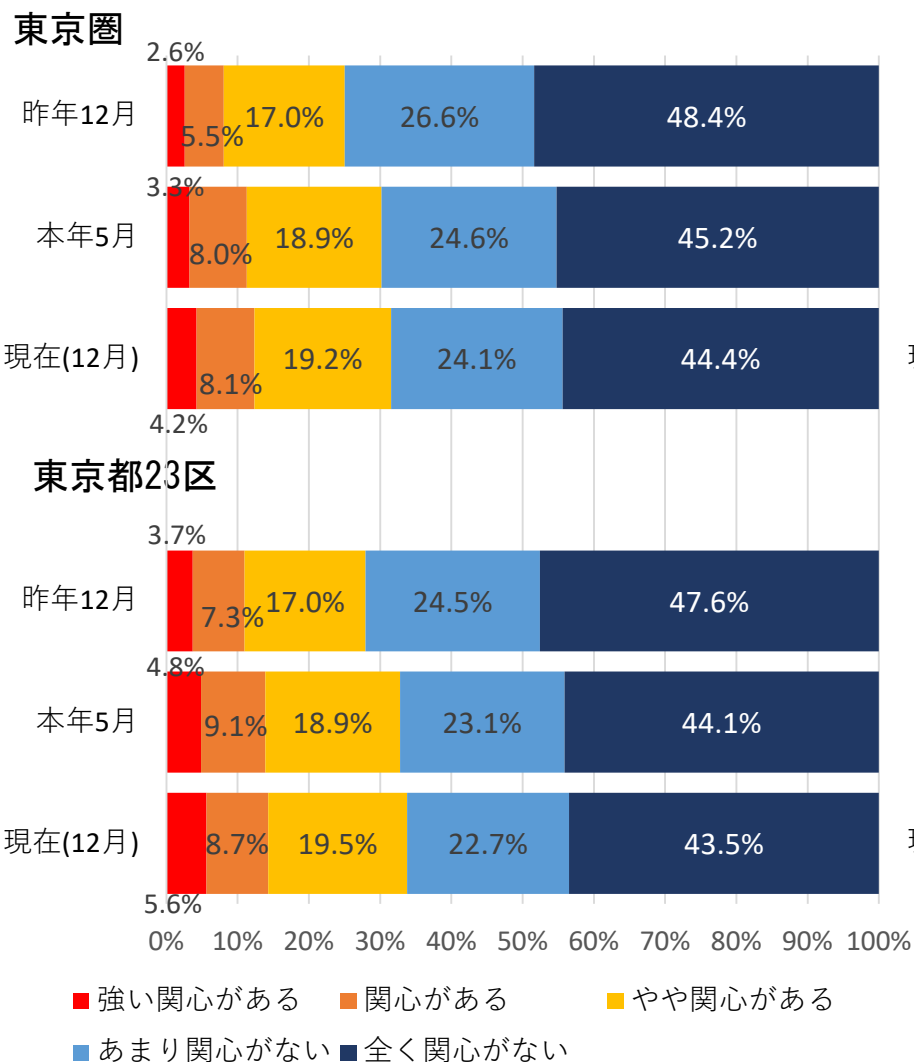


3. 地方

3. 【地方】地方移住への関心（東京圏在住者）

全年齢

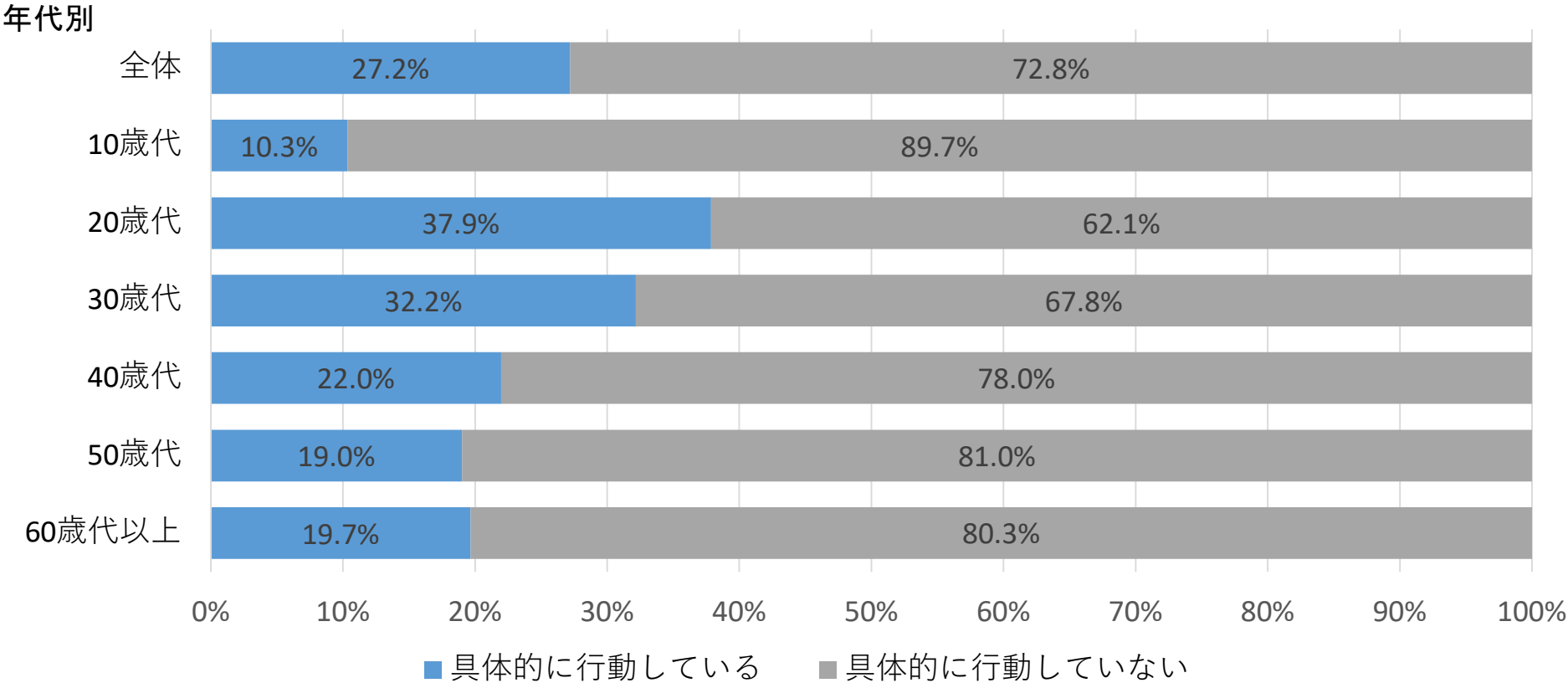
20歳代



3. 【地方】 地方移住に向けた行動（東京圏在住で地方移住に関心がある人）

※ 5 月以降の行動を質問

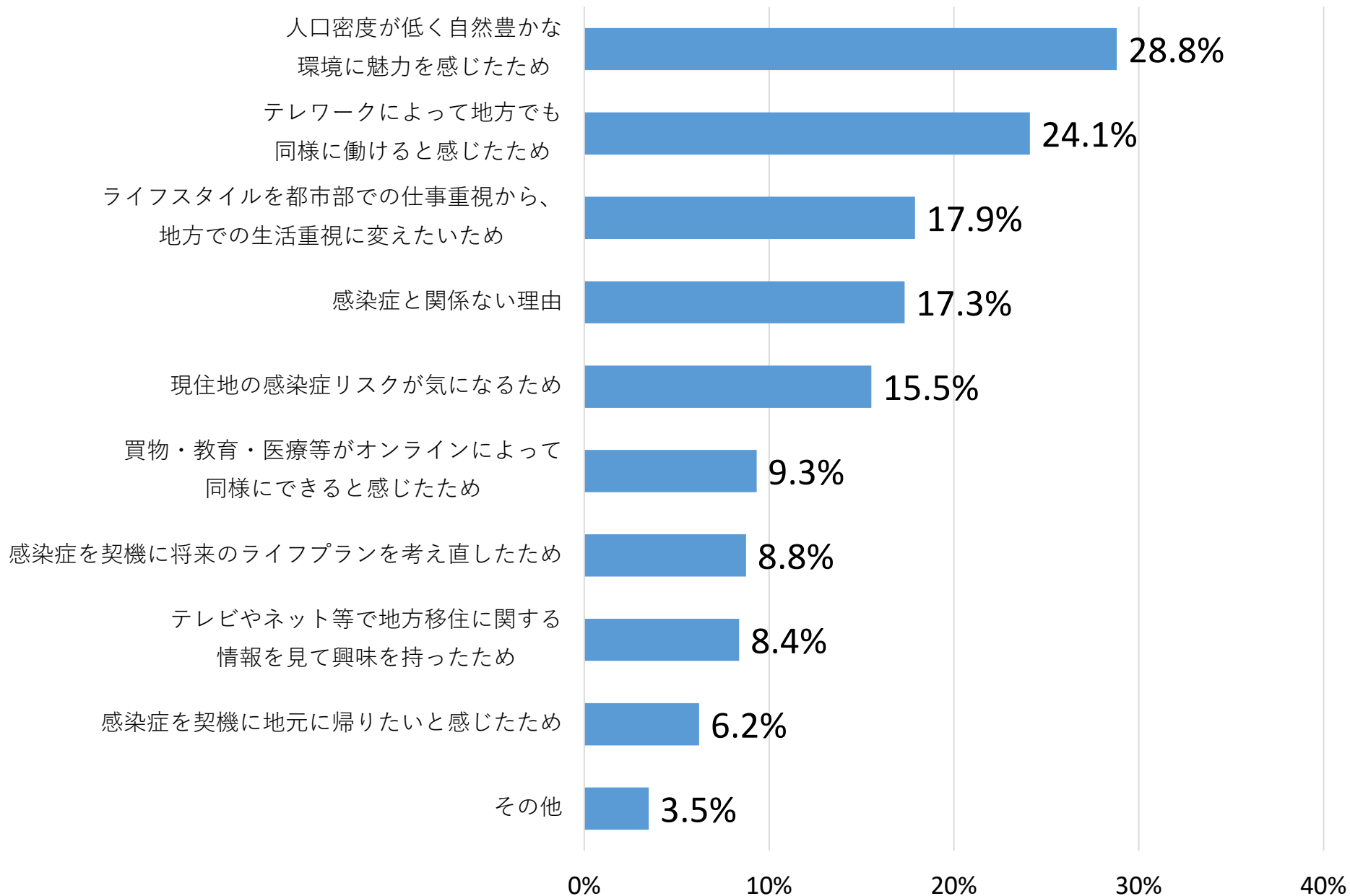
＜地方移住に関心がある人のうち、地方移住に向けた行動をとった人の割合＞



＜行動の具体的な内容＞

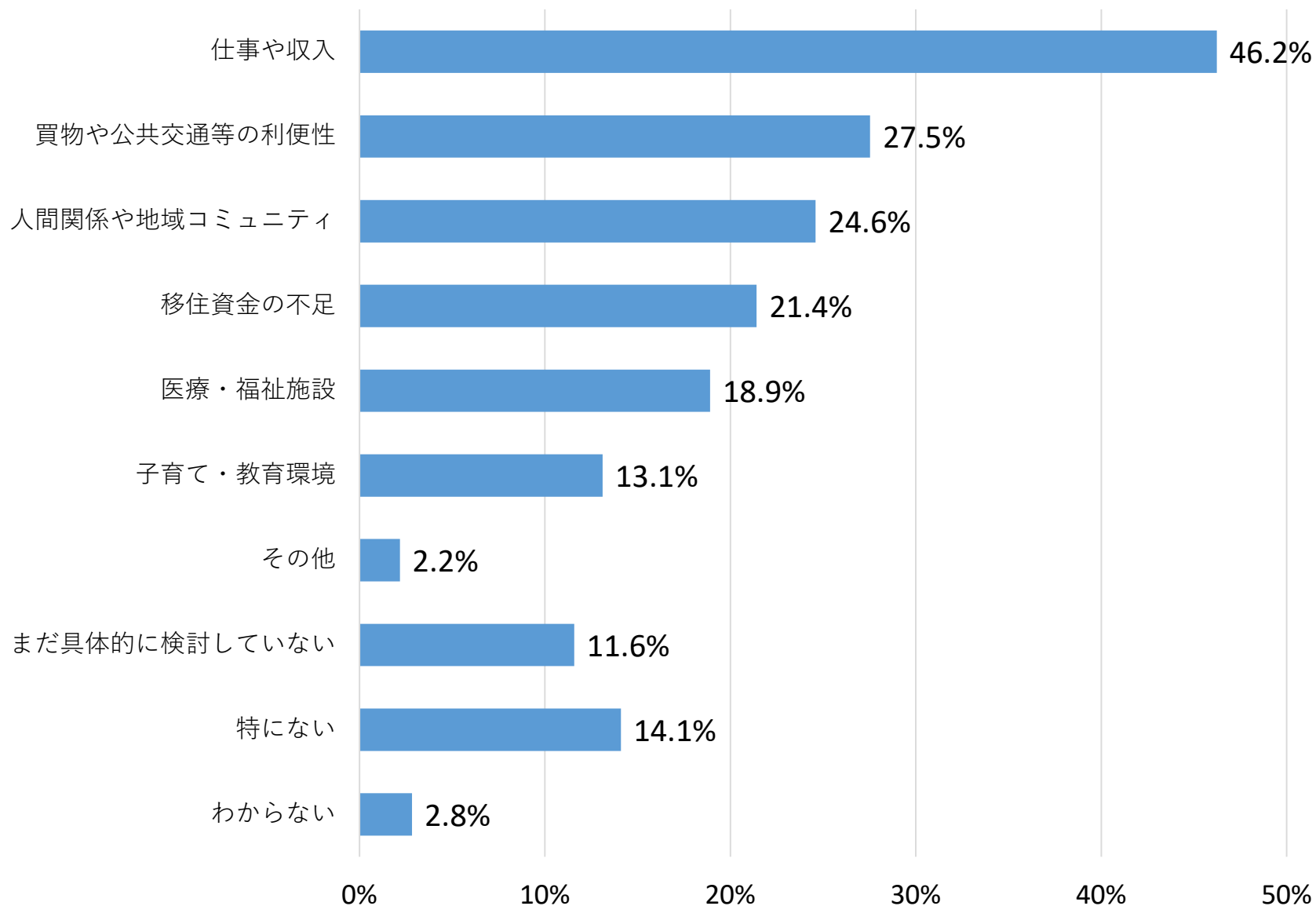
	移住先での 住宅情報を 調べた	移住先での 就職情報を 調べた	移住に向けて 家族と具体的 な相談をした	移住先の 学校情報を 調べた	移住のための 相談窓口を 利用した	移住先を決定 し、具体的な 引っ越し予定 がある	引越資金集め を始めた
全体	13.1%	7.0%	4.9%	3.1%	2.7%	2.6%	2.3%
20歳代	13.9%	11.8%	5.7%	5.4%	6.1%	3.2%	3.2%

3. 【地方】 地方移住への関心理由（東京圏在住で地方移住に関心がある人）



※「特になし」と回答した人の割合は20.0%

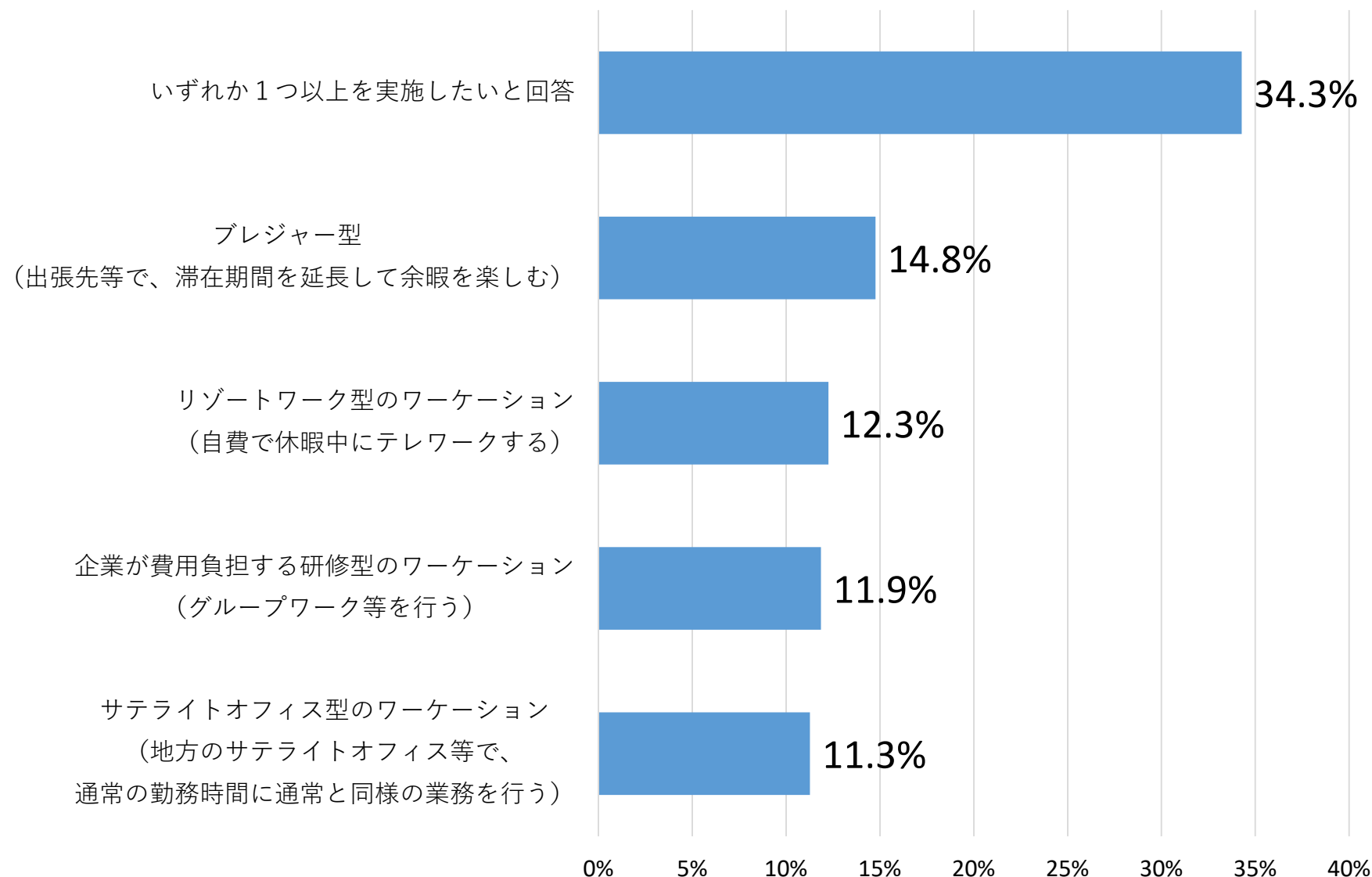
3. 【地方】 地方移住にあたっての懸念（東京圏在住で地方移住に関心がある人）



3. 【地方】ワーケーション実施希望（※）（就業者）

※ワーケーションの類型別（以下の4タイプ）の実施希望を質問

①ブレジャー型 ②リゾートワーク型 ③研修型 ④サテライトオフィス型

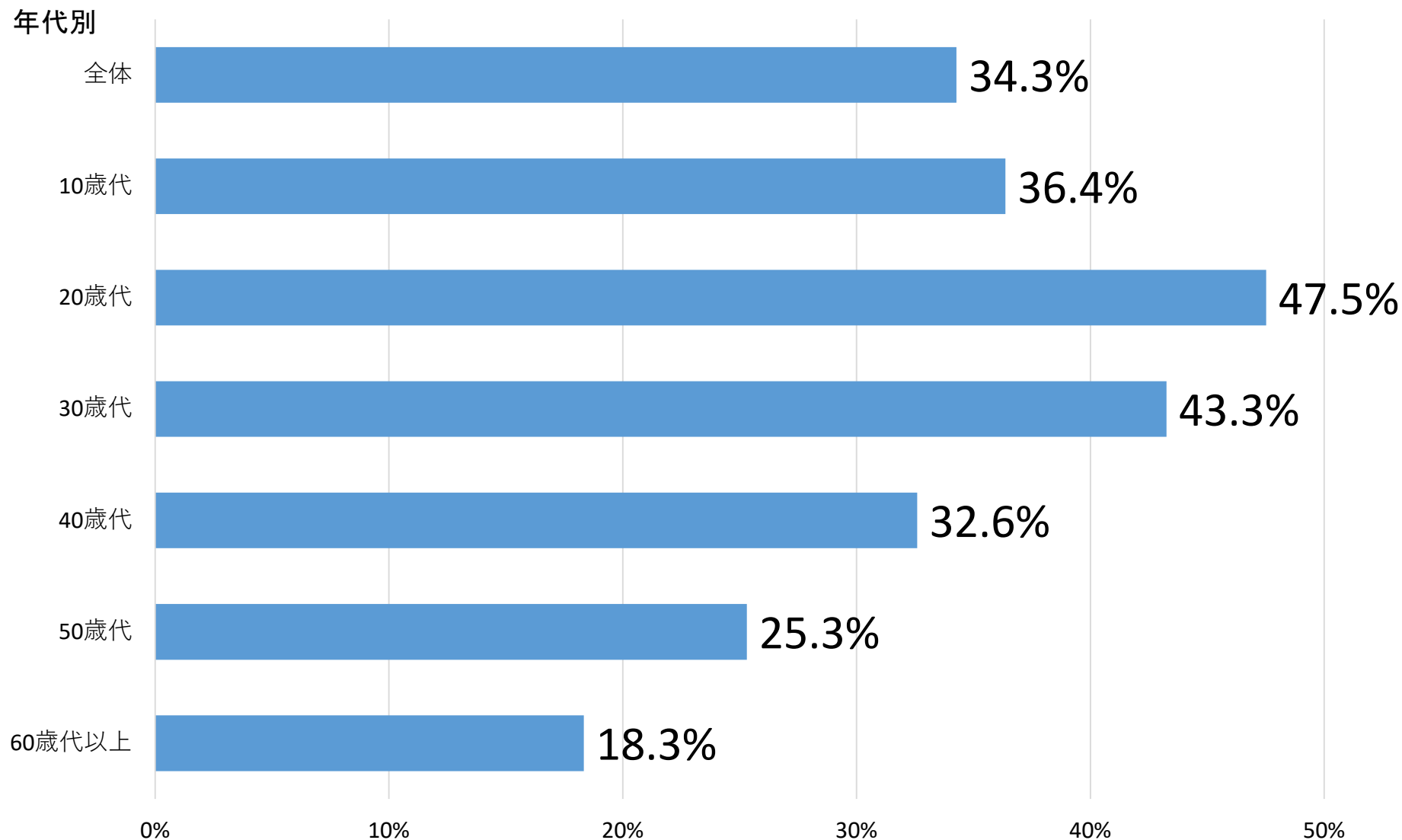


3. 【地方】年代別のワーケーション実施希望（※）（就業者）

※ワーケーションの類型別（以下の4タイプ）の実施希望を質問

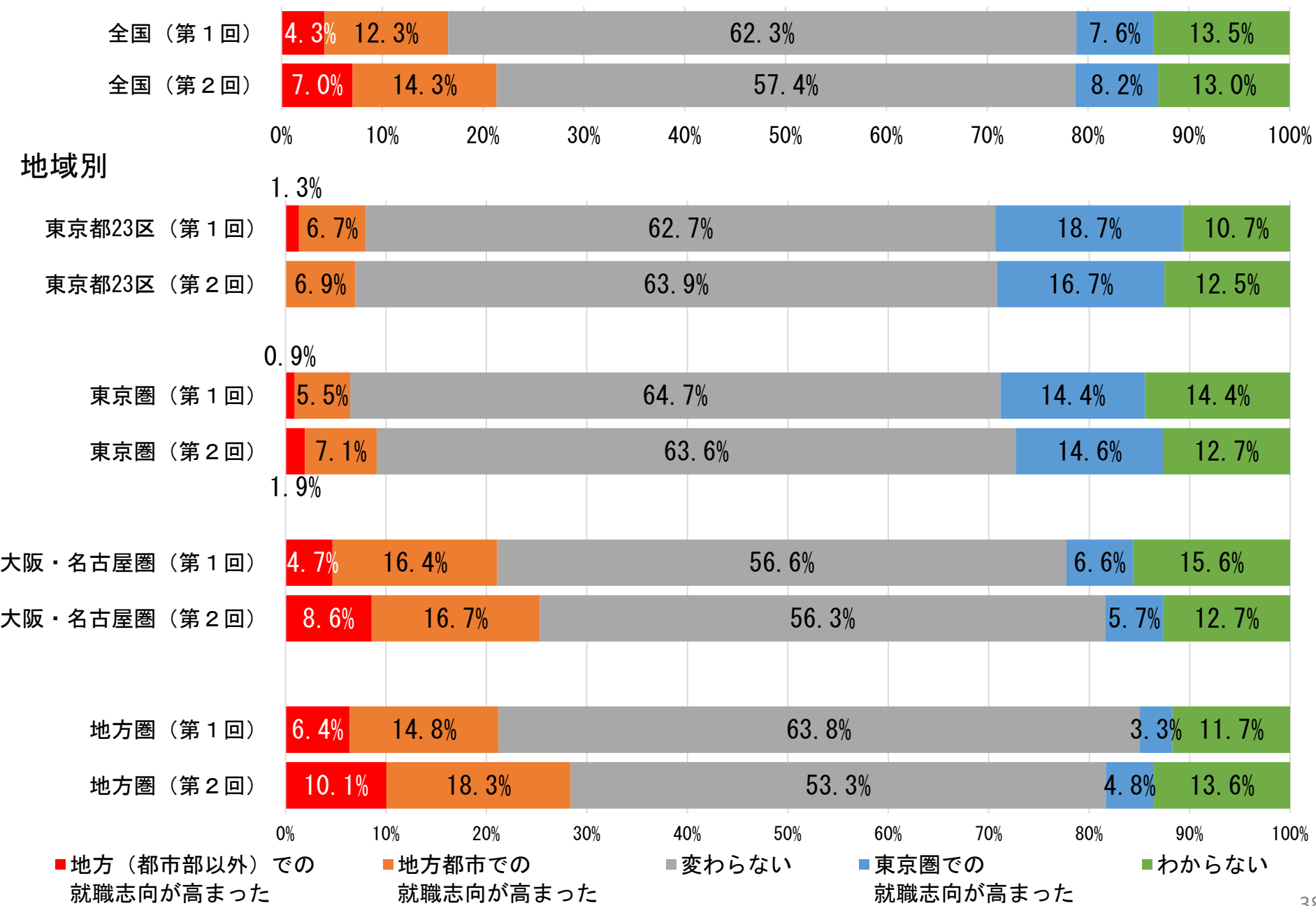
①プレジャー型 ②リゾートワーク型 ③研修型 ④サテライトオフィス型

＜ワーケーションの種類のうち、いずれか1つ以上を実施したいと回答した割合＞



3. 【地方】将来の進路希望の変化（感染症拡大前と比較） （高校生・大学生等の学生）

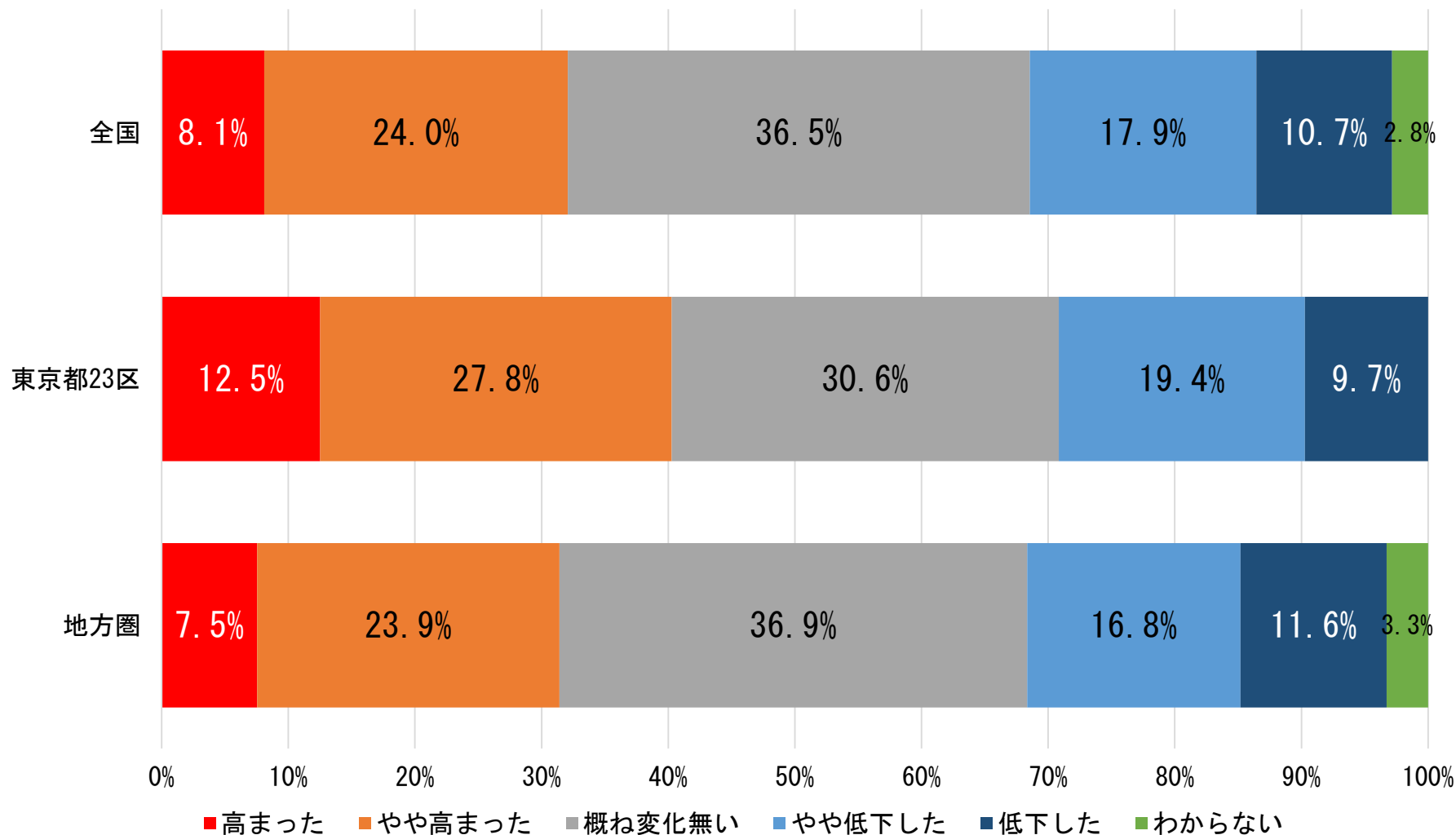
地域別



4. 学び

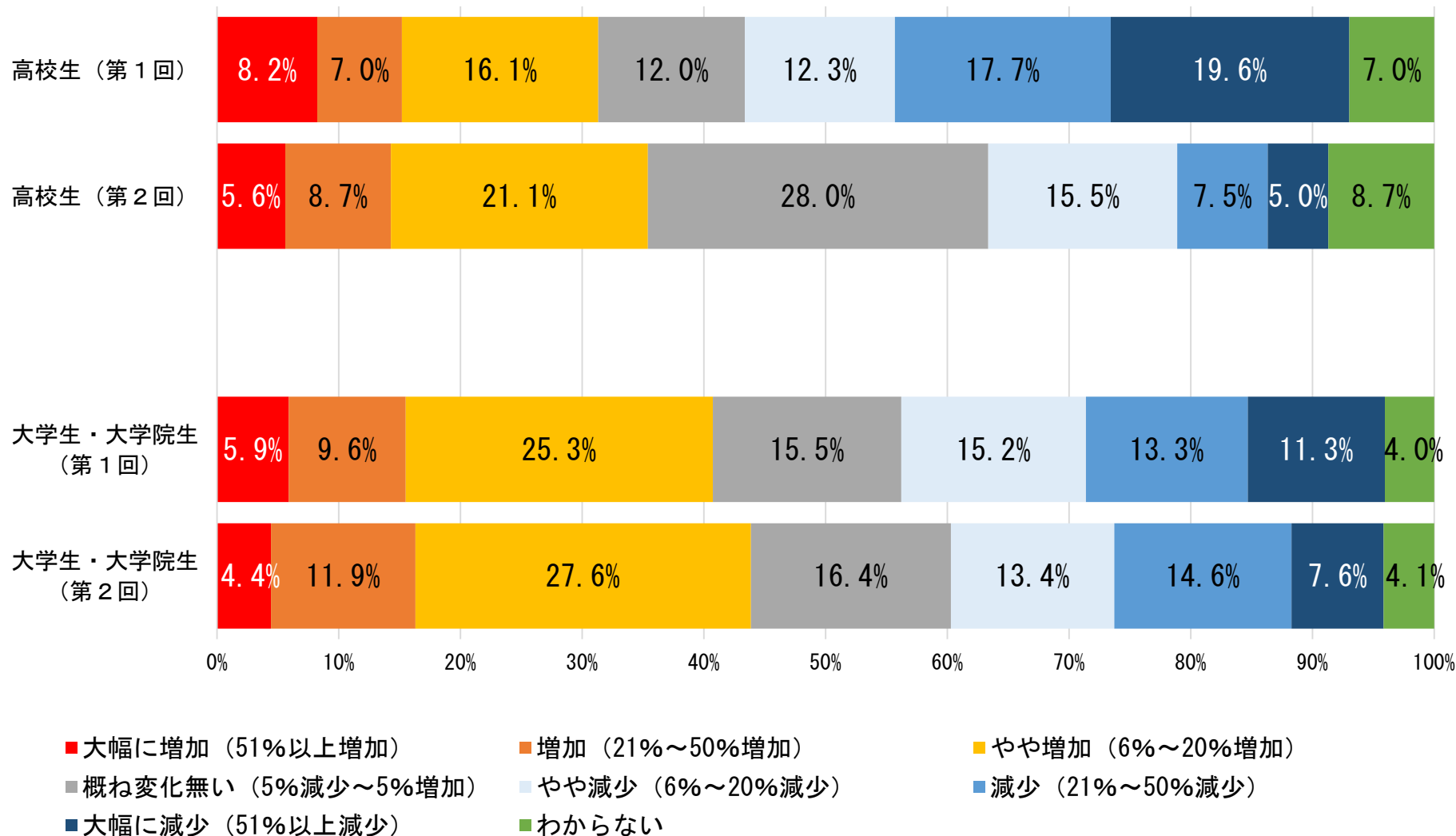
4. 【学び】学習意欲の変化（高校生・大学生等の学生）

※昨年12月（感染症拡大前）からの変化について質問

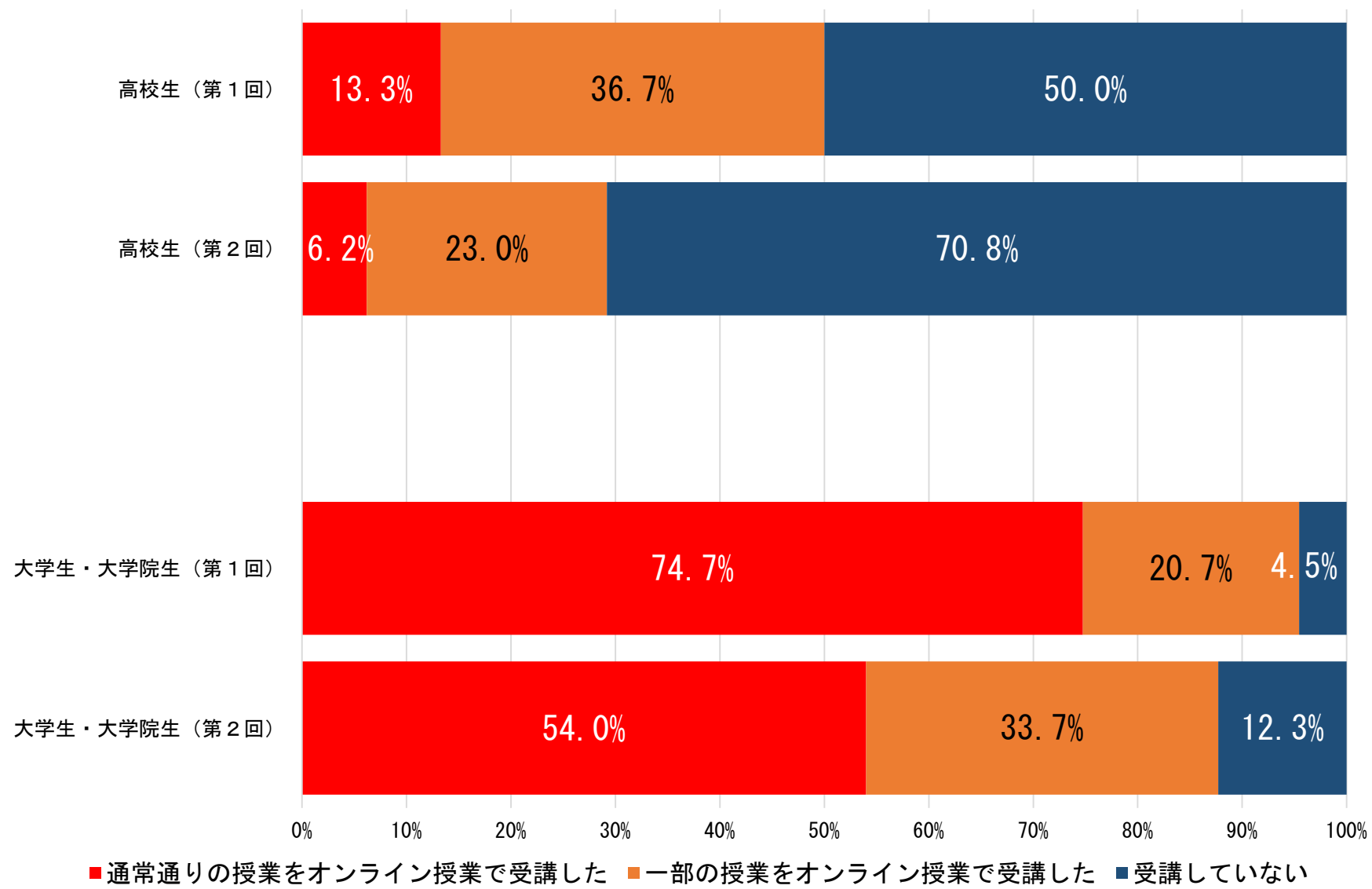


4. 【学び】 学習時間の変化（高校生／大学生・大学院生）

※感染症拡大前からの変化について質問（第2回調査では、昨年12月からの変化と記載）

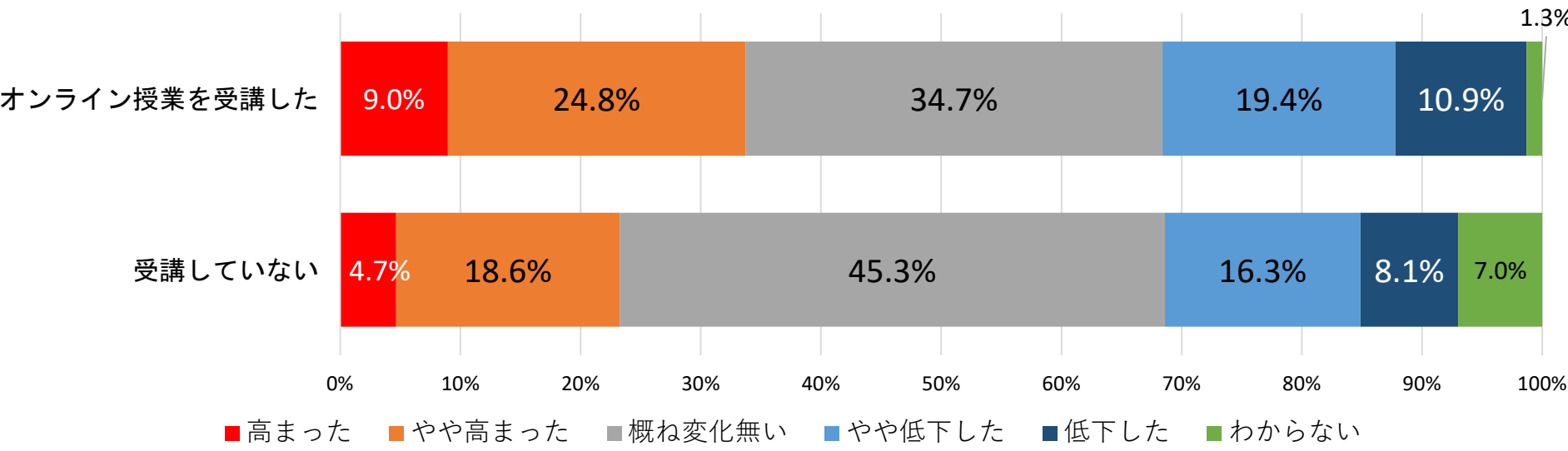


4. 【学び】オンライン授業の受講状況（高校生／大学生・大学院生）

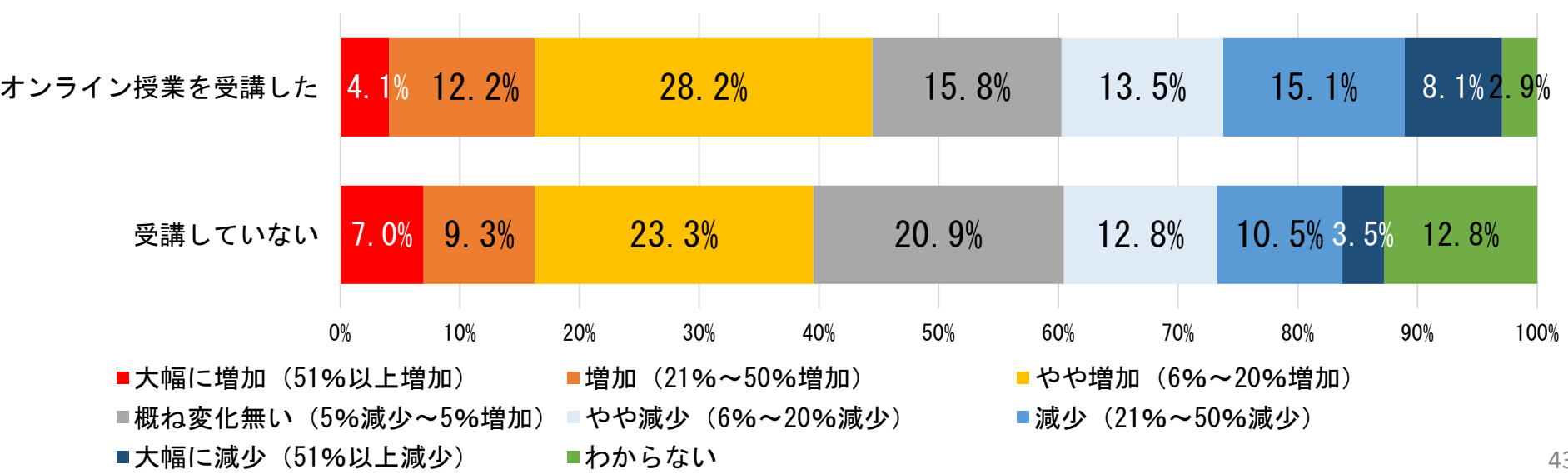


4. 【学び】 オンライン授業と学習意欲・学習時間の変化（大学生・大学院生）

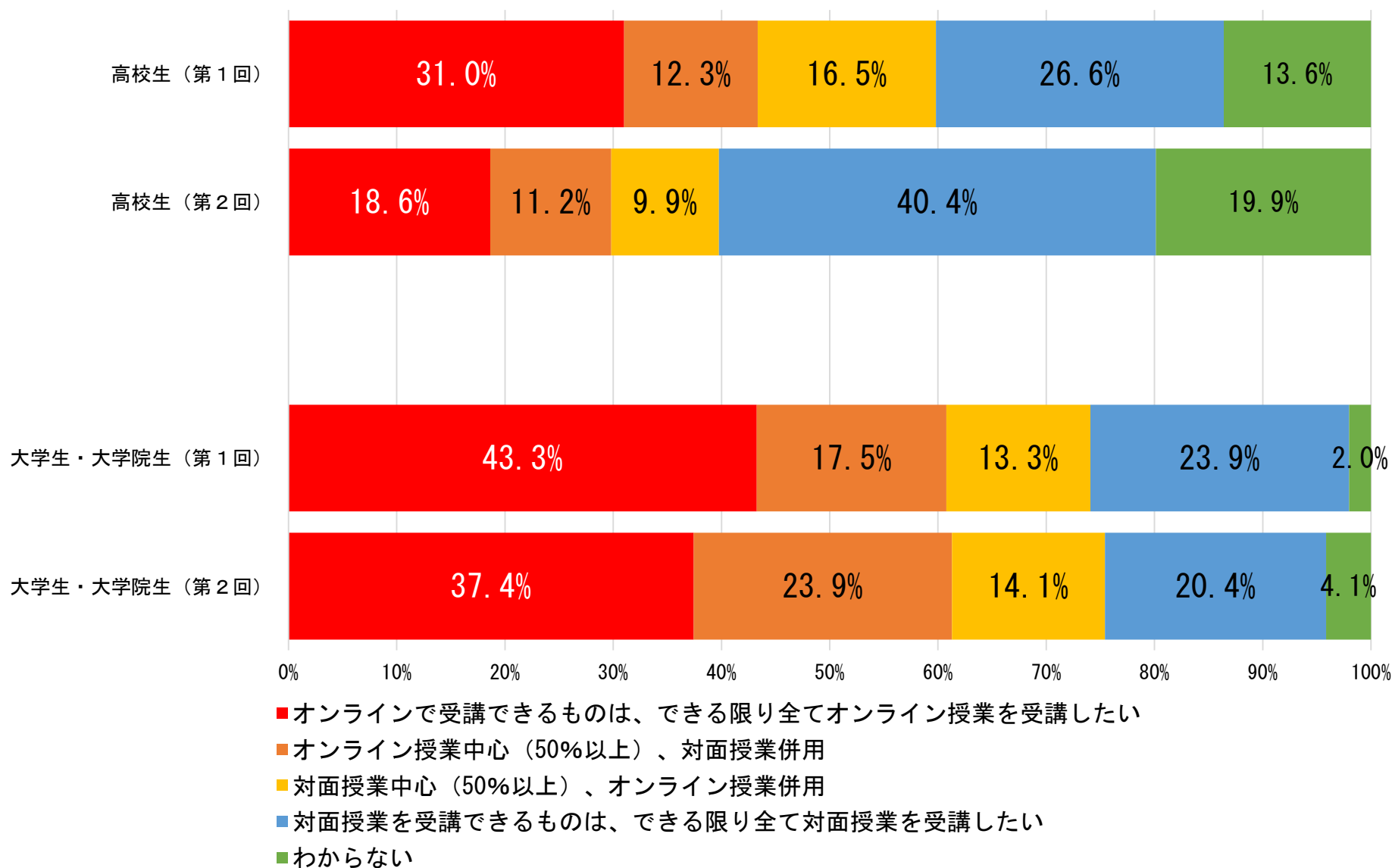
学習意欲の変化



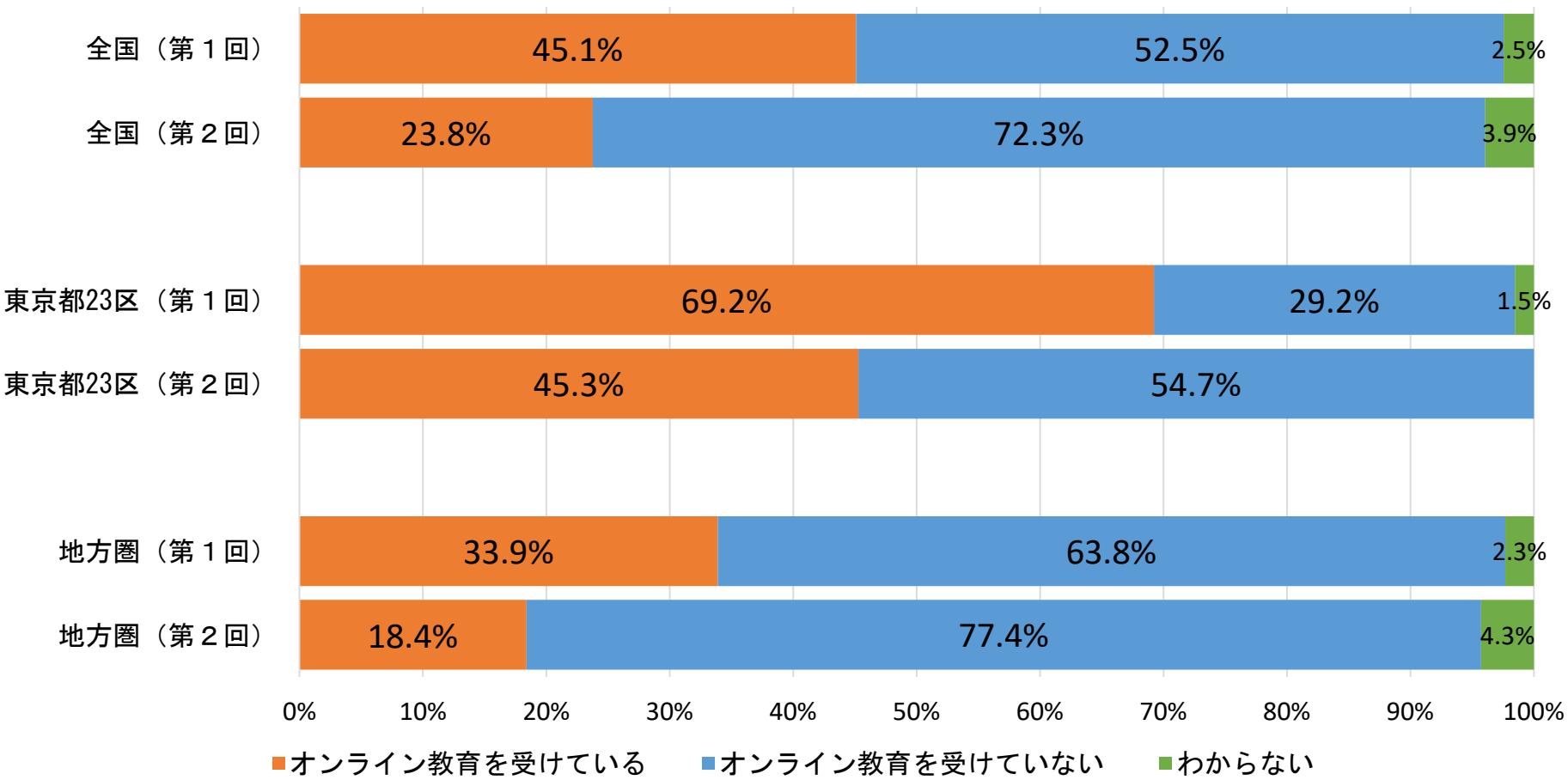
学習時間の変化



4. 【学び】オンライン授業の希望（高校生／大学生・大学院生）

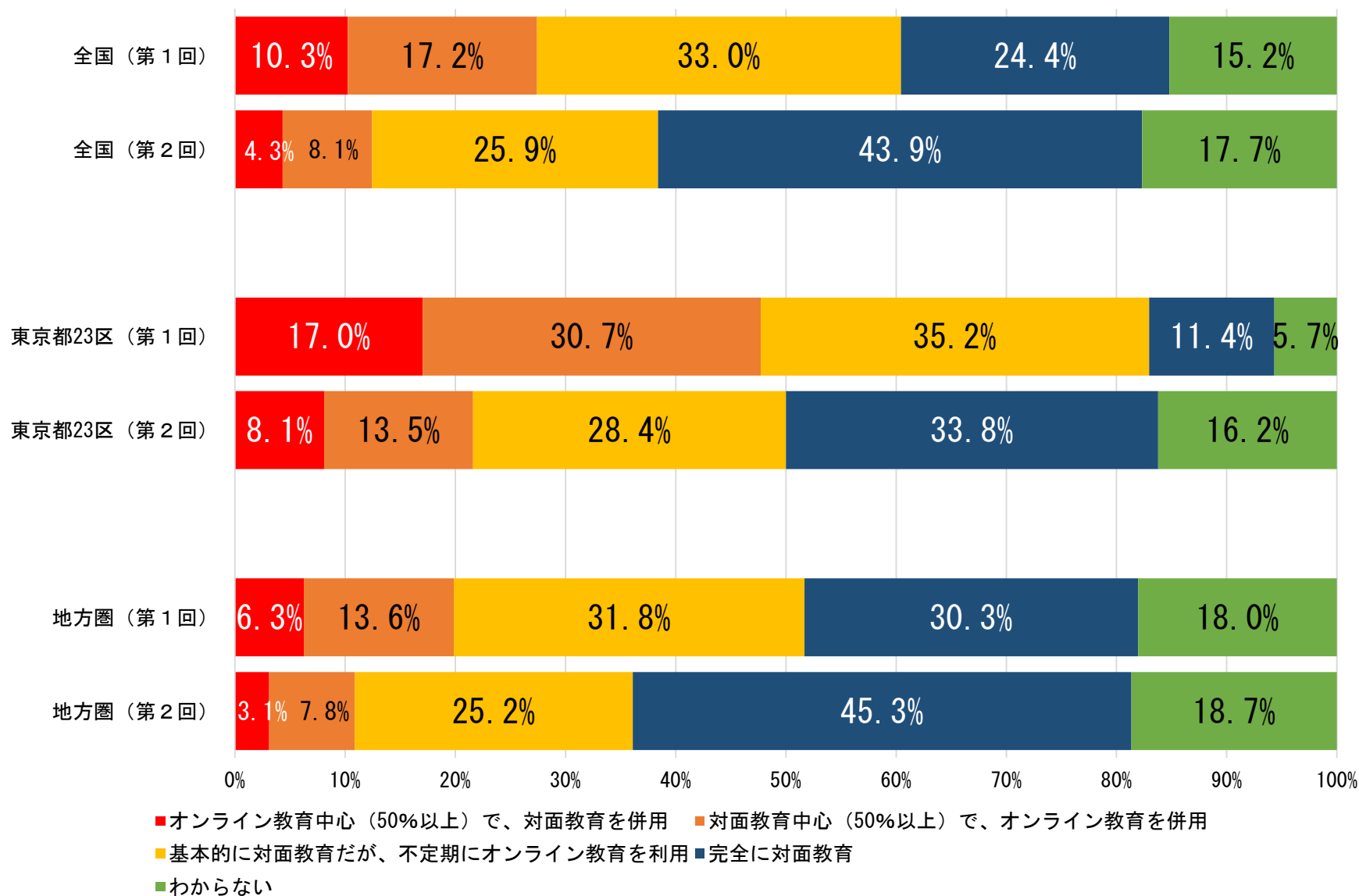


4. 【学び】子供のオンライン教育（小学生・中学生の子を持つ親）



	①学校の先生からオンライン授業を受けている	②学校の先生からオンライン上の学習指導（メール等）を受けている	③学校から家庭用のオンライン教材の提供を受けている	④学校以外の塾や習い事でオンライン授業を受けている	⑤学校以外の塾や習い事でオンライン上の学習指導（メール等）を受けている	⑥学校以外の塾や習い事でオンライン教材の提供を受けている	⑦その他のオンライン教育を受けている	⑧オンライン教育を受けていない	⑨わからない
第1回	10.2%	11.1%	15.2%	17.1%	6.4%	9.9%	5.4%	52.5%	2.5%
第2回	4.6%	4.5%	5.5%	9.3%	4.6%	5.1%	2.7%	72.3%	3.9%

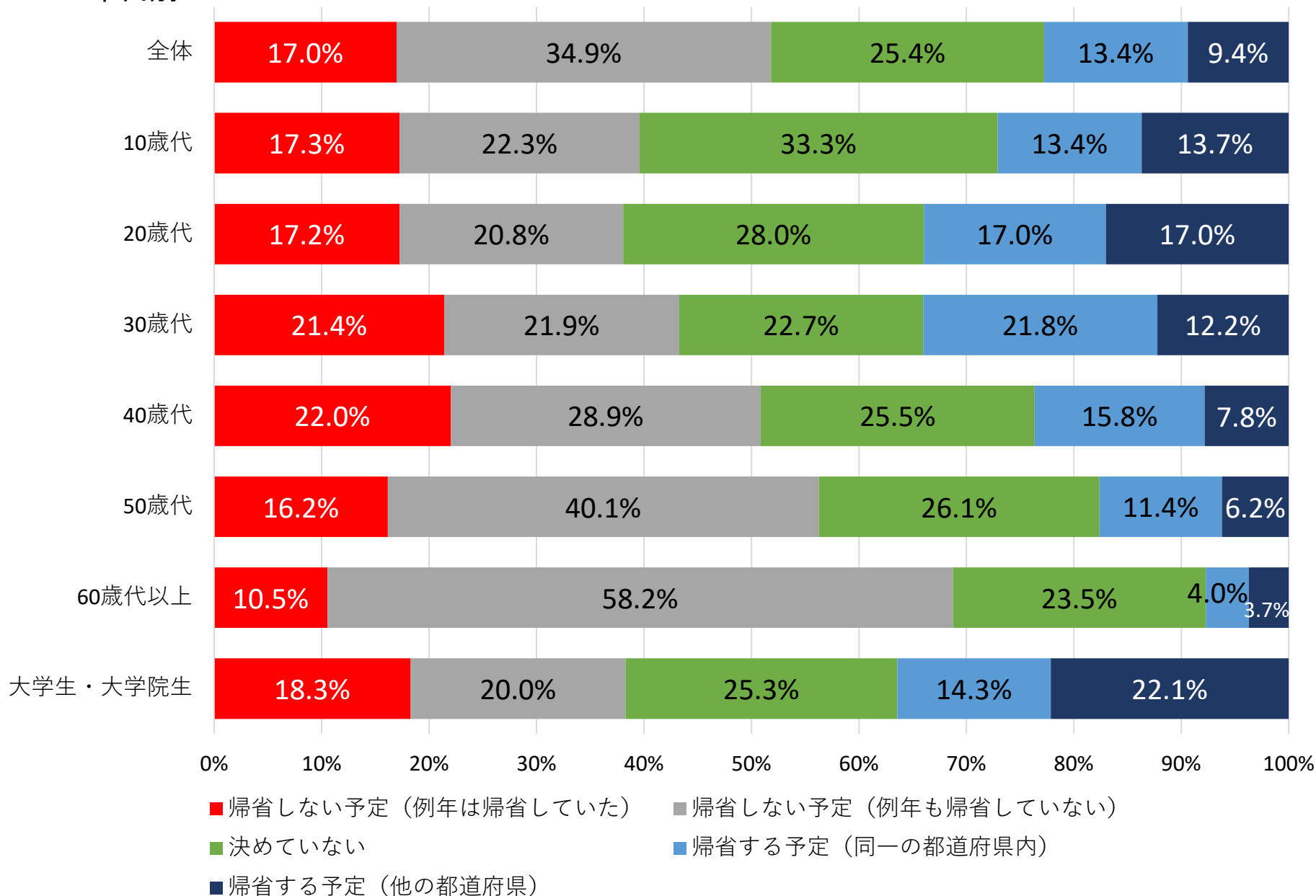
4. 【学び】子供のオンライン教育の利用希望（小学生以上18歳未満の子を持つ親）



5. 年末年始

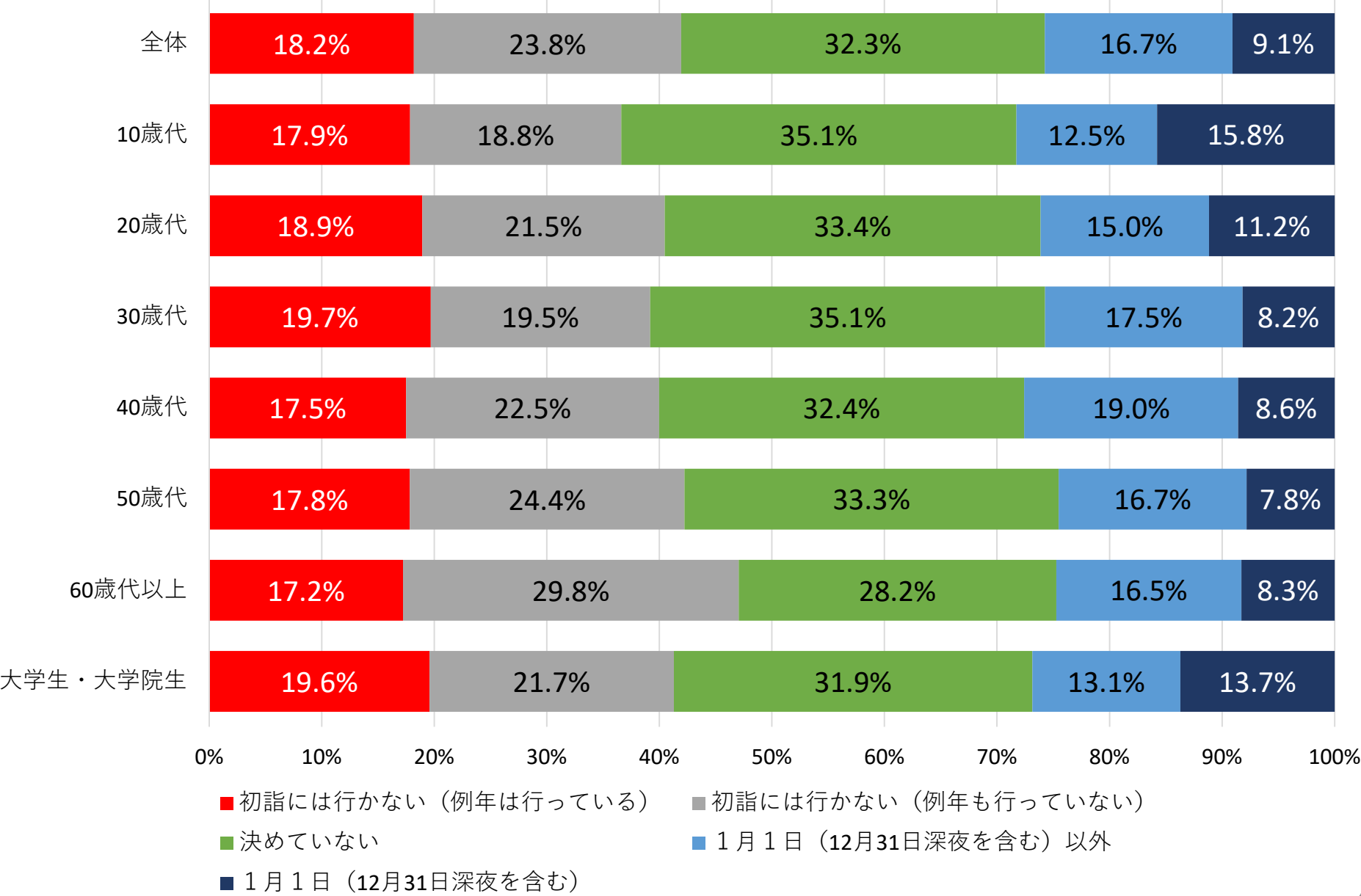
5. 【年末年始】年末年始の帰省の予定（全員）

年代別

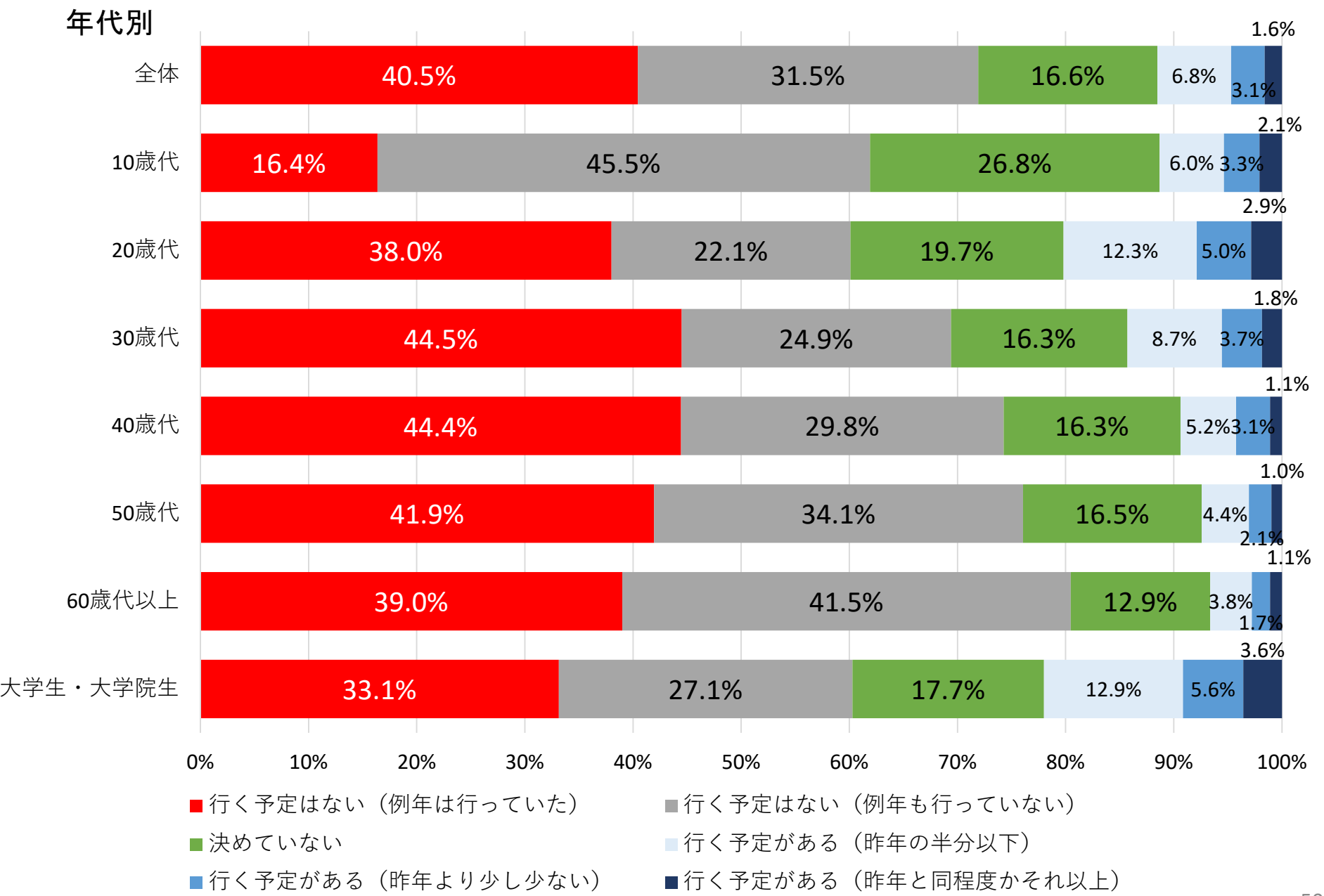


5. 【年末年始】初詣の予定（全員）

年代別

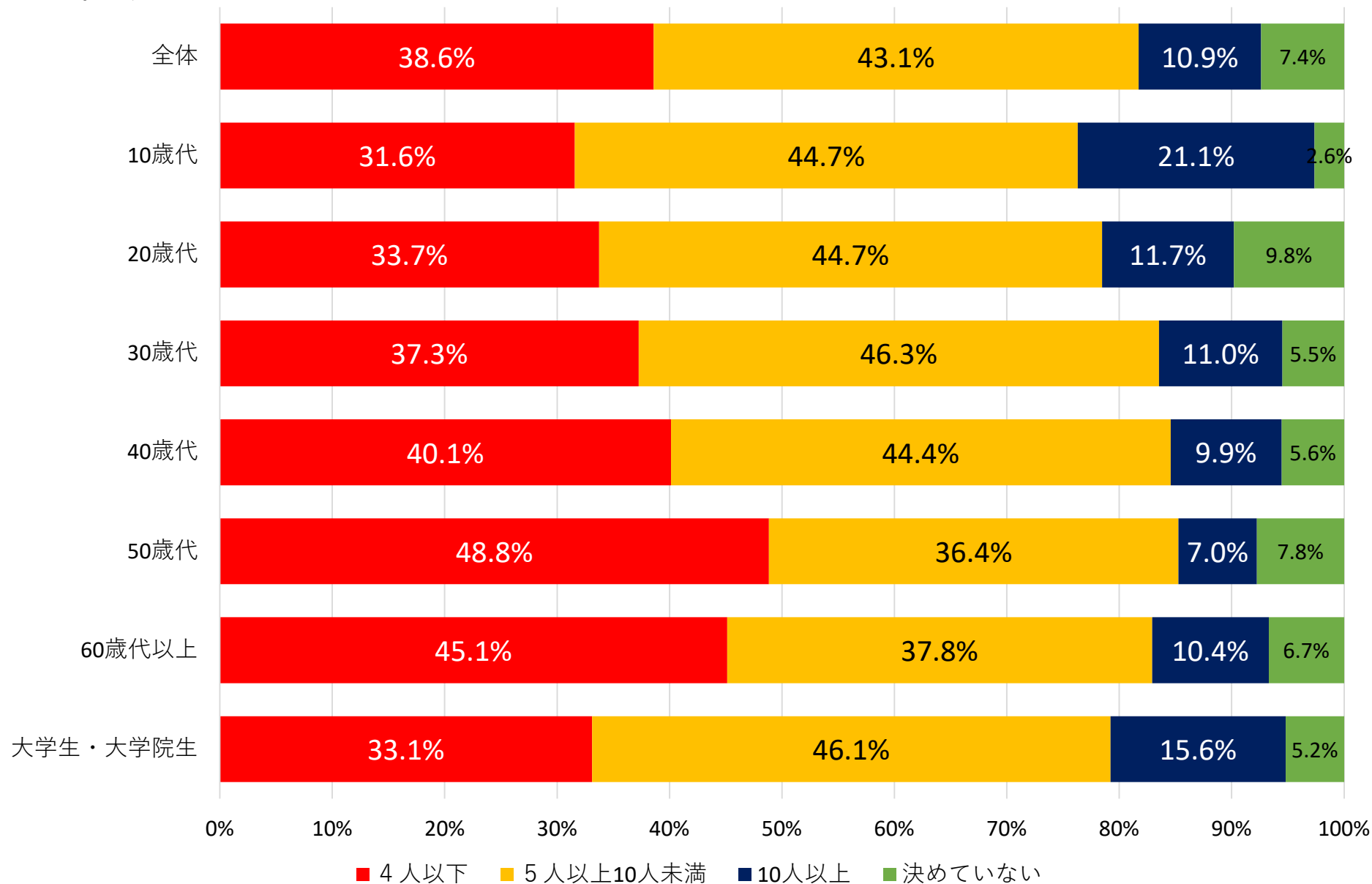


5. 【年末年始】忘年会・新年会等の会食の予定（全員）



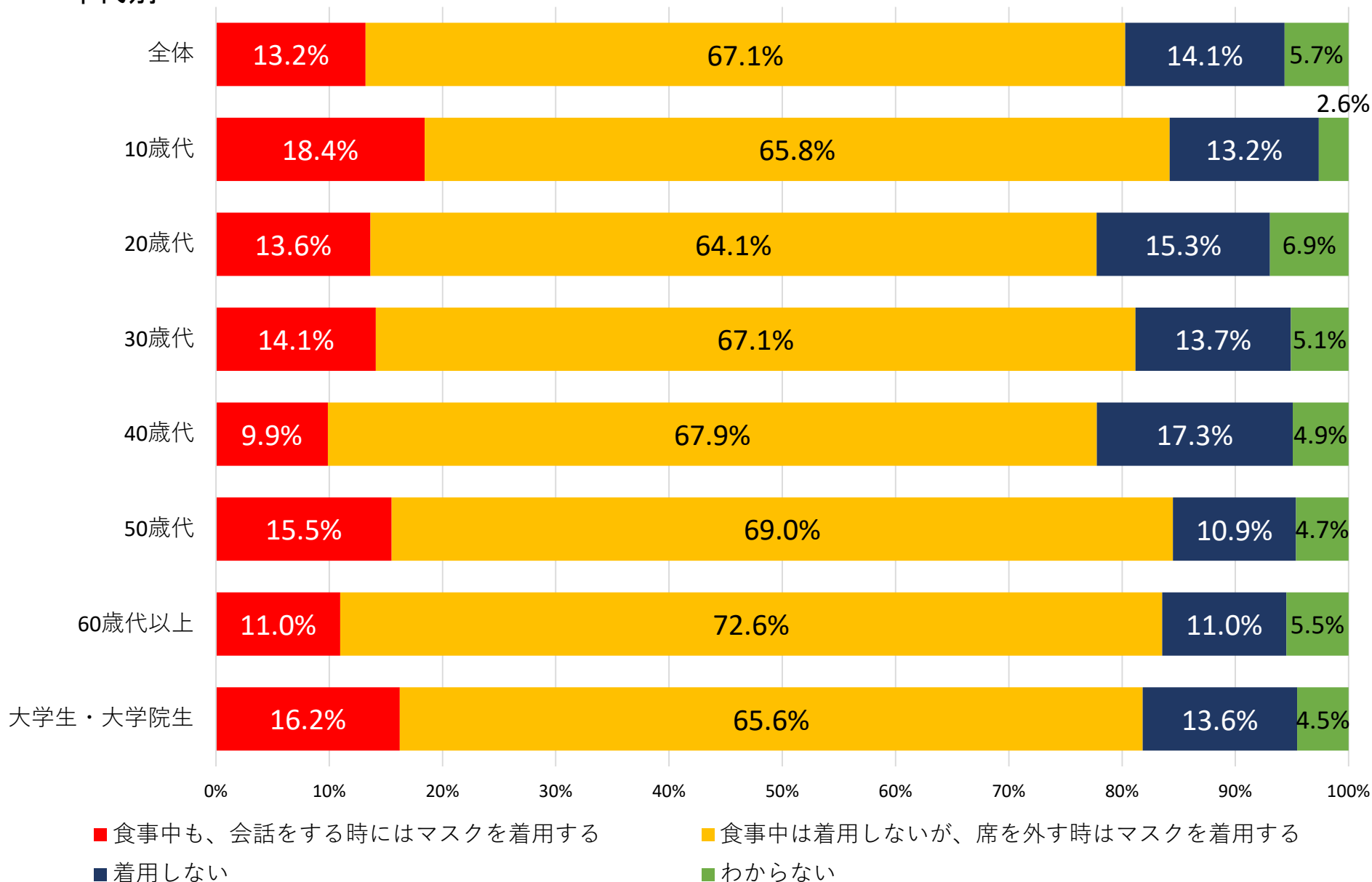
5. 【年末年始】忘年会・新年会等の会食時の人数（会食に行く予定がある人）

年代別



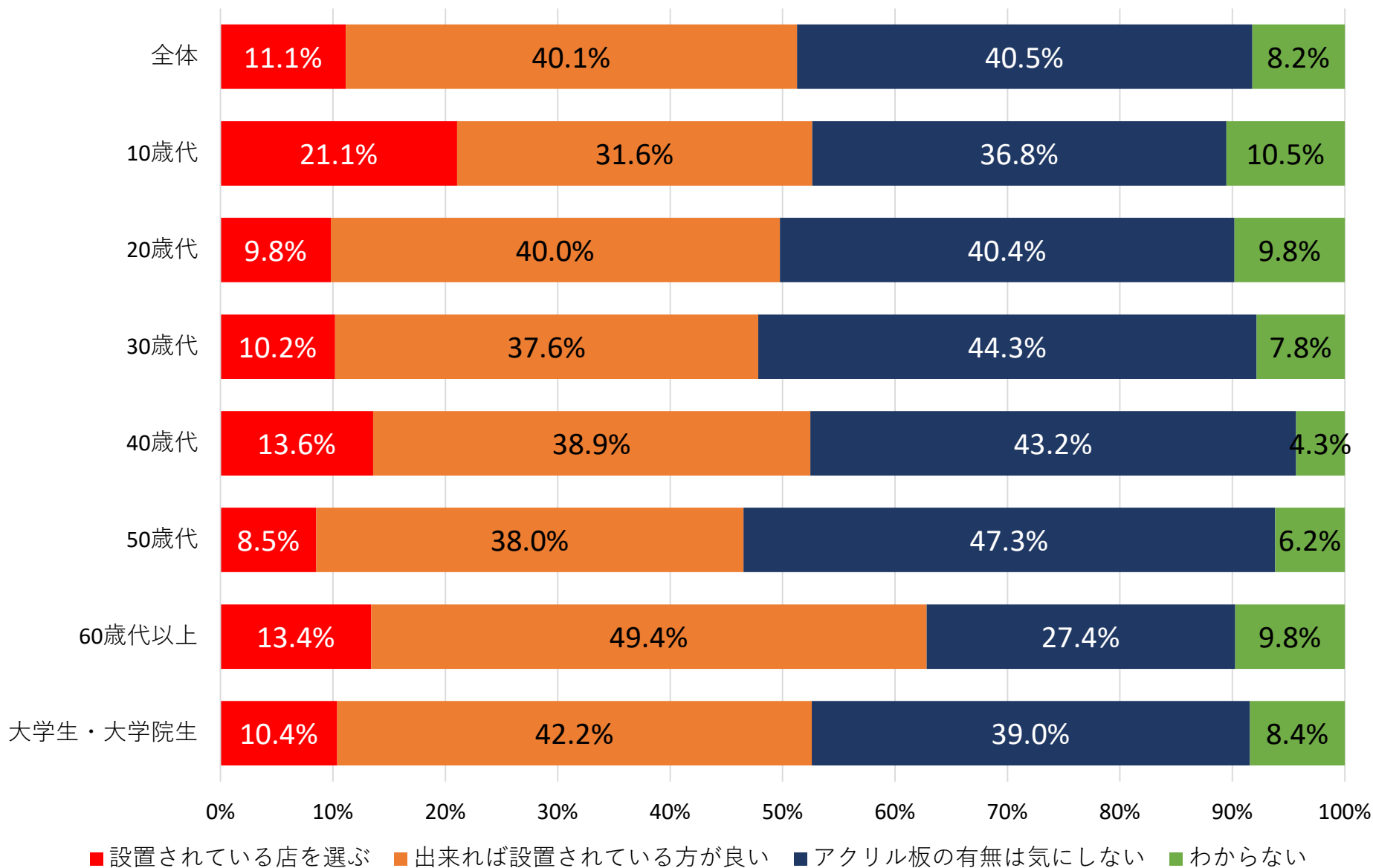
5. 【年末年始】忘年会・新年会等の会食（マスク）（会食に行く予定がある人）

年代別



5. 【年末年始】忘年会・新年会等の会食（アクリル板）（会食に行く予定がある人）

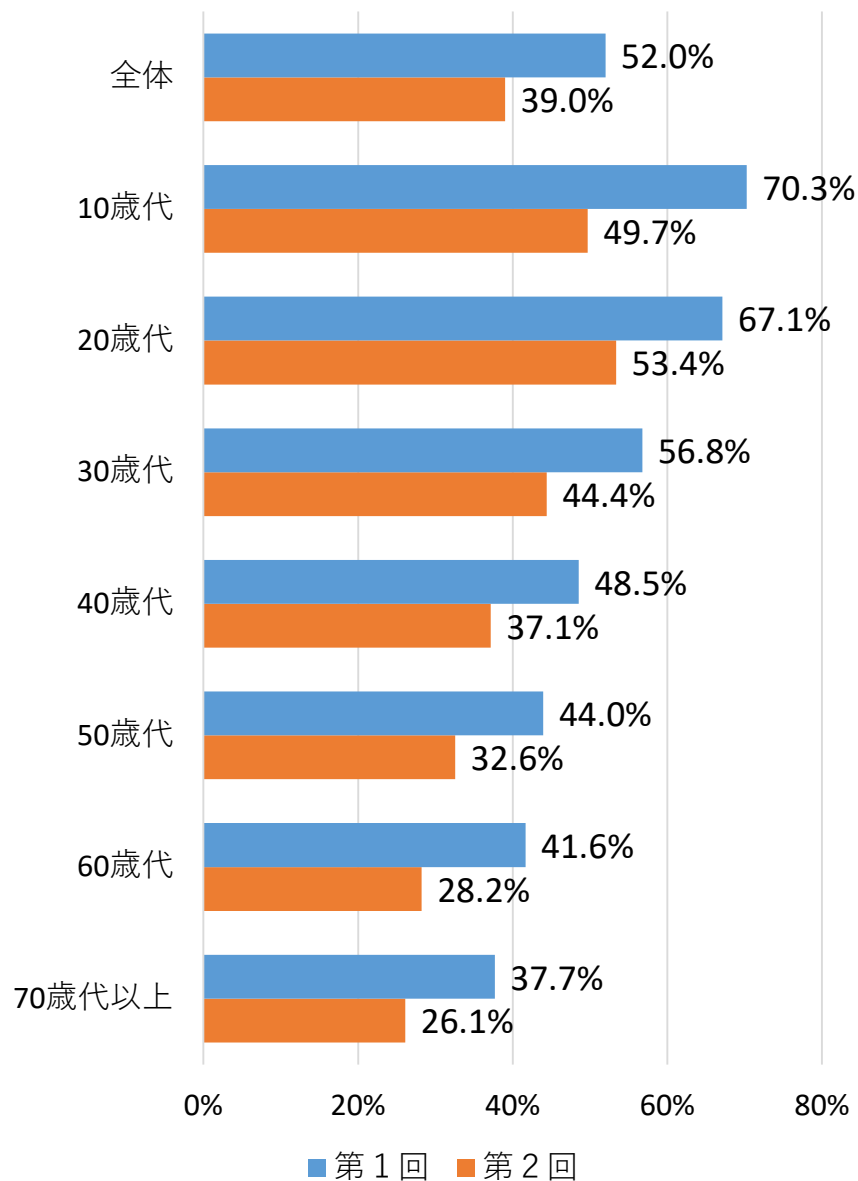
年代別



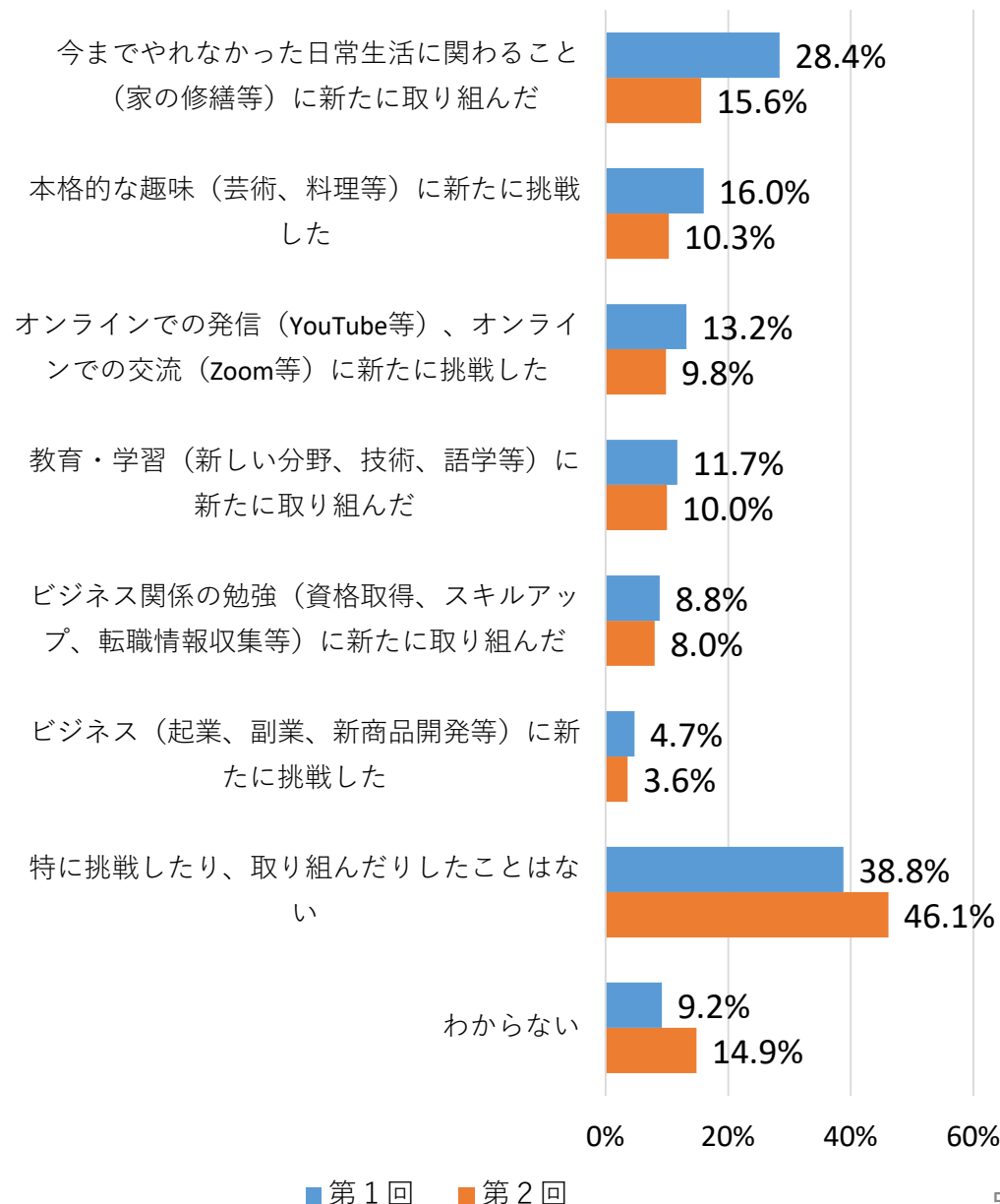
6. その他

6. 【その他】新しいことへのチャレンジ（全員）

何らかの挑戦・取組をしたと
回答した者の割合（年代別）



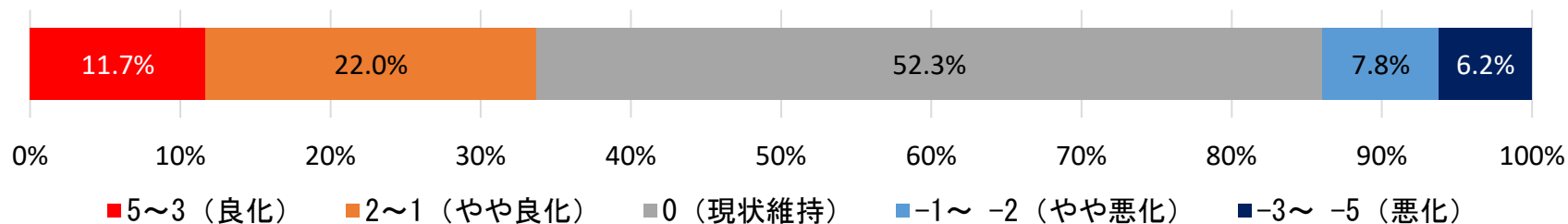
挑戦・取組の項目別 回答割合（全体）



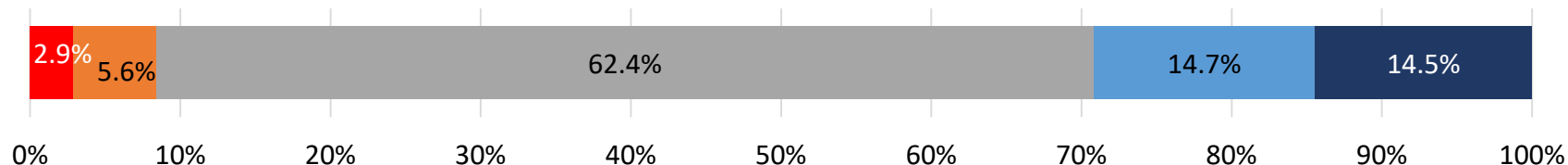
6. 【その他】社会の変化等（全員）

質問 自分自身の暮らしのデジタル化が進んでいると感じますか。

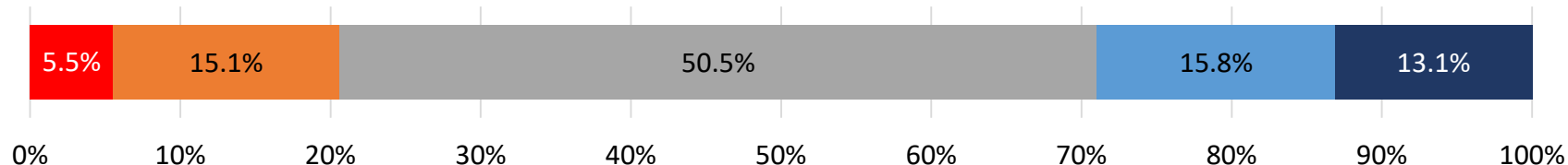
※ +5点 ～ -5点までの11段階評価で回答。「非常に良化している」が+5点、「現状維持」が0点、「非常に悪化している」を-5点としている。以下の質問も回答の選択肢は同じ。



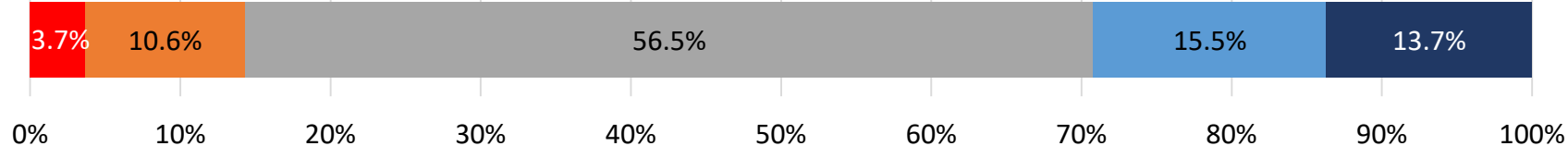
質問 地域のつながりや助け合いが広がっていると感じますか。



質問 職場・地域・行政等の変化が進んでいると感じますか。

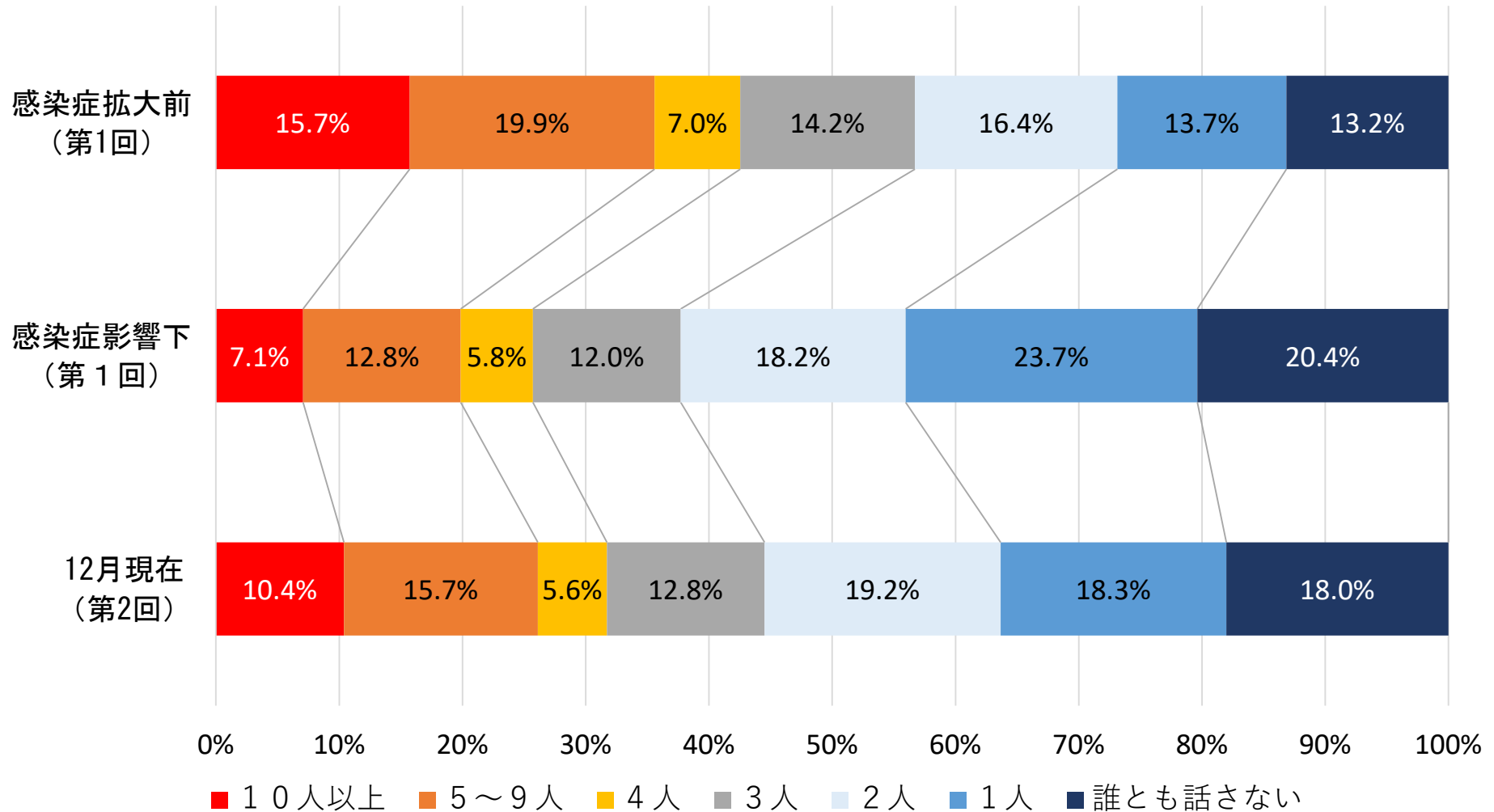


質問 地球環境問題などの国際的課題への取組が広がっていると感じますか。



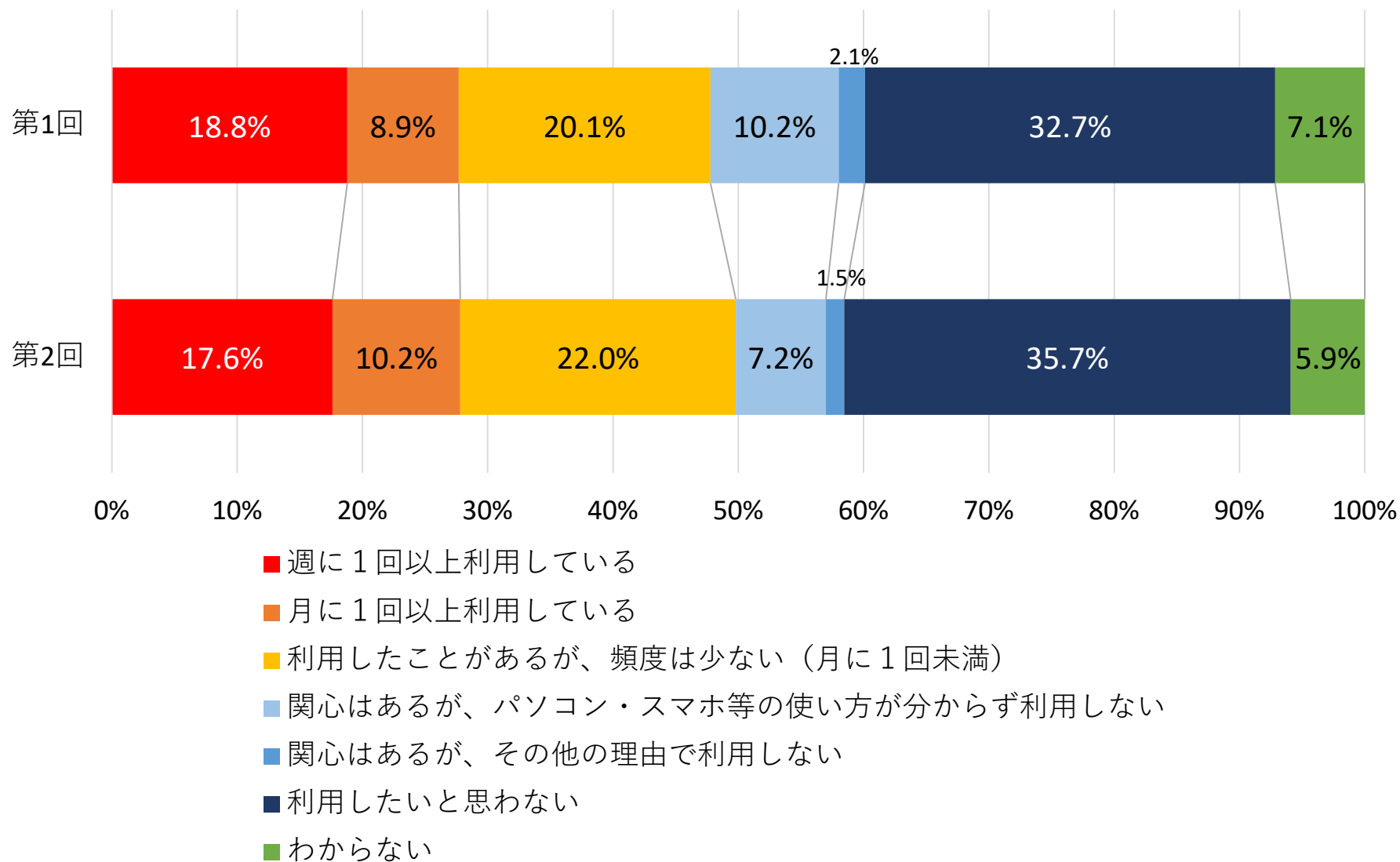
6. 【その他】人との交流（60歳以上）

同居する人以外と会話する人数（1日の平均）



6. 【その他】 ビデオ通話の利用経験、関心の程度（60歳以上）

※ビデオ通話（Zoom、Skype、LINE等）



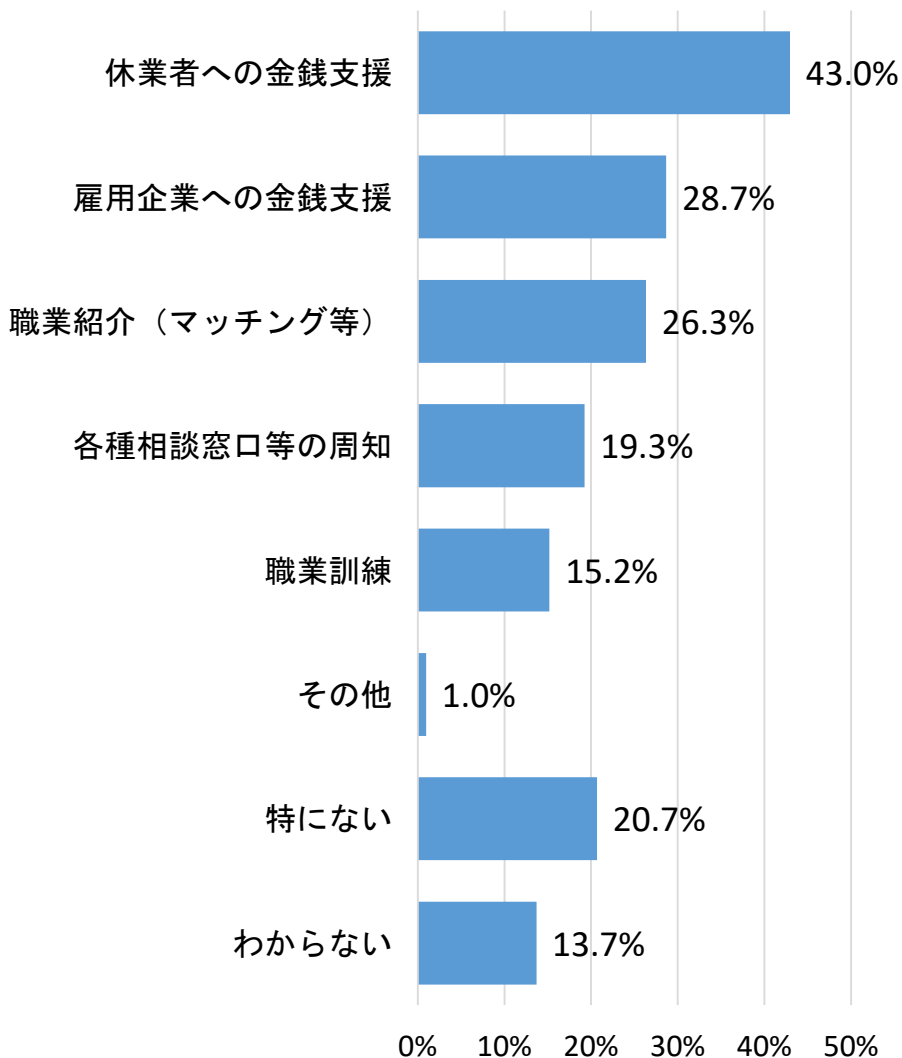
6. 【その他】不安の増加（年代別）（全員）

質問 昨年１２月（感染症拡大前）に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるもの全てを回答してください。

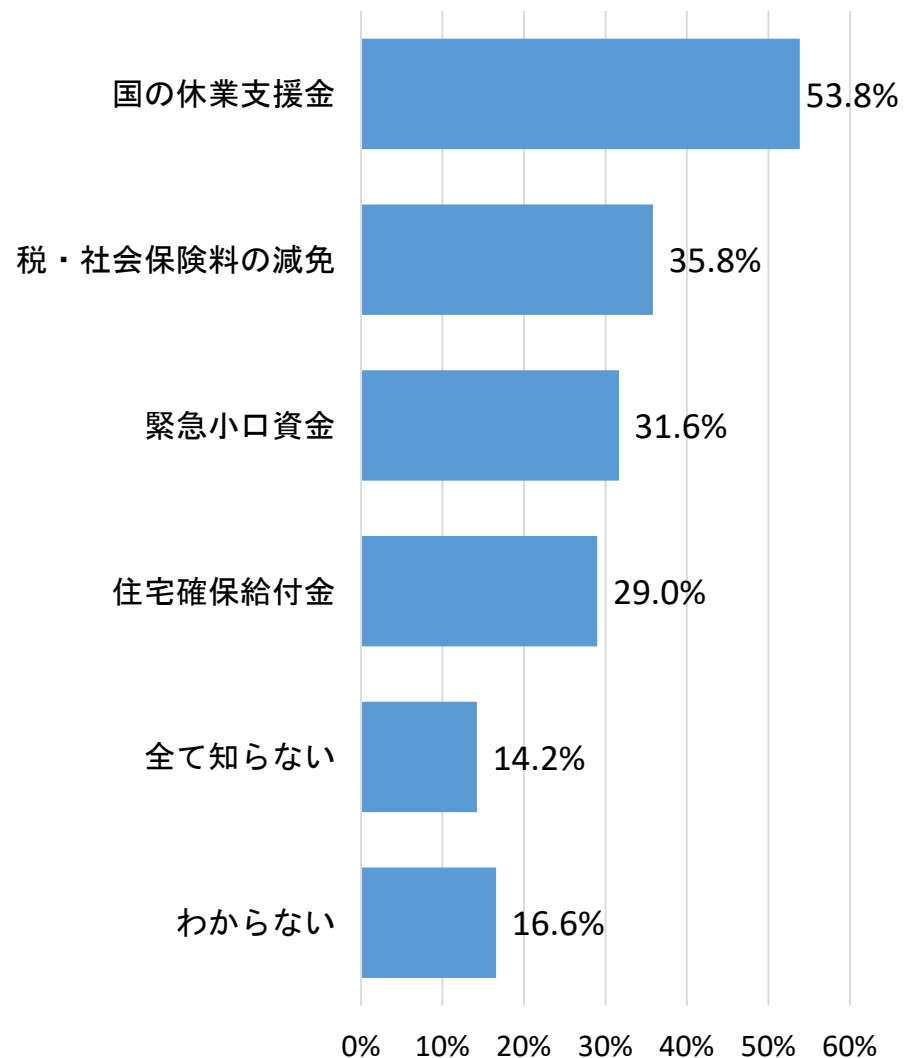
（回答者数/回答対象者数）	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
健康	32.7%	22.6%	22.7%	28.3%	30.6%	35.7%	43.7%	47.7%
将来全般	29.8%	36.9%	27.2%	24.8%	28.1%	30.7%	33.9%	36.9%
生活の維持、収入	28.0%	15.8%	29.2%	32.8%	36.3%	29.7%	20.0%	15.0%
仕事	21.0%	16.1%	28.1%	24.4%	28.0%	21.5%	10.6%	3.4%
人間関係、社会との交流	15.3%	20.8%	17.0%	15.8%	13.6%	12.4%	15.3%	18.1%
親などの生活の維持、支援	12.4%	8.0%	8.7%	13.5%	16.1%	17.5%	12.0%	3.2%
子どもの育児、教育	10.2%	2.1%	8.0%	22.4%	18.3%	6.2%	1.8%	1.3%
地球環境、地球規模の課題	9.5%	8.3%	5.3%	5.6%	7.5%	9.2%	16.1%	20.3%
結婚、家庭	7.7%	5.1%	15.3%	13.1%	6.8%	3.2%	1.8%	0.9%
不安はあるが増してはいない	17.8%	15.2%	13.6%	15.8%	18.5%	19.3%	21.8%	21.0%
不安はない	6.2%	7.4%	6.9%	5.8%	5.4%	6.6%	5.9%	6.5%
わからない	7.7%	12.5%	10.5%	8.9%	7.3%	6.8%	5.1%	3.6%

6. 【その他】休業者等への支援（全員）

休業者等への支援として
重要だと考えるもの



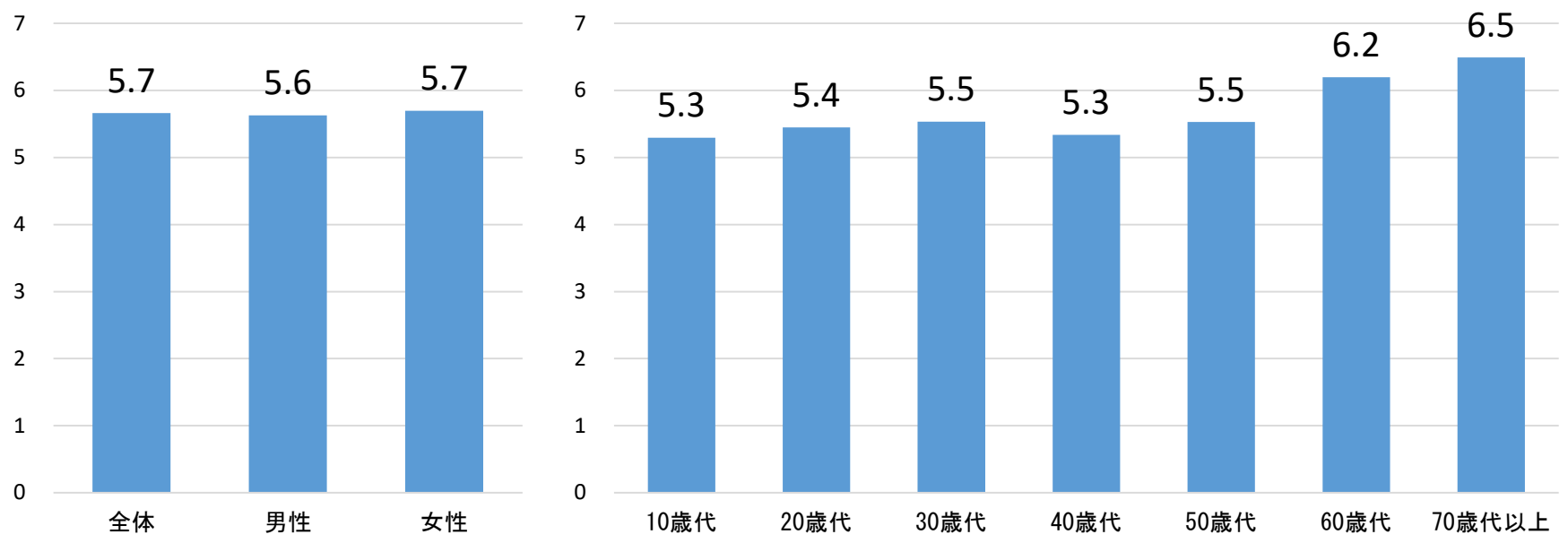
休業者等への国の支援策として
知っているもの



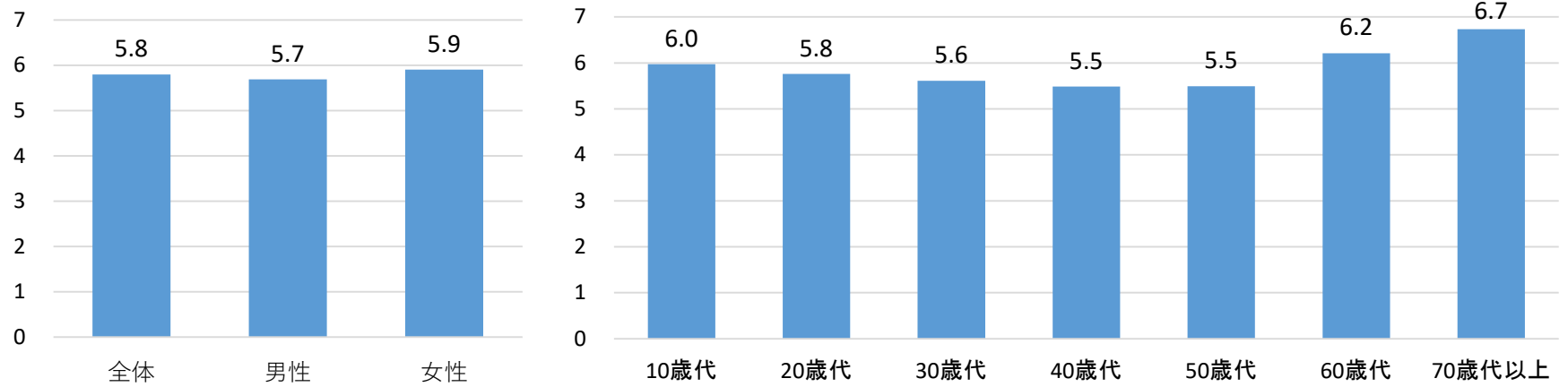
6. 生活全体の満足度 (全員)

質問 全体としての生活の満足・不満の程度についてお聞きます。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、現在の生活は何点くらいになると思いますか。

【生活全体の満足度】

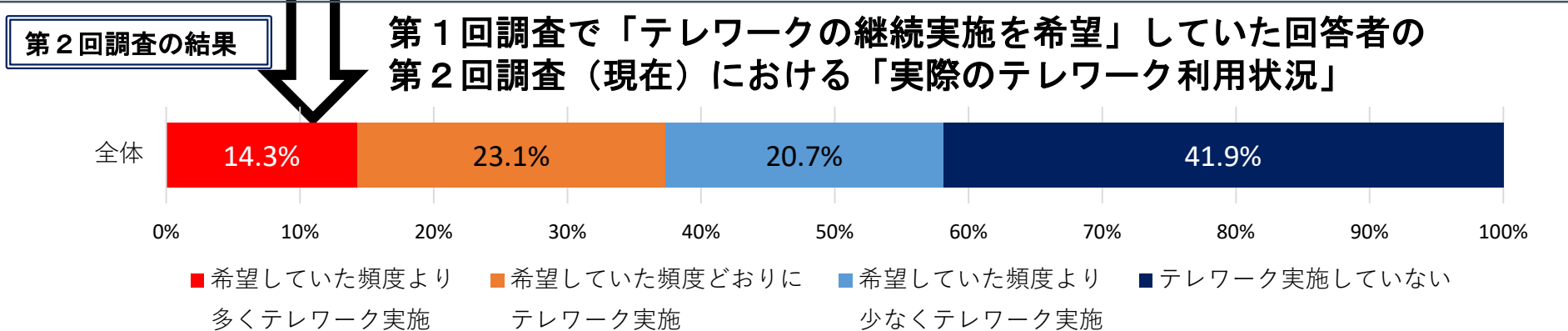
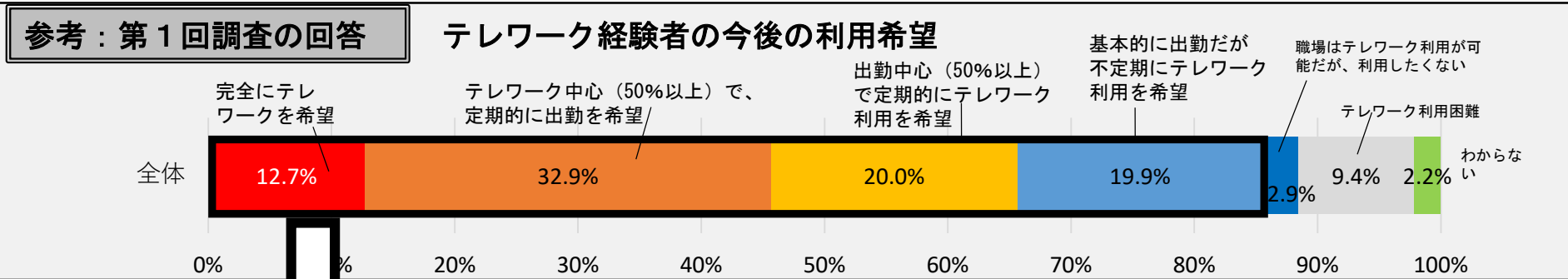


(参考) 「満足度・生活の質に関する調査」 (2020年2月) における総合主観満足度

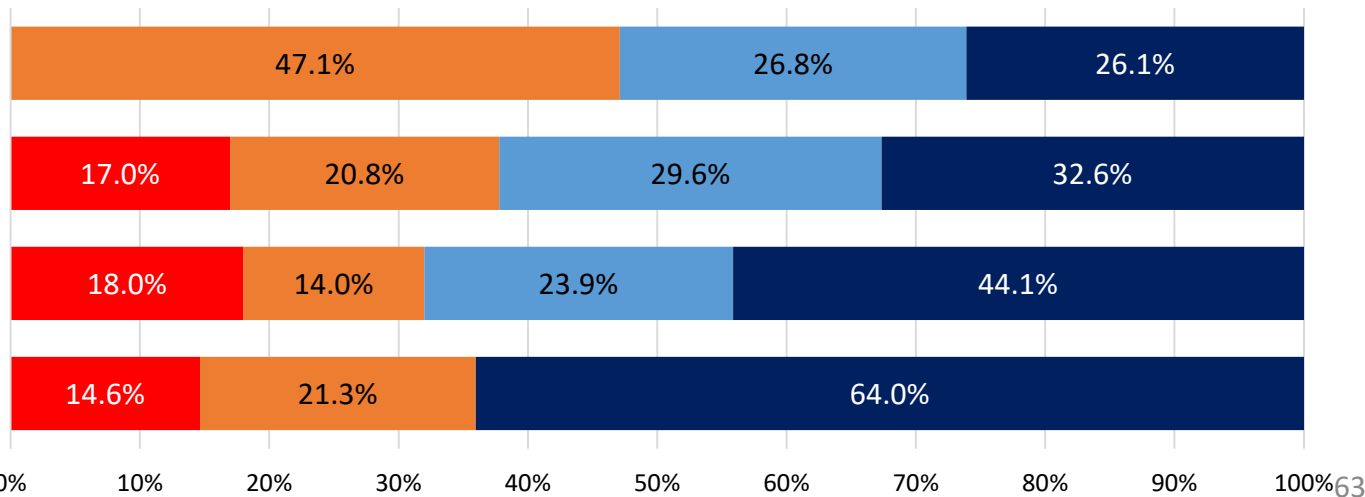


7. 継続サンプル（パネル分析）

7. 【継続サンプル】テレワーク利用希望の実現状況（第1回調査時のテレワーク希望者）



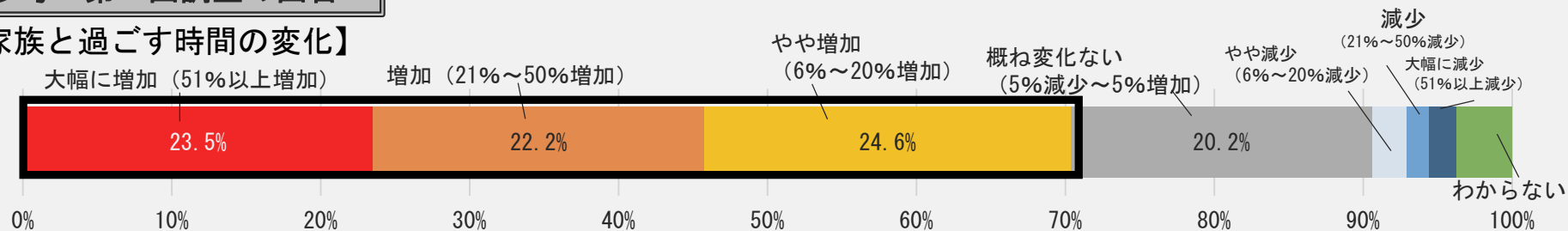
- 第1回調査時の「希望するテレワーク利用頻度」別
- 完全にテレワークを希望
- テレワーク中心（50%以上）で、定期的に出勤を併用を希望
- 出勤中心（50%以上）で、定期的にテレワークを併用を希望
- 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用を希望



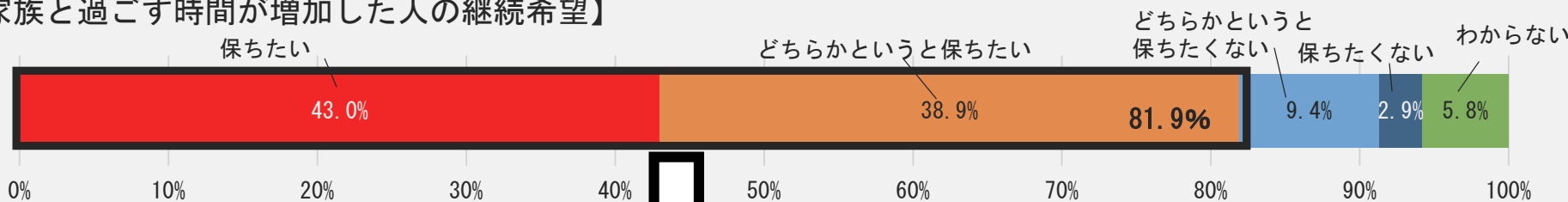
7. 【継続サンプル】家族と過ごす時間の継続状況と働き方（18歳未満の子を持つ親）

参考：第1回調査の回答

【家族と過ごす時間の変化】



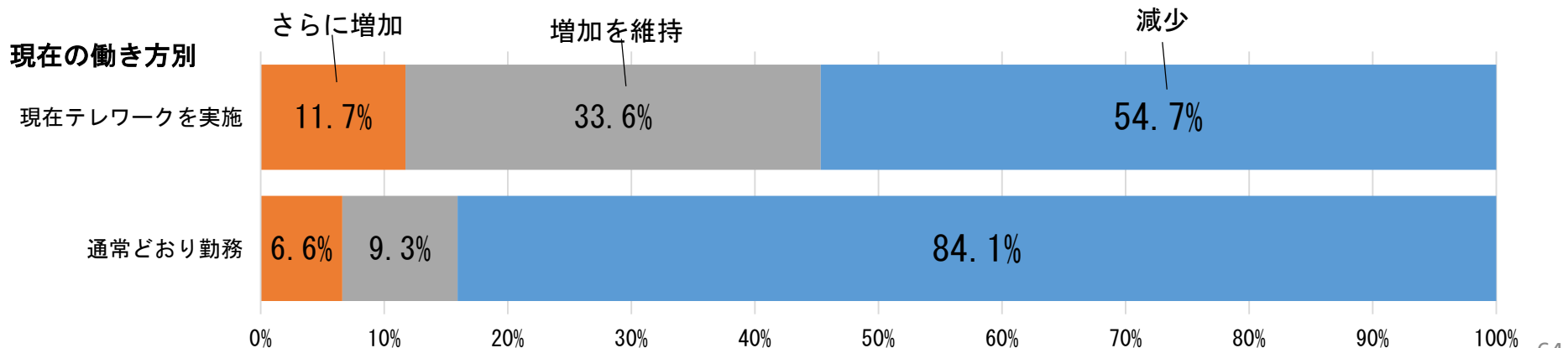
【家族と過ごす時間が増加した人の継続希望】



第2回調査の結果 （継続サンプルの回答）

第1回調査で「家族と過ごす時間が増加し、その時間を保ちたい」と回答した人の、第2回調査時の家族と過ごす時間。
※テレワーク実施有無別に把握

家族と過ごす時間の変化（個人単位で、第1回調査時と比較）



7. 【継続サンプル】 ビデオ通話の利用状況の変化（60歳以上）

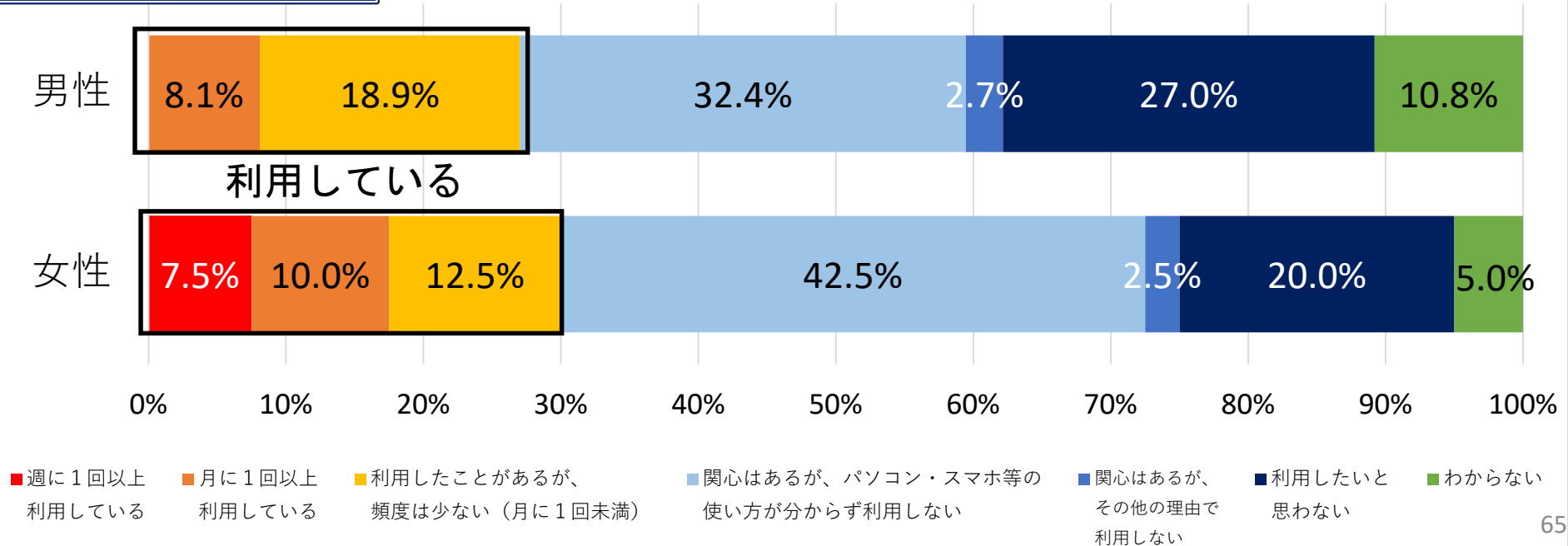
参考：第1回調査の回答

ビデオ通話への関心はあるが、使い方がわからずに使用しない人の利用希望（60歳以上）



第2回調査の結果
（継続サンプルの回答）

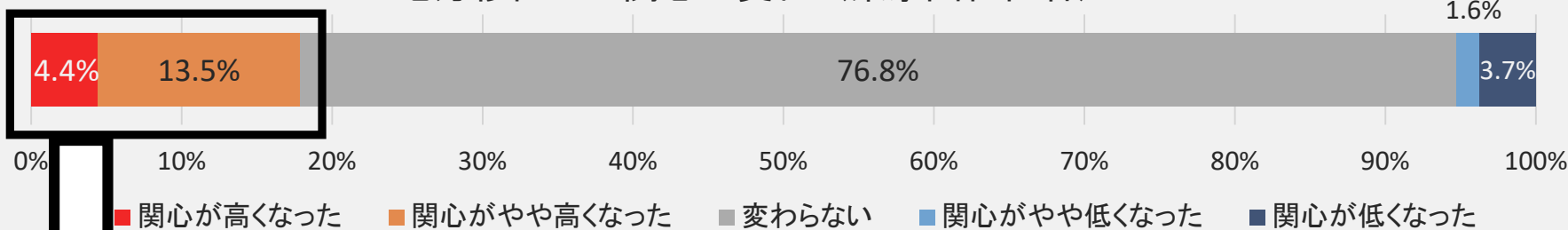
現在（12月時点）のビデオ通話の利用状況



7. 【継続サンプル】 地方移住への関心と行動状況

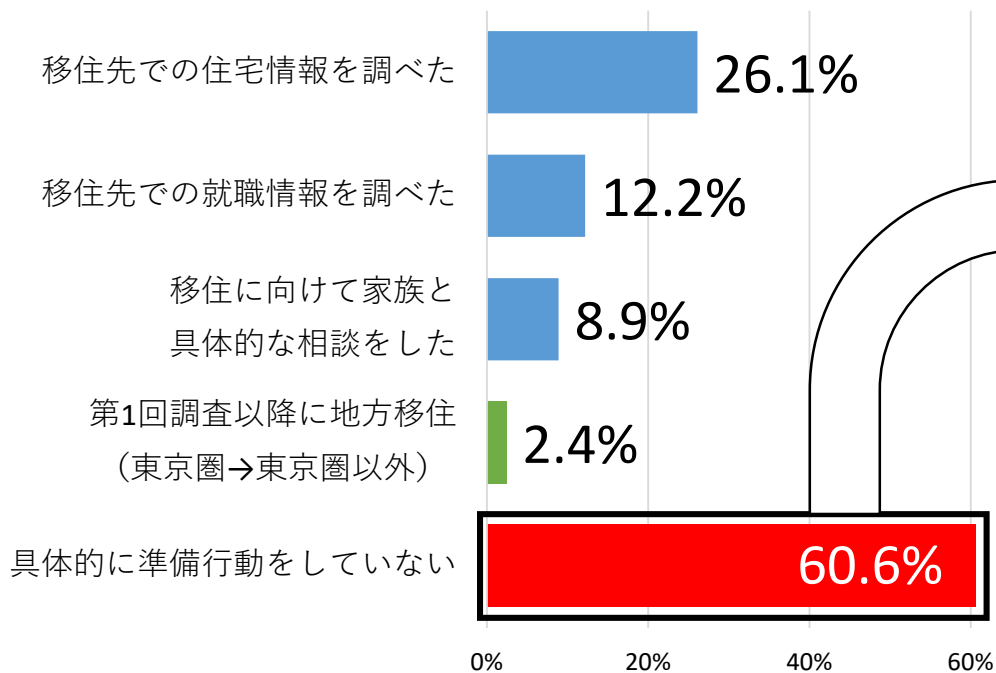
参考：第1回調査の回答

地方移住への関心の変化（東京圏在住者）



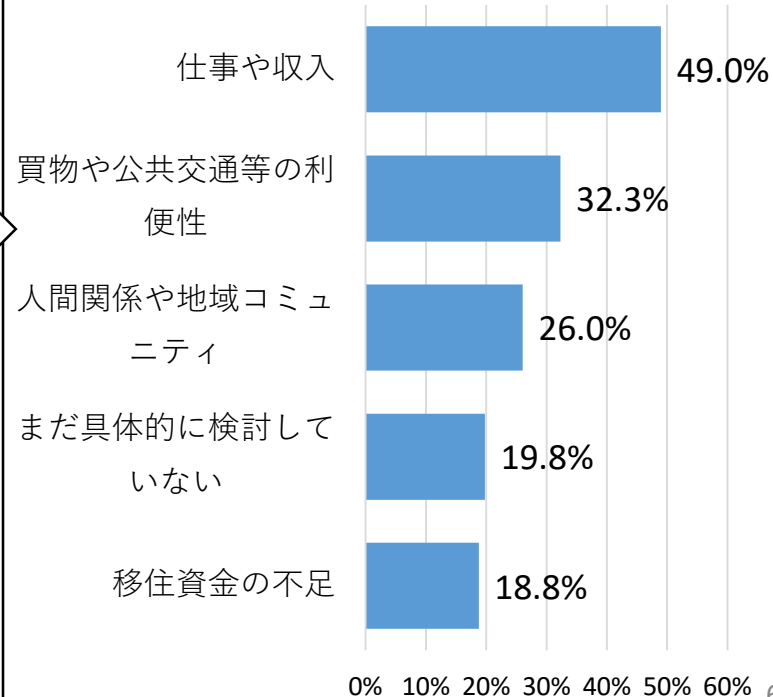
第2回調査の回答 (継続サンプルの回答)

本年5月以降（感染症拡大後）の 地方移住に向けた行動



第2回調査の回答 (継続サンプルの回答)

地方移住にあたっての懸念



調査方法・調査対象等

○調査方法：インターネット調査
(国内居住のインターネットパネル登録モニター)

○回収数：10,128 (うち継続サンプル5,212)

○調査期間：12月11日 (金)～12月17日 (木)

○回収数の割当 (サンプル数の設計)

- ・性別・年齢階級別 (10歳毎) で同数を均等に割当 (12区分×844人=10128)
※年齢は「15～24歳」から「65～89歳」までの6区分×性別2区分=12区分
- ・地域別 7 区分で人口比例で割当

○地域別回収数

	北海道・東北	東京	首都圏 (東京以外)	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
全体	1,152	1,104	2,400	1,776	1,632	912	1,152	10,128
うち継続	596	585	1,220	909	841	467	594	5,212

○回収数の内訳 (主な属性別)

【就業者】 6,653人

【子育て世帯】 1,938人 ※子供が18歳未満

【学 生】 951人

○就業者・子育て世帯・学生の内訳

<就業者の内訳>	
正規雇用	4,058
非正規雇用	1,741
会社などの役員	182
自営業 (手伝いを含む)	513
内職・在宅ワーク	76
休業中	83
合計	6,653

<子育て世帯の内訳>	
10～20歳代	200
30歳代	779
40歳代	705
50歳代	233
60歳代以上	21
合計	1,938

<学生の内訳>	
高校生	161
大学生、大学院生	700
その他 (専門学生等)	90
合計	951

※三大都市圏とは、東京圏、名古屋圏、大阪圏の1都2府8県。地方圏は、三大都市圏以外の北海道と35県。東京都23区は、東京圏の内数。
(東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 ・名古屋圏：愛知県、三重県、岐阜県 ・大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)

(参考) 第1回調査について

- ・調査方法：インターネット調査 (第2回と同様)
- ・回収数：10,128
- ・調査期間：5月25日 (月)～6月5日 (金)